



CORE DEVICE ISOLA

取扱説明書

取付・設置説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。
- 取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

取扱説明書

・安全上のご注意	1～3
・各部の名称	4～6
・ご使用に際して	7～17
・お手入れ方法	17
・ご相談窓口における	18
お客様の個人情報のお取り扱いについて／	
アフターサービスについて／	
ホルムアルデヒド発散区分／VOC放散性能	

取付・設置説明書

・安全上のご注意	19
・取付・設置前の確認	20～22
・製品寸法図	23～24
・ユニット一覧	25～26
・取付・設置方法	27～77
・配管カバーの取付け	78～80
・扉の取り外し、取付け／扉の調整	81
・ガラス扉用丁番本体の取付け／	82
ガラス扉の取り外し、取付け	
・ガラス扉の調整	83
・引き出し前板の調整	84
・プッシュオンの調整	85～87
・取付・設置後の点検・清掃／	88
ホルムアルデヒド発散区分／VOC放散性能	

取扱説明書



安全上のご注意

必ずお守りください



ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

警告

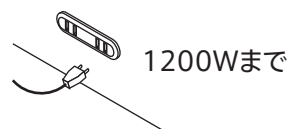
分解・修理・改造は絶対にしないでください。



分解・修理・改造禁止

感電、発火、ケガ、異常動作の原因になります。
故障と思われたときは、お買い上げの販売店または、
最寄りの弊社にご連絡ください。

スライドコンセントの表示容量（ワット）を
超える電気器具を使わないでください。



発熱により、火災の原因になることがあります。

スライドコンセントに水をかけないでください。



感電や火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

扉や引き出しにぶら下がらないでください。



扉や引き出しが外れて、ケガをする恐れがあります。

扉を大きく開け過ぎないでください。



扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番のネジを締め直してください。



扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

ガラス扉やガラス棚板に強い衝撃を与えないでください。



ガラスが割れて、ケガをする恐れがあります。

棚板、引き出し、スライドボードには、指定の荷重以上のせないでください。



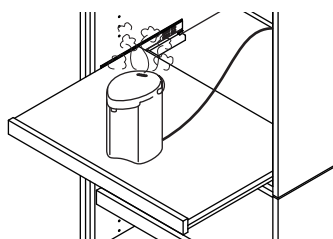
のせているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

棚受け（ダボ）は、確実に奥まで差し込んでください。



棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

電化製品をご使用になるときは、必ずスライドボードを引き出してください。

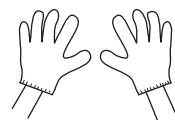


炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、本体や棚板の変形の原因になります。また、水蒸気が電化製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。

お手入れの際は、必ず手袋を着用してください。



手袋着用



鋼板の切り口や角で手を切る恐れがあります。

スライドボードの出し入れはゆっくりと行ってください。



のせているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店・電気工事店に交換をご依頼ください。

交流100V以外では使用しないでください。



火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。



感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



万一故障したとき、火災の原因になることがあります。

電源プラグの刃および刃の取付け面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。



火災の原因になります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。



発熱によって火災の原因となります。

雷時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



雷による一時的な過電流で電子部品が損傷する恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重いものをのせたり、挟み込んだりしないでください。



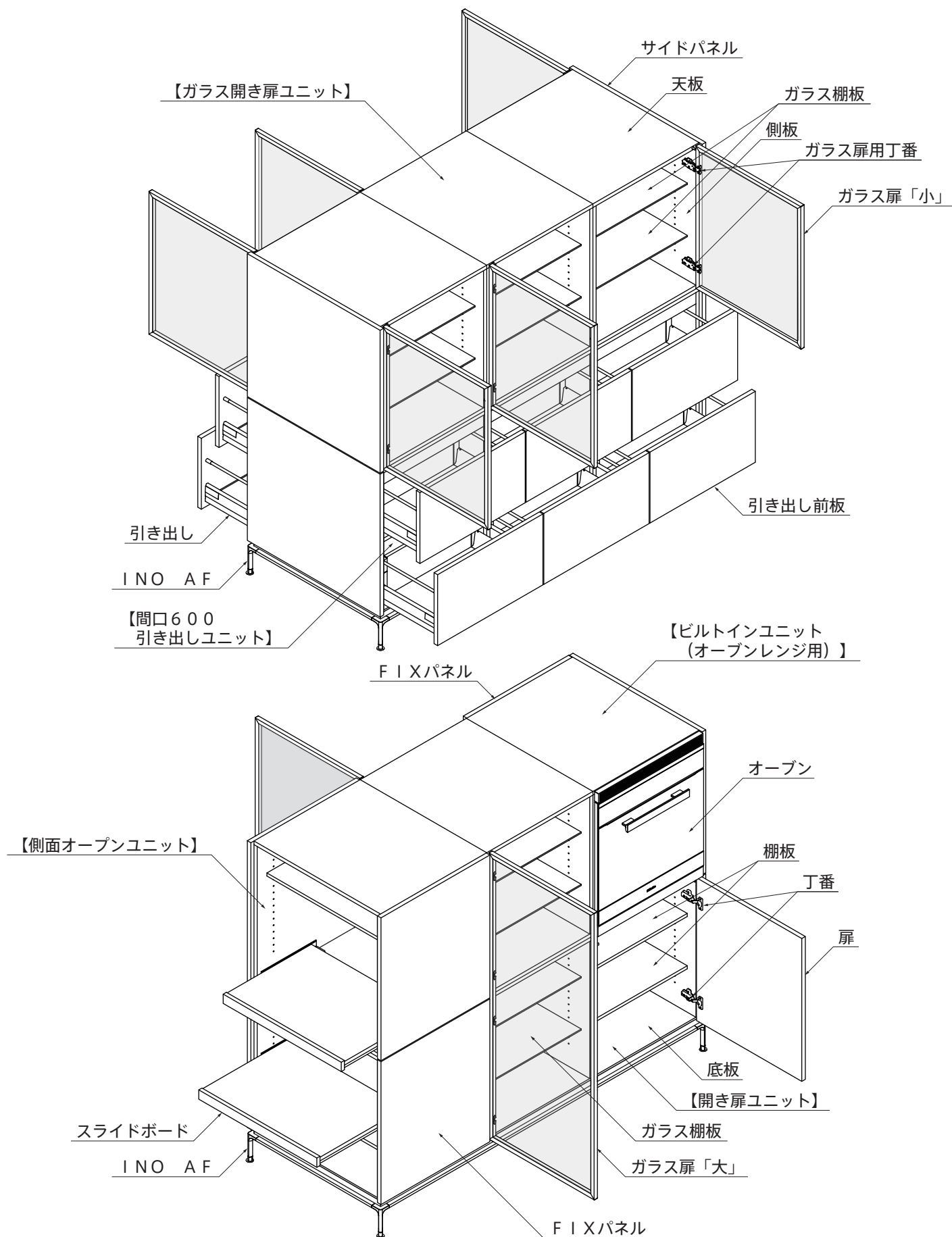
電源コードが破損して、感電・火災の原因になります。

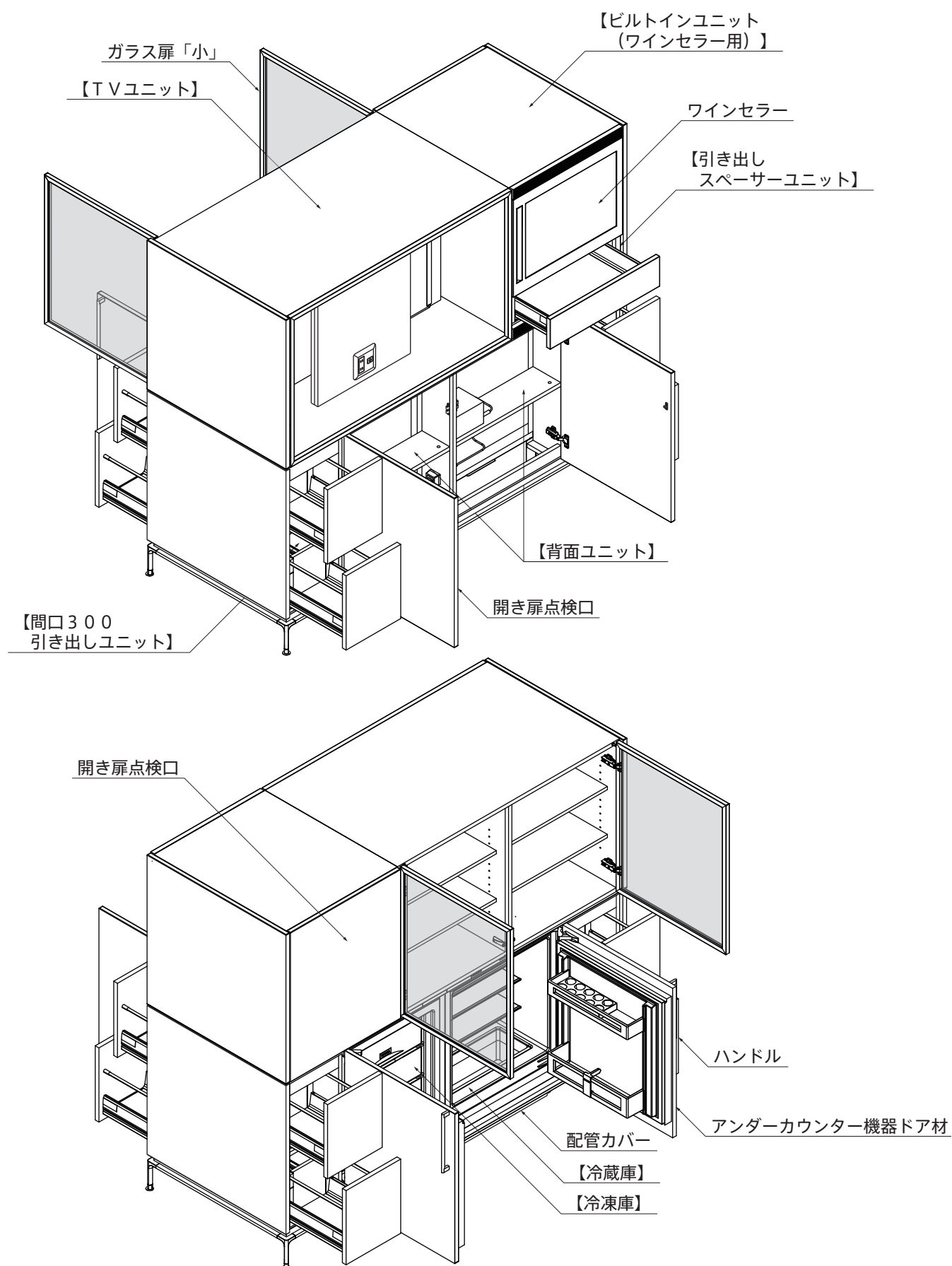
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たないでください。



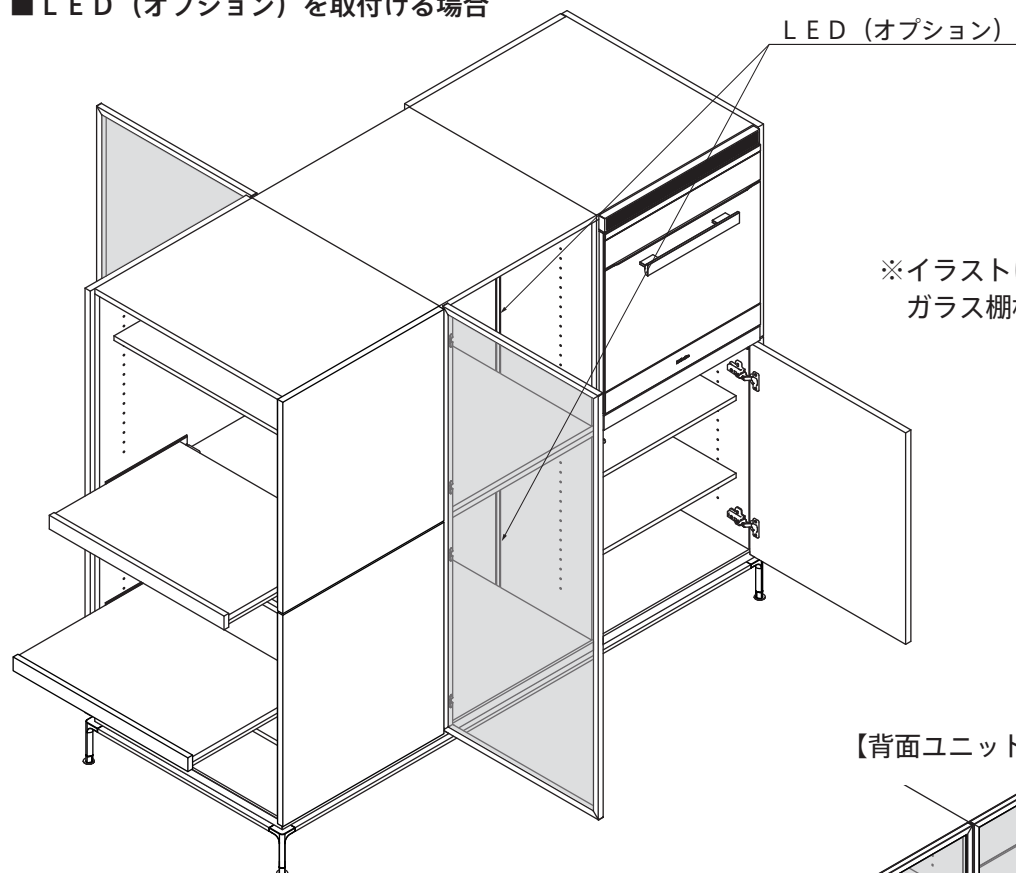
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って引き抜いてください。

各部の名称

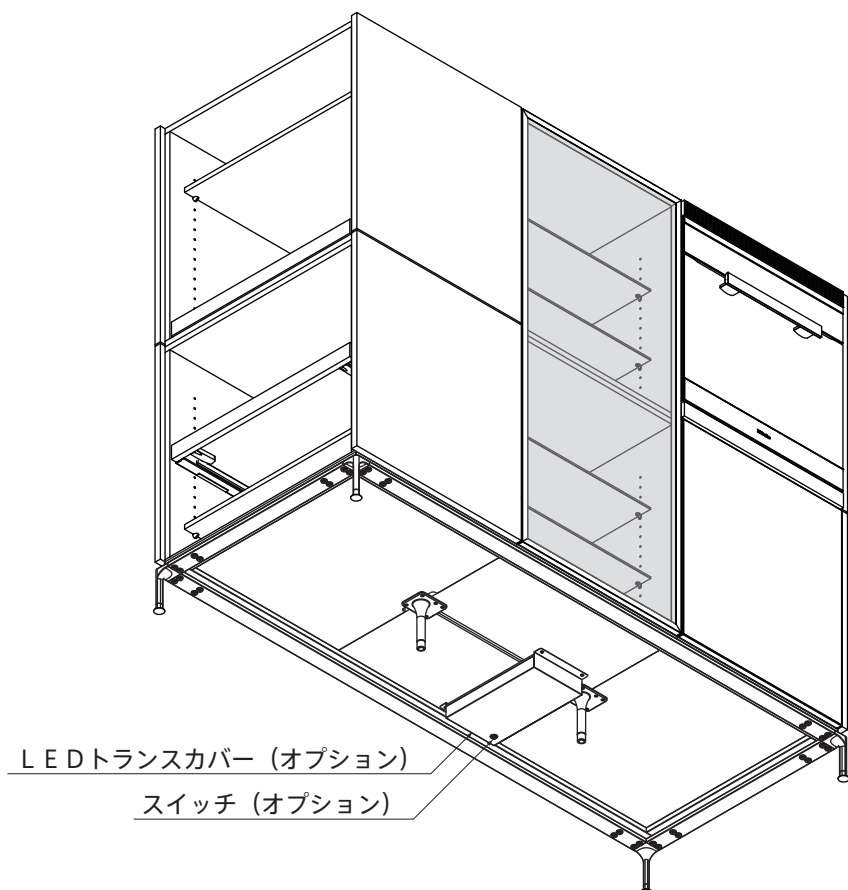
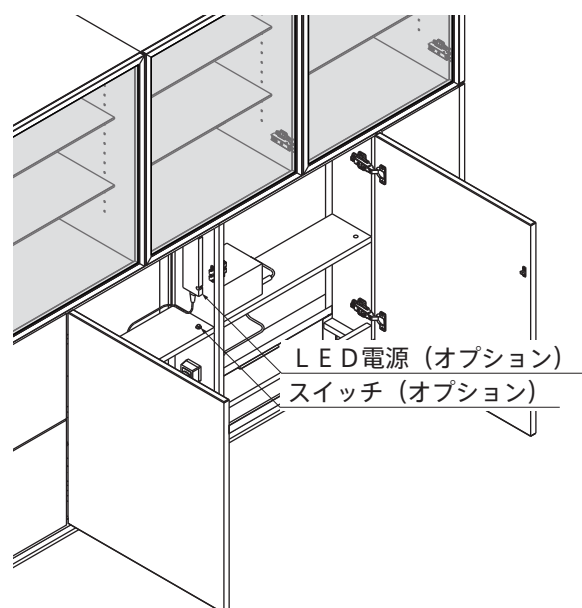




■ LED（オプション）を取付ける場合



【背面ユニットがある場合】



ご使用に際して

■ユニット、扉について

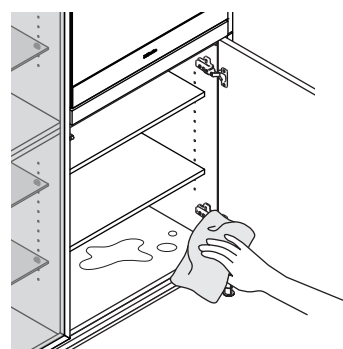
塩素系漂白剤・弱アルカリ性洗剤・ガソリン・シンナー・アルコール・ミガキ粉・研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。

表面塗装の剥がれ、破損、変質、変色の恐れがあります。




水が付着した場合は、すぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。

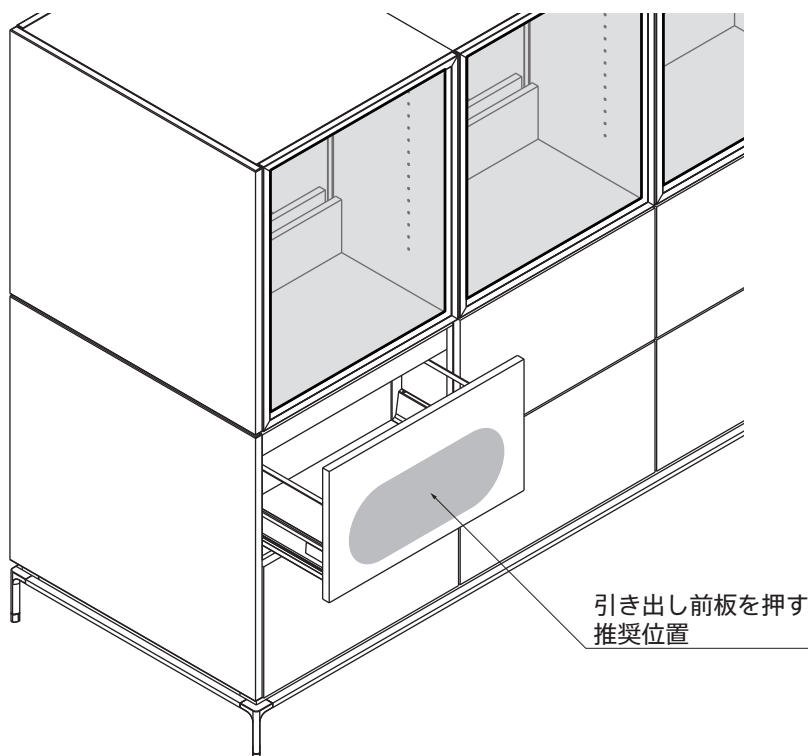
ふくれ、剥がれの原因になります。



■引き出しの開閉について

・引き出し前板の  付近を押すと引き出しが開きます。

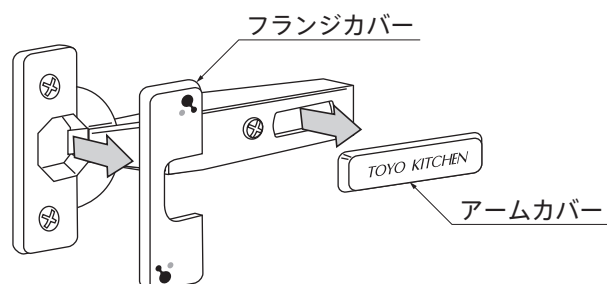
※引き出しを閉める際は引き出しが引き込まれるまで手で押し込んでください。



■扉について

扉（丁番）の調整

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。



●上下方向の調整

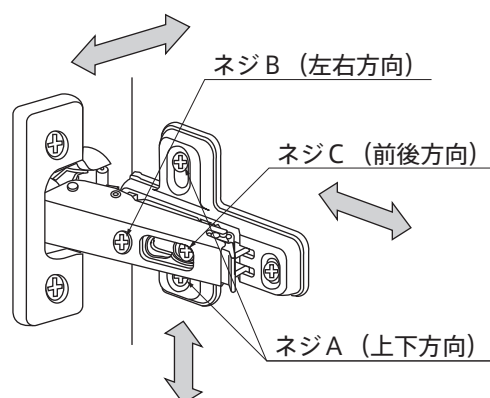
・座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定めて固定します。

●左右方向の調整

・ネジBで調整します。

●前後方向の調整

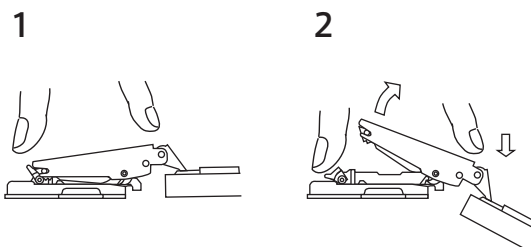
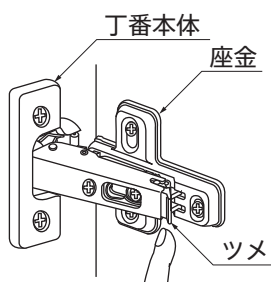
・ネジCで調整します。
※基本的には調整しません。



扉（丁番）の取り外し、取付け

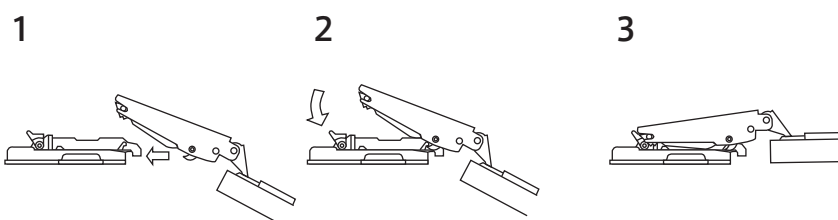
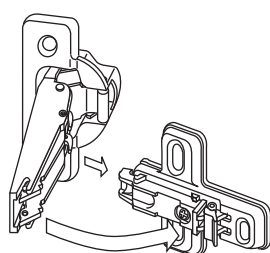
●取り外し

・ツメを押して座金から丁番本体を取り外します。



●取付け

・丁番本体を座金に取付けます。



■ガラス扉について

ガラス扉（丁番）の調整

●上下方向の調整

- ・座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定めて固定します。

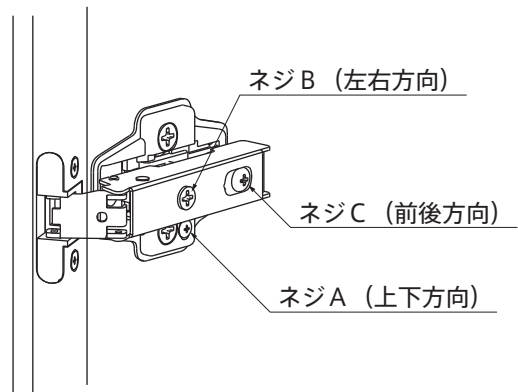
●左右方向の調整

- ・ネジBで調整します。

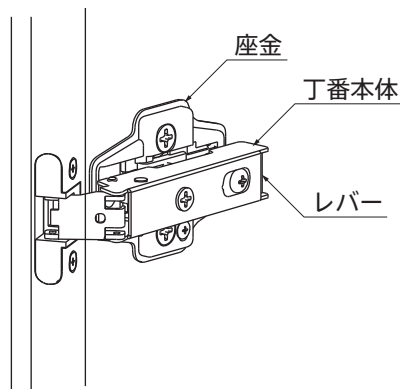
●前後方向の調整

- ・丁番本体のネジCをゆるめ、前後の位置を定めて固定します。

※基本的には調整しません。

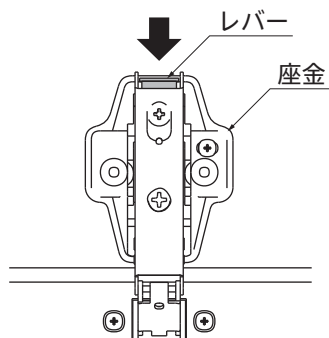


ガラス扉（丁番）の取り外し、取付け



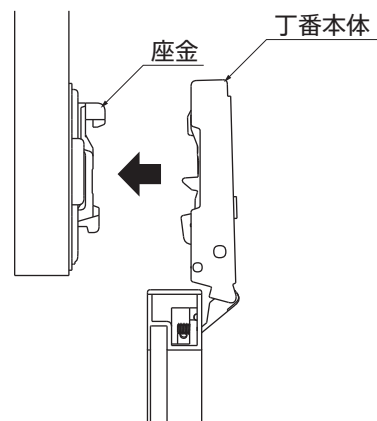
●取り外し

- ・レバーを押して座金から丁番本体を取り外します。



●取付け

- ・丁番本体を座金に取付けます。



■引き出しについて

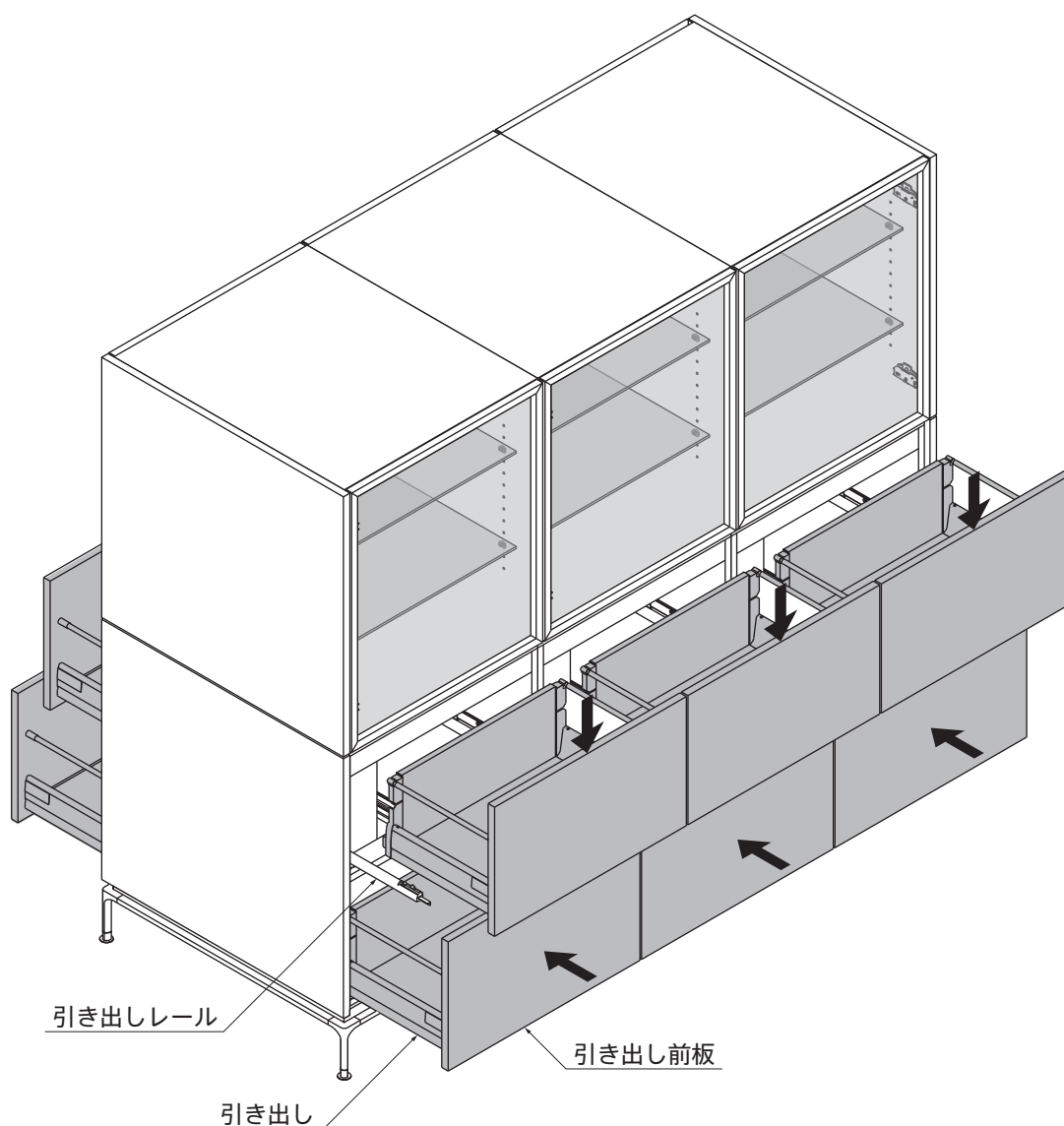
引き出しの取り外し、取付け

●取り外し

- ・引き出しをいっぱいまで引き出します。
- ・引き出しを持ち上げて取り外します。
- ※引き出し前板を持って取り外さないでください。

●取付け

- ・引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- ・引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- ・引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



クロスギャラリーの取付け

●クロスギャラリー 1 段タイプ

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。(図 1)
 - ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。(図 2、図 3)
 - ・クロスギャラリーのネジを締めます。(図 1)
- ※取り外すときは、逆の手順で行います。

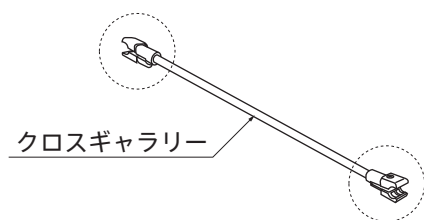


図 1

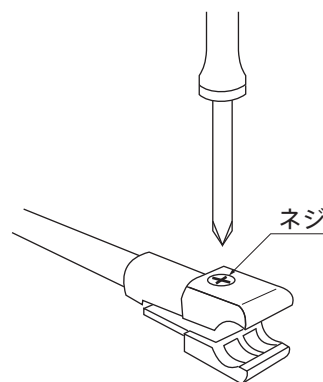


図 2

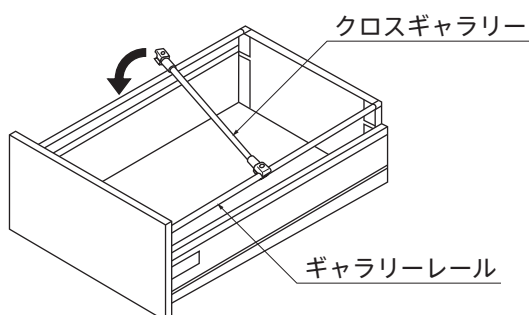
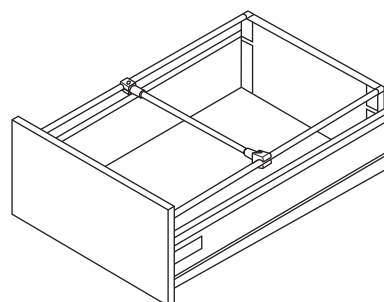
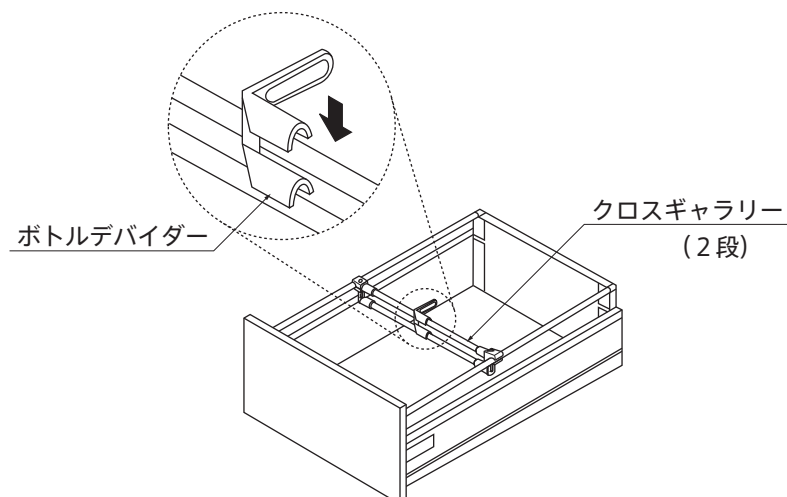


図 3



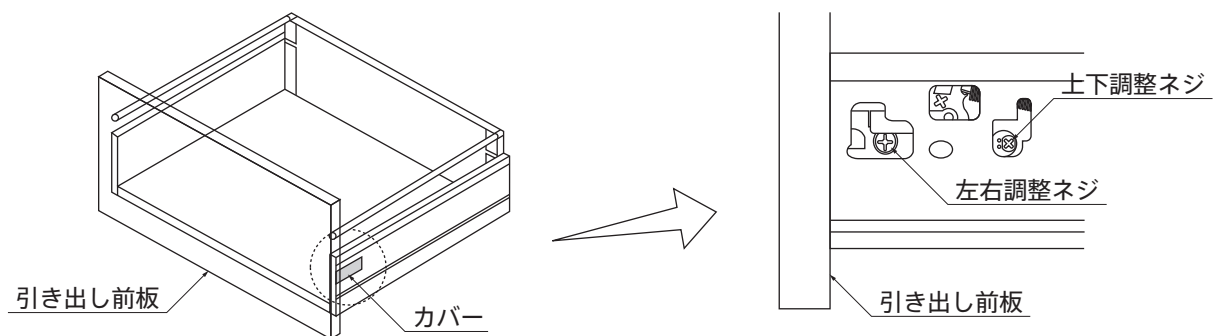
●クロスギャラリー 2 段タイプ

- ・クロスギャラリー 2 段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー 2 段にはめ込みます。



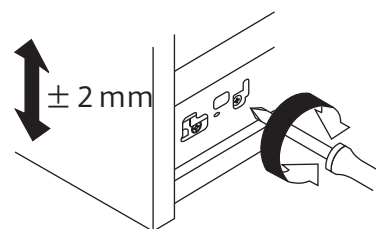
引き出し前板の調整

- ・ 引き出し側板左右外側についているカバーをマイナスドライバーなどで外してください。
- ・ 調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



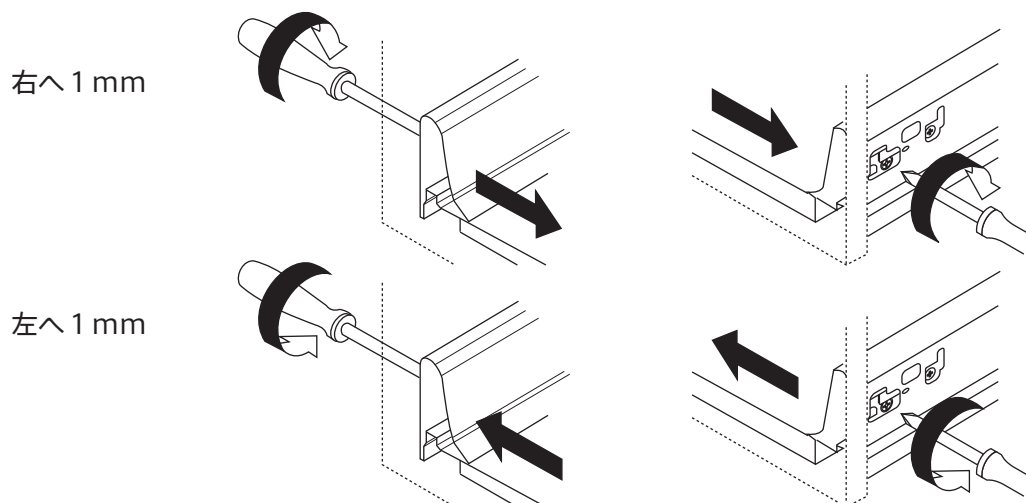
●上下方向の調整

- ・ 上下調整ネジを＋ドライバーで回して、引き出し前板の上下方向を調整します。
± 2 mm調整できます。



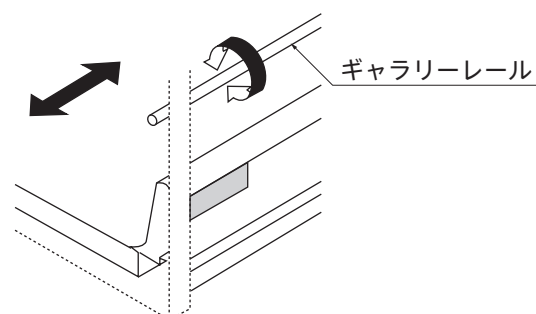
●左右方向の調整

- ・ 左右調整ネジを＋ドライバーで回して、引き出し前板の左右方向を調整します。
± 1 mm調整できます。



●傾き調整

- ・ ギャラリーレールを回して、引き出し前板の傾きを調整します。



プッシュオンの調整

引き出しの場合

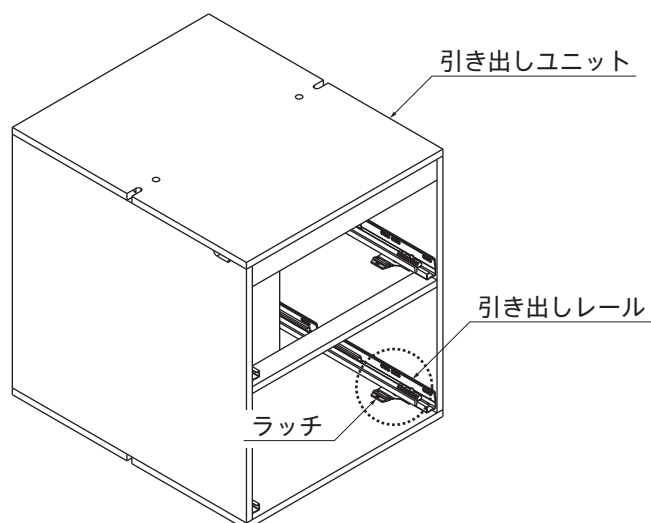
●引き出しレール側の調整

・引き出しレールに取付けてあるラッチ（R／L）が引き出しレールと平行であること（図1）を確認してください。

※平行に取付いていない場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

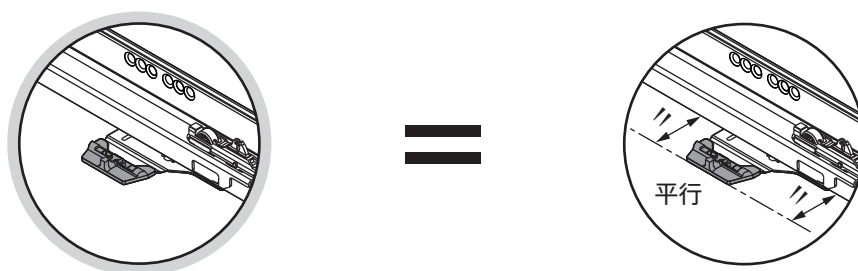
・平行でない場合は、ラッチの奥側を軽く手前に引き出して（図2）、カチッと音がした所で止めて平行になったこと（図1）を確認してください。

※引き出す際に強く引き過ぎるとラッチが曲がったり破損する恐れがあります。



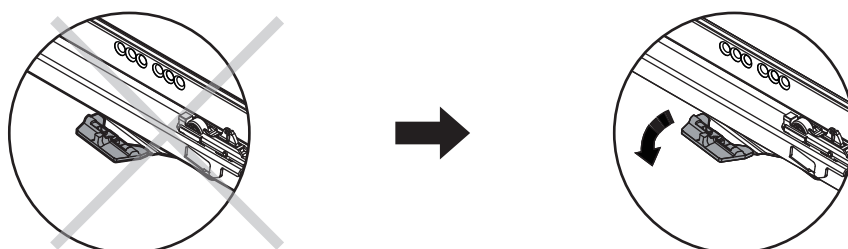
ラッチが引き出しレールと平行の場合

図1



ラッチが引き出しレールに平行でない場合

図2



●引き出し側の調整

- ・引き出し裏面の両端に取付けたプッシュオンユニット（R／L）の調整ダイヤルを回して、引き出しの前後方向を調整します。（図3）
- ※最小隙間以下の場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。
- ※引き出しの左右の出が違う場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。
- ※キッチンの水平レベルが出ておらず、キッチン全体が歪んだりしている場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。
- ・ユニット側板と引き出し前板の隙間が上下同じになるように、ギャラリーレールを回して傾きを調整をしてください。（図4）（「引き出し前板の調整 傾き調整」参照）
- ※引き出し前板の傾きがあると、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

図3

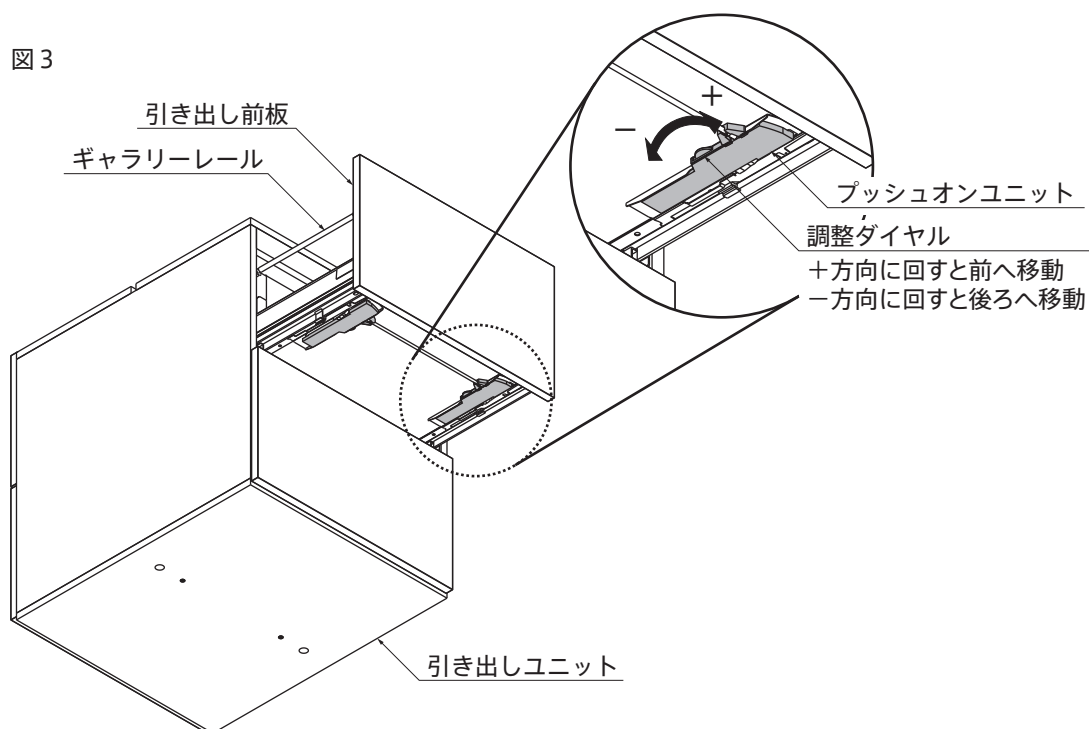
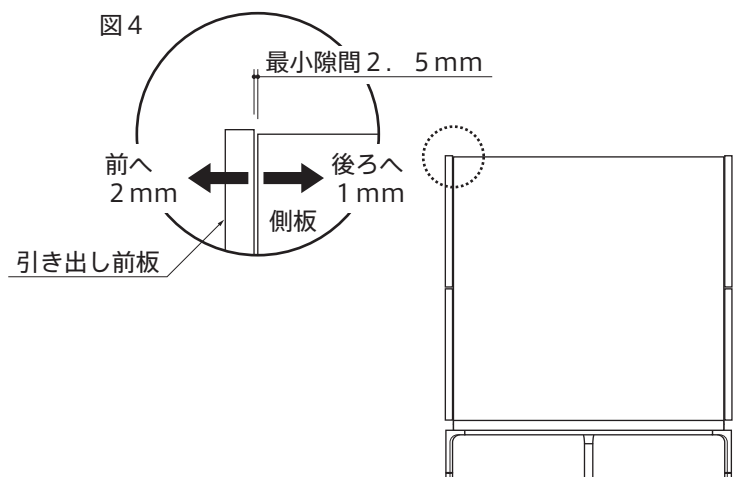


図4

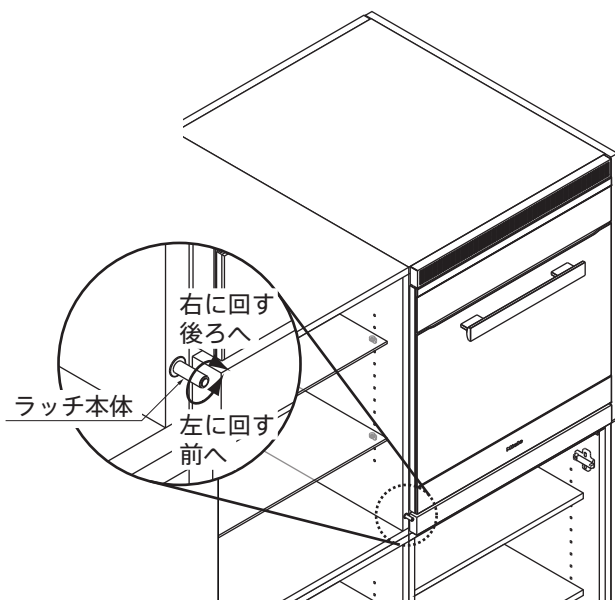


開き扉の場合

- ・扉のラッチ付近を軽く押すだけで扉が開きます。
- ※扉を閉める際は最後まで手で押し込んでください。
- ※接地部（マグネット受け座、ラッチ本体先端）が汚れると、マグネットが弱くなるため、掃除をしてきれいに保ってください。

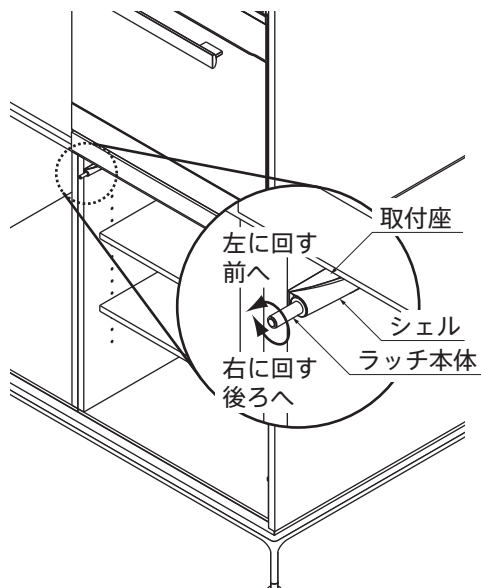
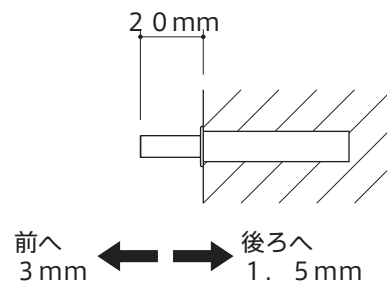
●ラッチのストロークの調整

- ・扉が開いている状態で、ラッチ本体を回して、ストロークを調整してください。
- ※誤作動防止のためストローク調整は調整範囲内にしてください。
- ※調整代を指定寸法以上に長くすると破損の原因になります。



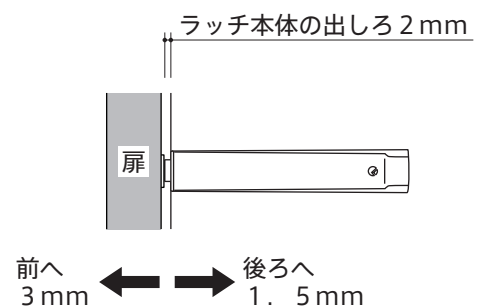
■扉が開いた状態

ガラス開き扉ユニット【側面図】



■扉が閉じた状態

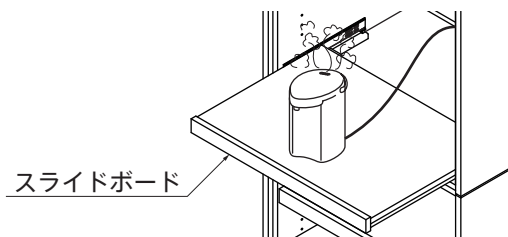
開き扉ユニット【側面図】



■スライドボードについて

電化製品をご使用になるときは、必ずスライドボードを引き出してください。

炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、本体や棚板の変形の原因になります。また、水蒸気が電化製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。

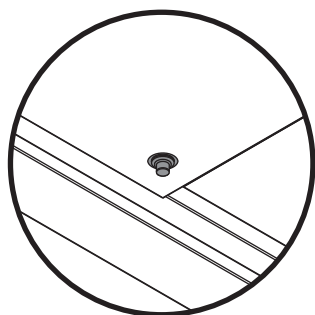
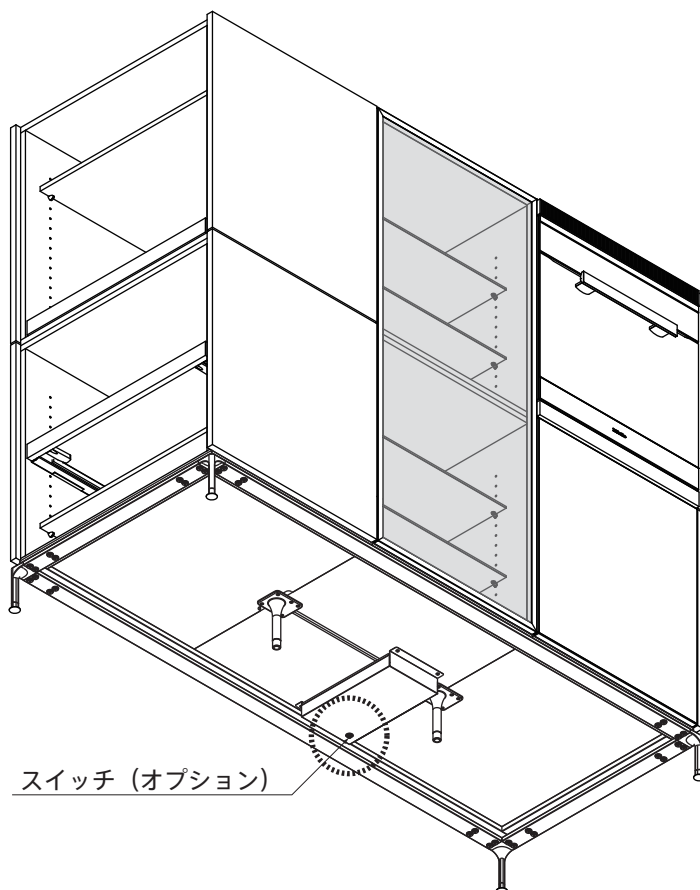


■LED（オプション）について

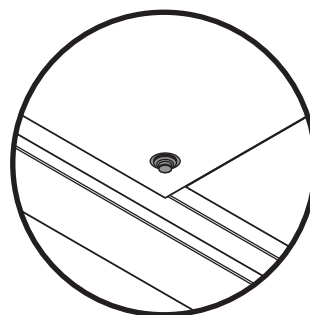
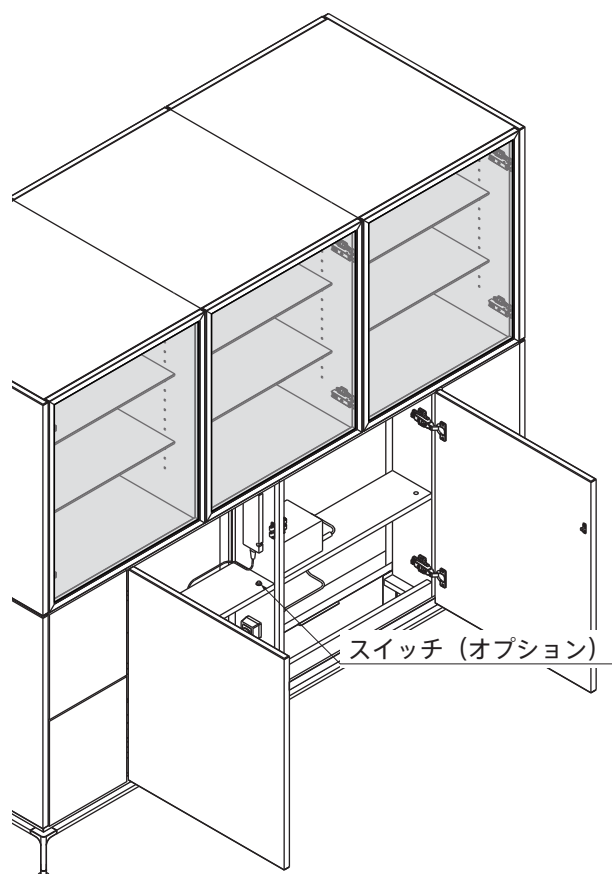
- ・ ご使用になる際はスイッチを押してください。
- ・ スイッチまわりに水等をかけないでください。

※漏電や誤動作の原因になります。

【ユニット底板裏面にスイッチがある場合】



【背面ユニットにスイッチがある場合】



■耐荷重

棚板（側面オープンユニット）	3 0 k g	引き出し	1 5 k g
（開き扉ユニット）	1 5 k g	スライドボード	2 5 k g
ガラス棚板	1 5 k g		

※ 5 k g ・ ・ ・ 直径 2 0 c m のお皿 1 5 枚程度を目安にしてください。

※ 均等に物をのせた場合の耐荷重です。

■棚板の位置変え

棚板

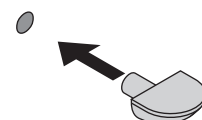
棚板は、お好みの位置に変えられます。

棚板を取り外し、棚受け（ダボ）の位置を変えてください。

前面にはツメ付き、背面にはツメ無しを差し込みます。

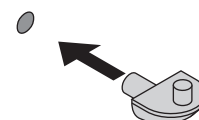
【前面】

棚受け（ダボ）
ツメ付き



【背面】

棚受け（ダボ）
ツメ無し



ガラス棚板

ガラス棚板は、お好みの位置に変えられます。

ガラス棚板を取り外し、吸盤付き棚受け（ダボ）の位置を変えてください。

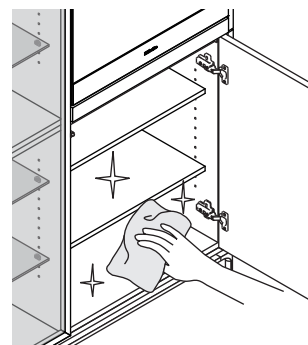


吸盤付き棚受け（ダボ）

お手入れ方法

通常のお手入れは、柔らかい布を水またはお湯に浸し、よく絞ってから拭いてください。

汚れは、中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で拭きしてください。



ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名、住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取扱いします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、取付・設置店、販売店、又はトーヨーキッチンカスタマーサービスにお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

・ ご氏名 ・ ご住所 ・ お電話番号 ・ お買い上げ日 ・ 異常の内容 ・ 品番

■製品の保証期間はご購入後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

ホルムアルデヒド発散区分

ホルムアルデヒド発散区分 内装仕上部分および下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール 「住宅部品表示ガイドライン」キッチンバス工業会 表示指針による

VOC放散性能

VOC放散性能 4VOC基準適合（木質建材）
表示ルール 「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。



取付・設置説明書

安全上のご注意


必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を見逃して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。
-----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

警告

電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。

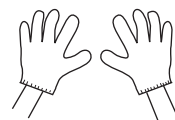


火災・感電の原因になることがあります。

金属製の製品を取扱うときは、必ず保護手袋をしてください。



手袋着用



鋼板の切り口や角で手を切る恐れがあります。

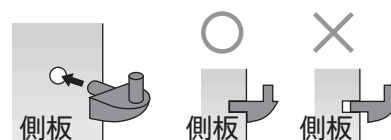
注意

取付・設置完了後は、扉のガタつきが無いことを確認してください。



扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

棚板を設置するときは、棚受け（ダボ）をすき間の無いよう根元まで確実に差し込んでください。



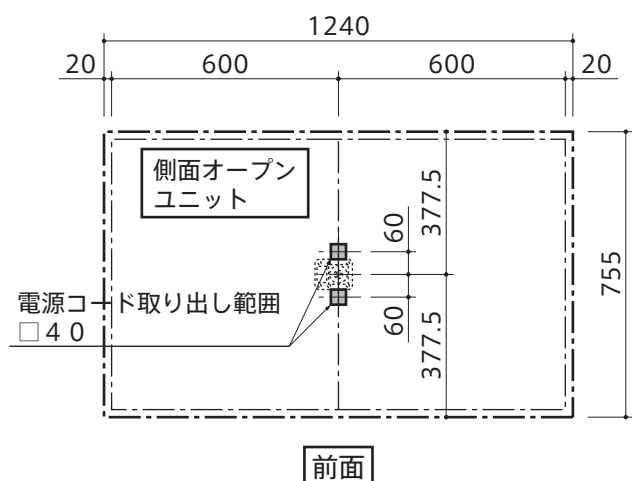
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

取付・設置前の確認

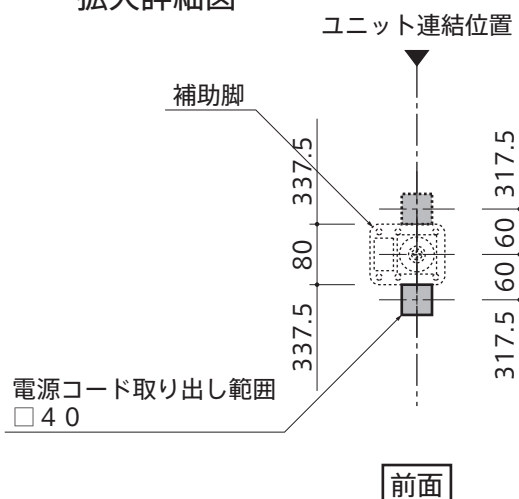
- 注文した製品が納入されているか確認してください。
 - 床の水平レベルを確認してください。
 - 側面オープンユニットがある場合、スライドコンセント用にあらかじめ床から電源コード（交流・単相 100V 1200W 上段用1500mm程度、下段用1000mm程度）を取り出しておきます。
 - ビルトインユニットがある場合、オープン用、ウォーマー用、ワインセラー用にあらかじめ床から電源コード（200Vまたは100V 各2500mm程度）を取り出しておきます。
 - TVユニットがある場合、あらかじめ床から電源コード（100V）とテレビコードを各2500mm程度取り出しておきます。
 - LEDを取付ける場合
 背面ユニットがない場合、床の指定位置に専用コンセント15A 125Vを設置してください。
 背面ユニットがある場合、あらかじめ床から電源コード（100V）を2500mm程度取り出しておきます。
- ※1ヶ所に取り出す電源コードは3本までとし、4本以上になる場合は2ヶ所にわけてください。
 （例：1ヶ所目→スライドコンセント用、2ヶ所目→オープン用+ウォーマー用）
- ※電源コードは補助脚をつたってユニット内へ引き込んでください。
- ※電源コードはコードクリップ（市販品）などでユニット底板裏面に固定してください。

電源コード取り出し位置【平面図】

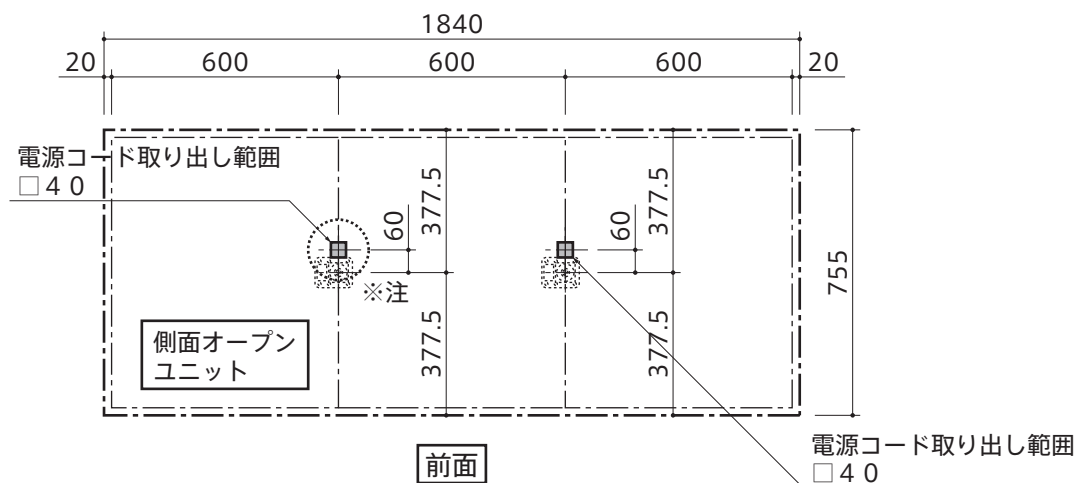
LEDを取付けない場合



拡大詳細図



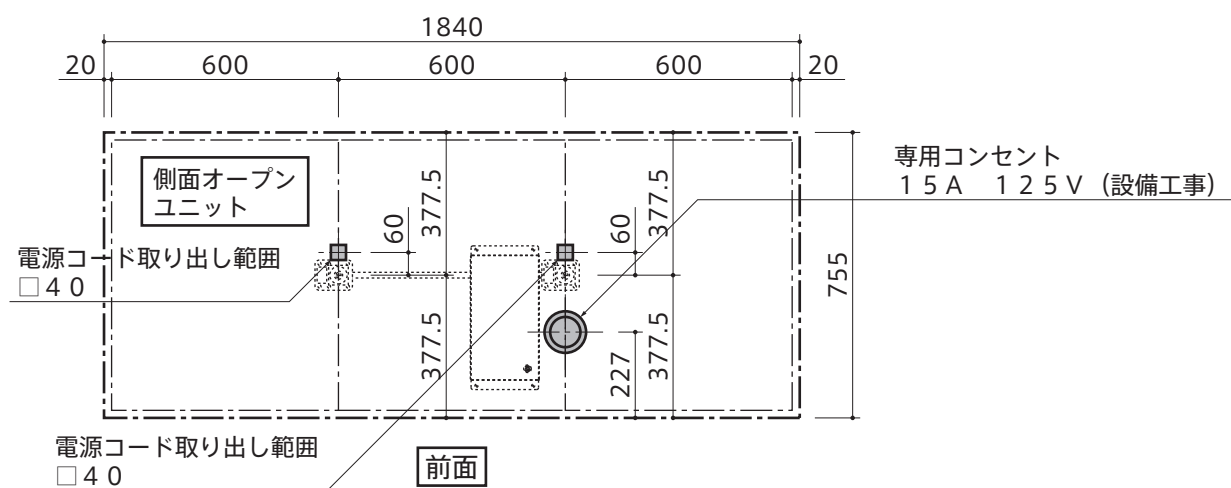
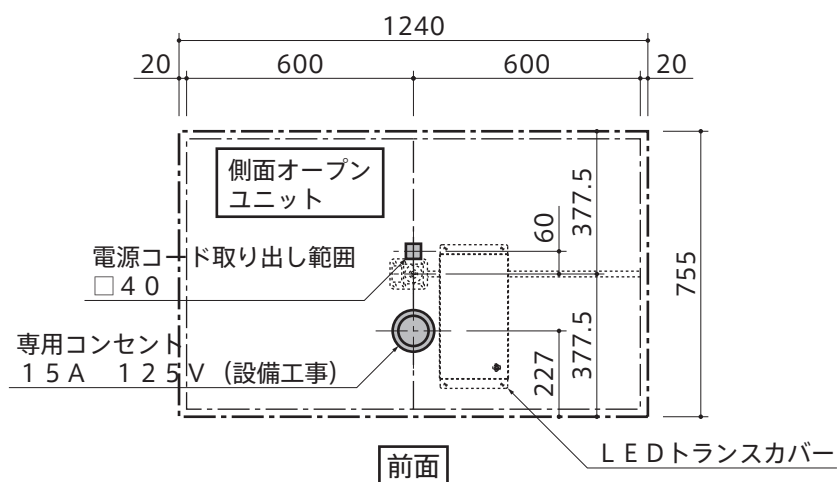
※2ヶ所から電源コードを取り出す場合、背面側はオープン用またはウォーマー用とします。



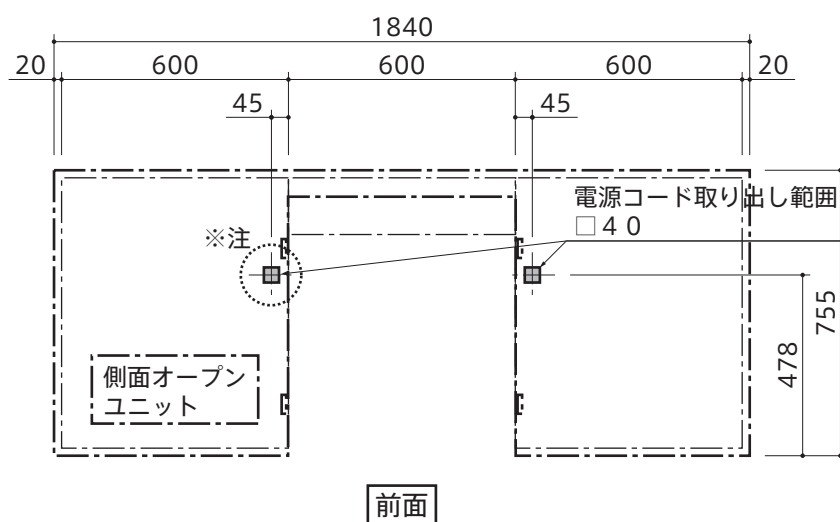
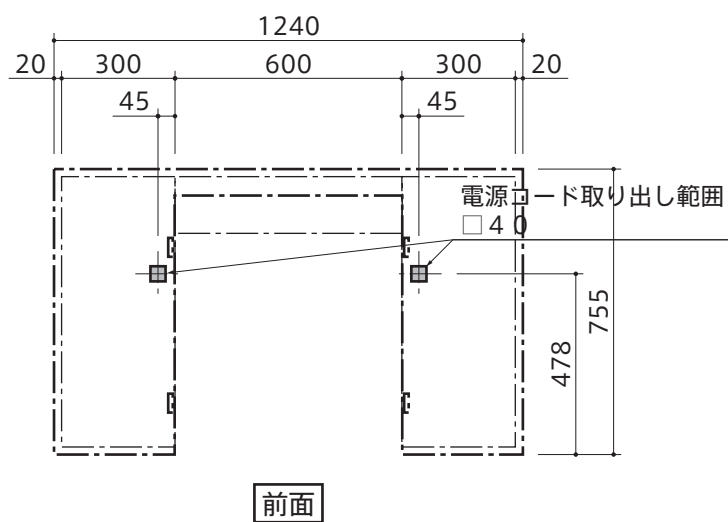
※注 スライドコンセント用の電源コードは、側面オープンユニット側に取り出してください。

LED電源を底板裏面に取付ける場合

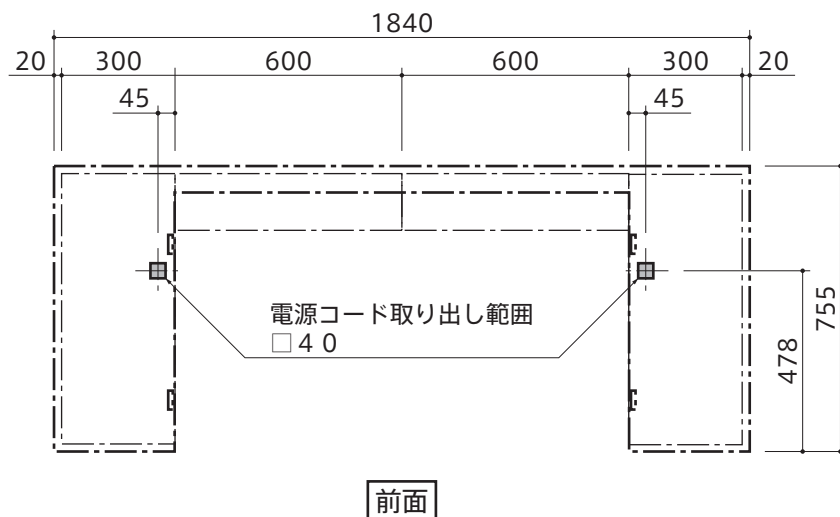
※専用コンセントはLEDトランスカバーに近い補助脚側に設置してください。



背面ユニットがある場合



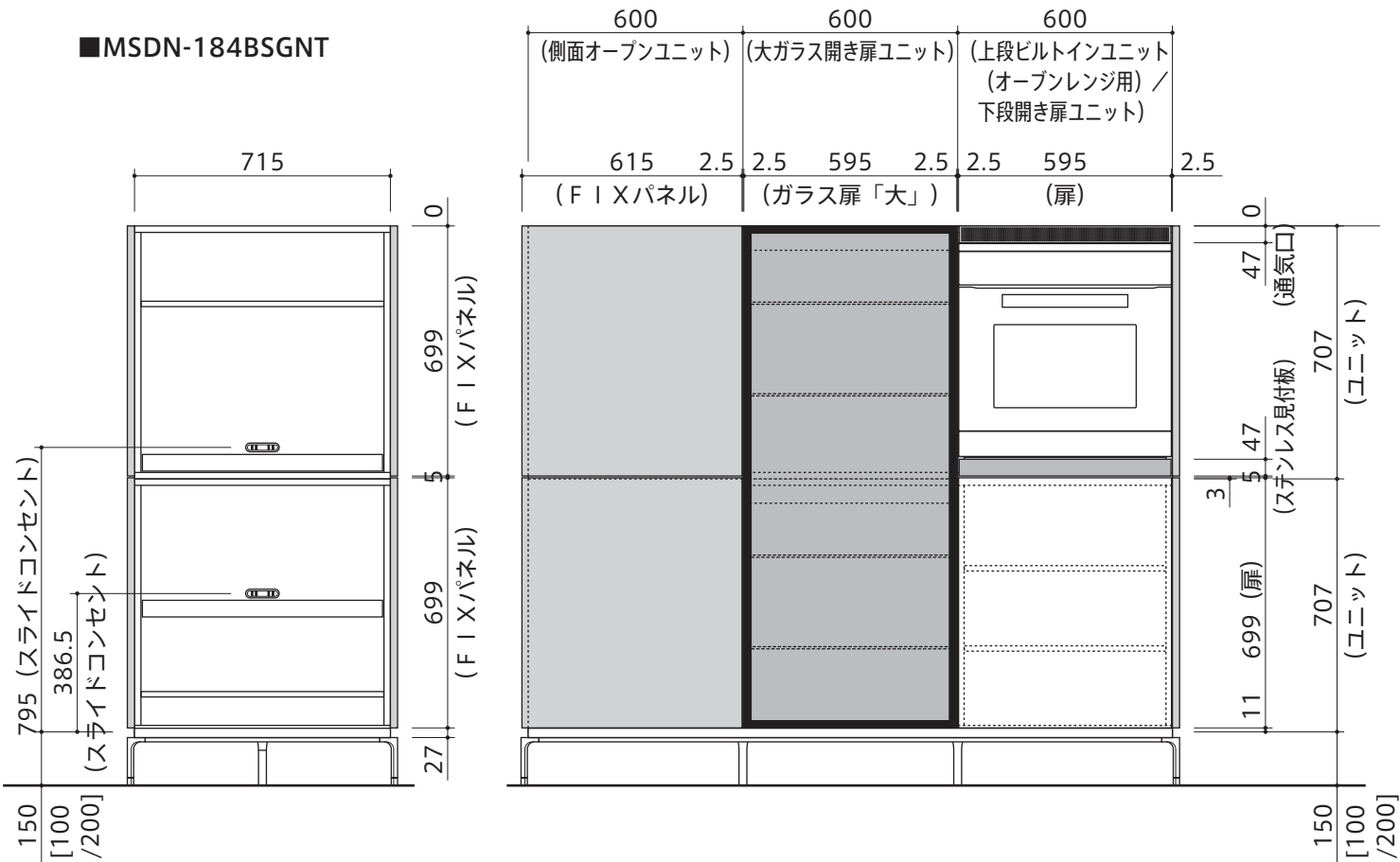
※注 スライドコンセント用の電源コードは、側面オープンユニット側に取り出してください。



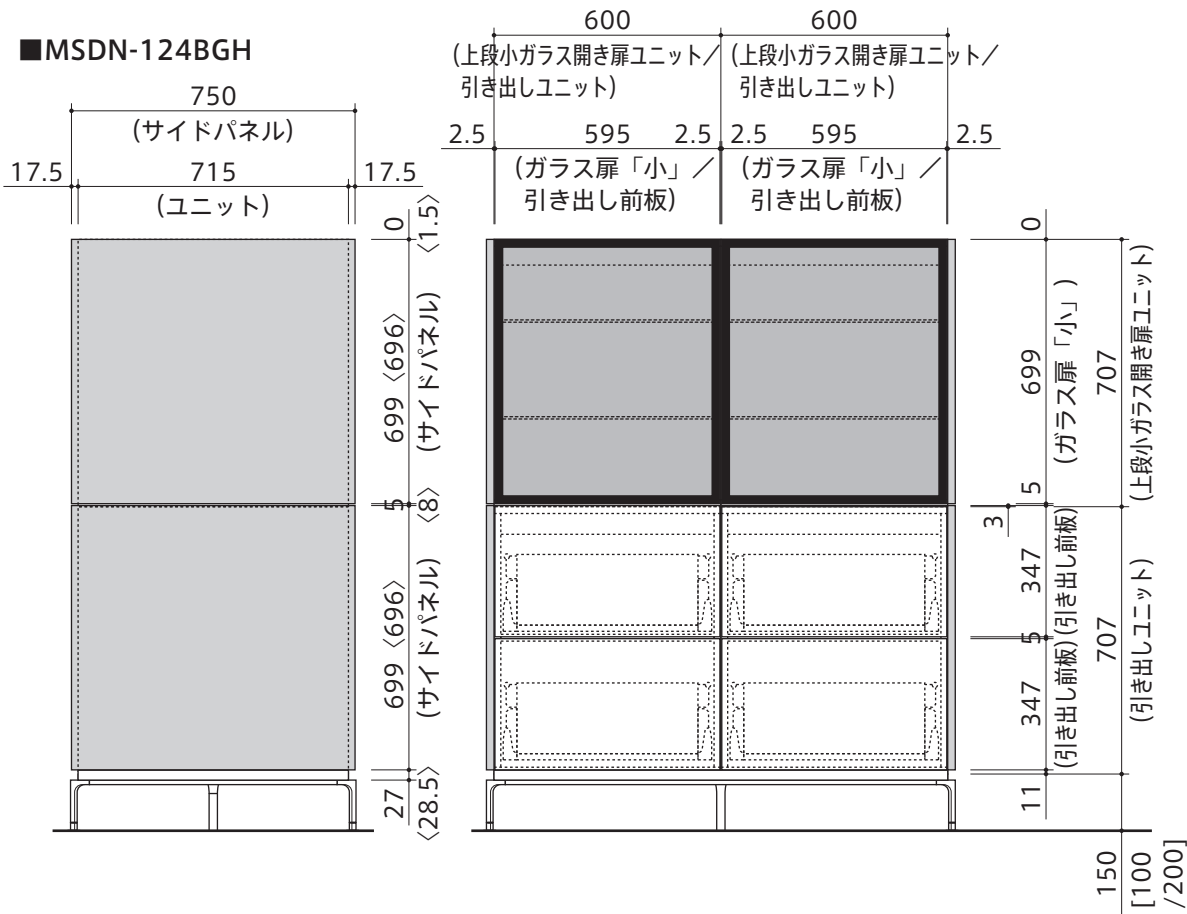
製品寸法図

※ [] 内寸法は、AF仕様【H=100／H=200】の場合を示す。
 ※ 〈 〉 内寸法は、リニアメタルの場合を示す。

■MSDN-184BSGNT



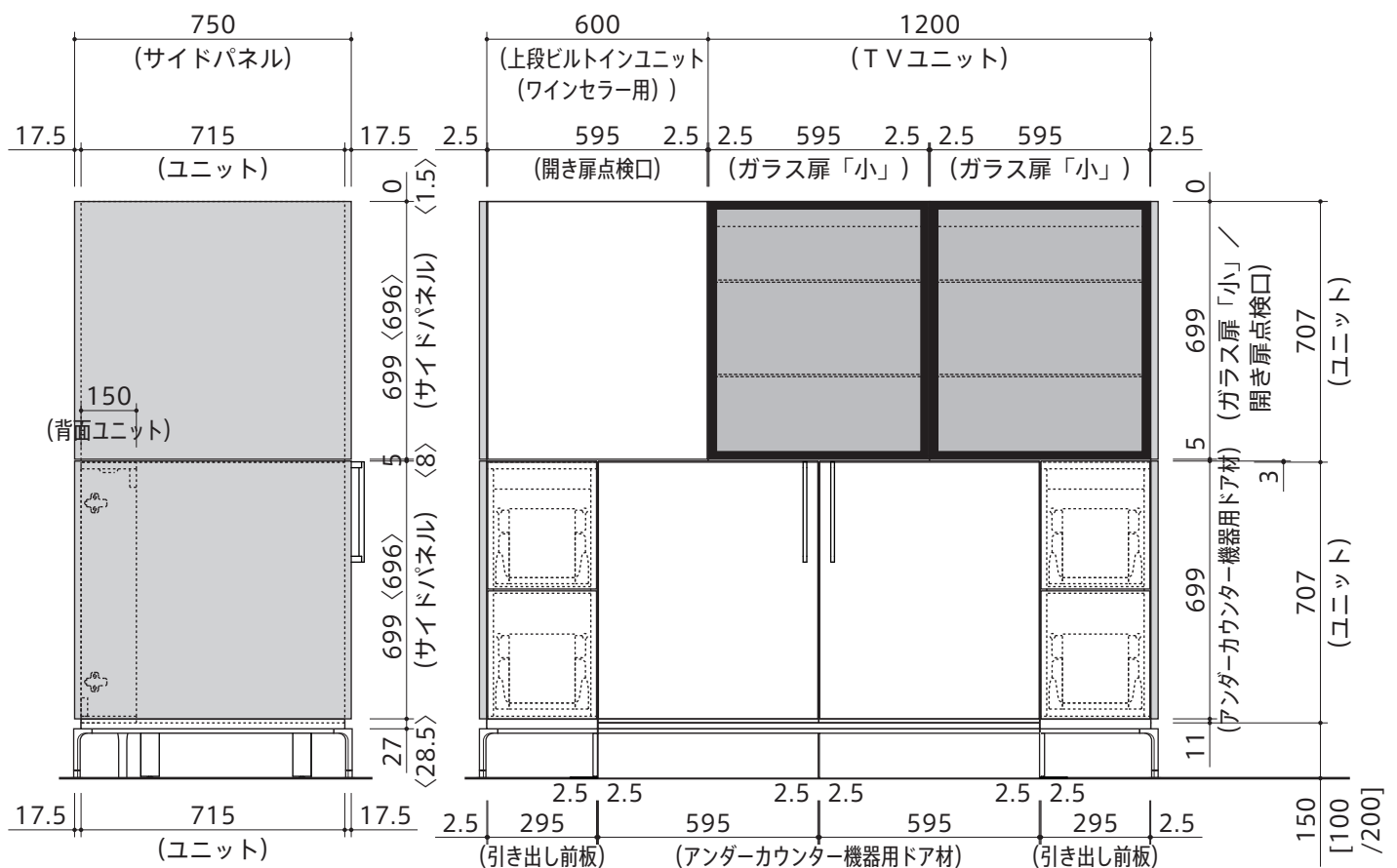
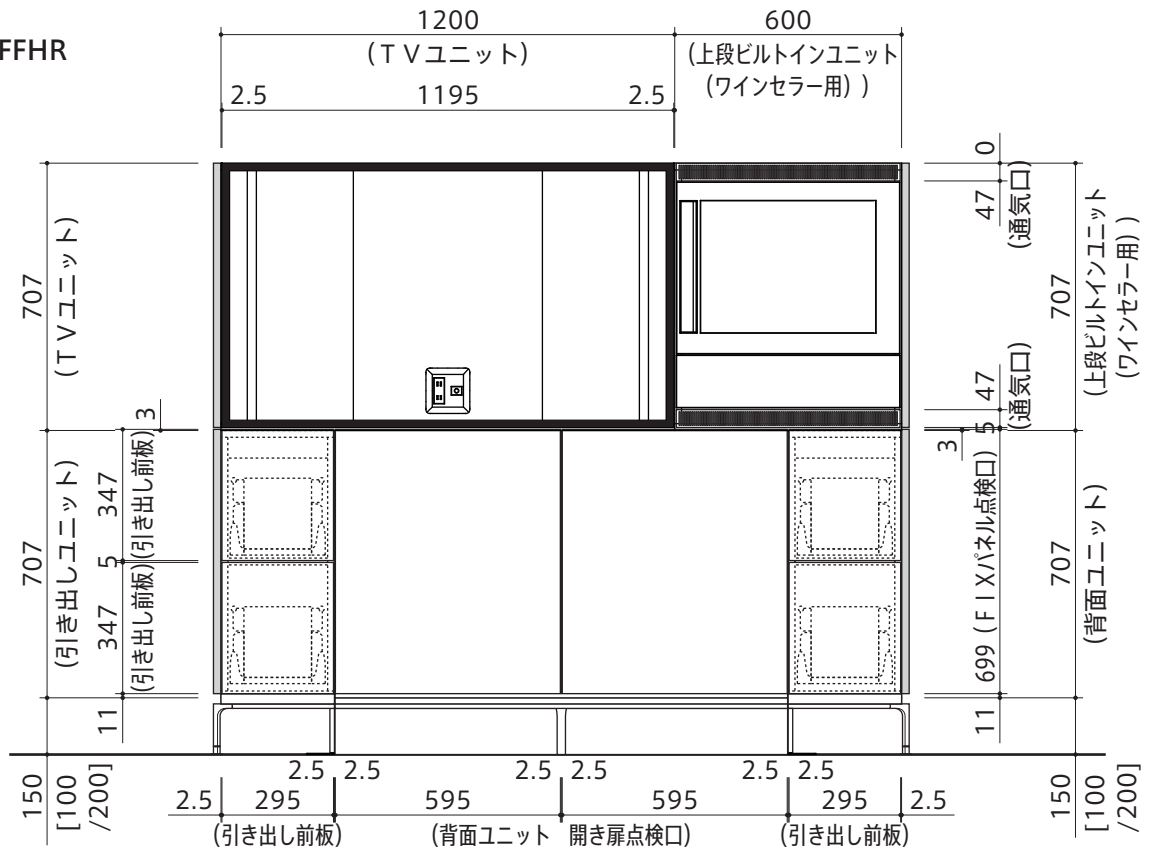
■MSDN-124BGH



※ [] 内寸法は、A F仕様【H=100/H=200】の場合を示す。

※ < > 内寸法は、リニアメタルの場合を示す。

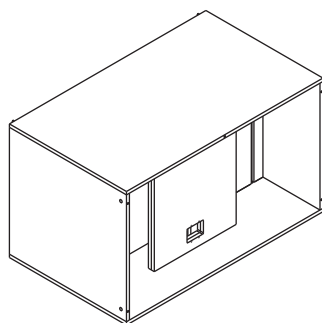
■MSDN-184BVCHFFHR



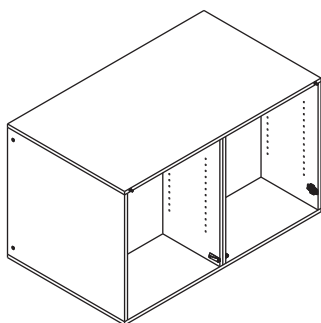
ユニット一覧

■次のユニットを組み合わせて構成されています。
上下左右前後に注意して組み立ててください。

TVユニット

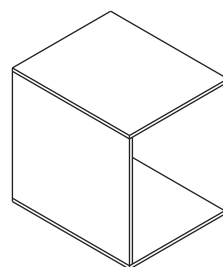


TV側

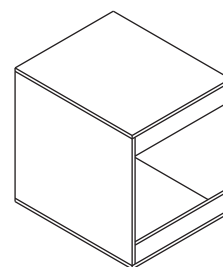


ガラス開き扉側

ビルトインユニット
(オープンレンジ用)

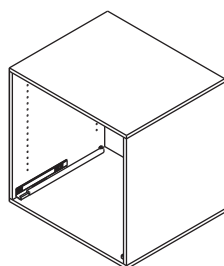


オープン側

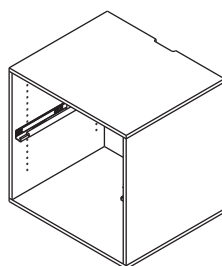


背面側

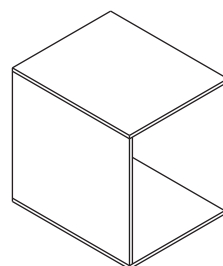
上段側面オープンユニット



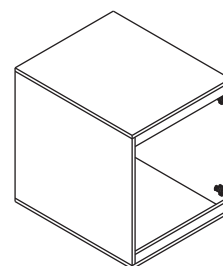
下段側面オープンユニット



上段ビルトインユニット
(ワインセラー用) R (L)

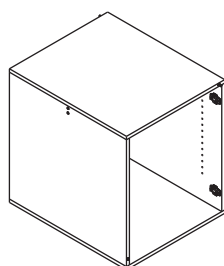


ワインセラー側

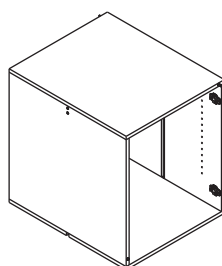


背面側

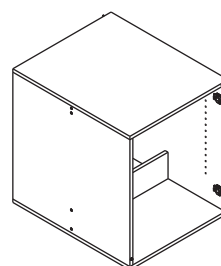
上段大ガラス開き扉ユニット



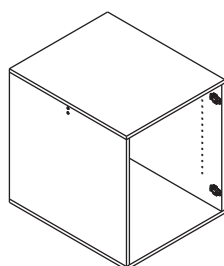
上段大ガラス開き扉ユニット
(LED)



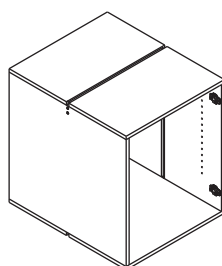
上段小ガラス開き扉ユニット



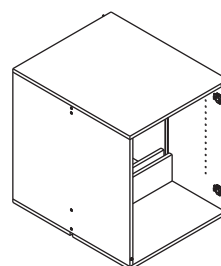
下段大ガラス開き扉ユニット



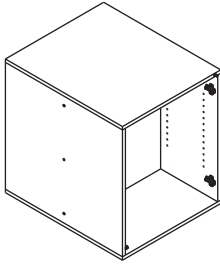
下段大ガラス開き扉ユニット
(LED)



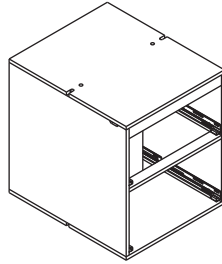
上段小ガラス開き扉ユニット
(LED)



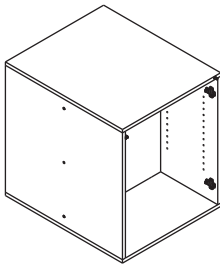
上段開き扉ユニット



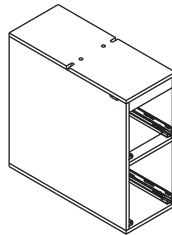
間口600引き出しユニット



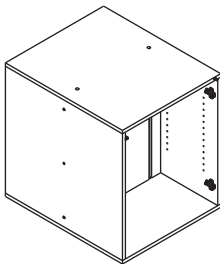
下段開き扉ユニット



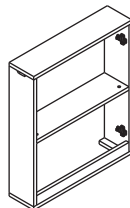
間口300引き出しユニット



下段開き扉ユニット
(配線溝あり)



背面ユニットR (L)

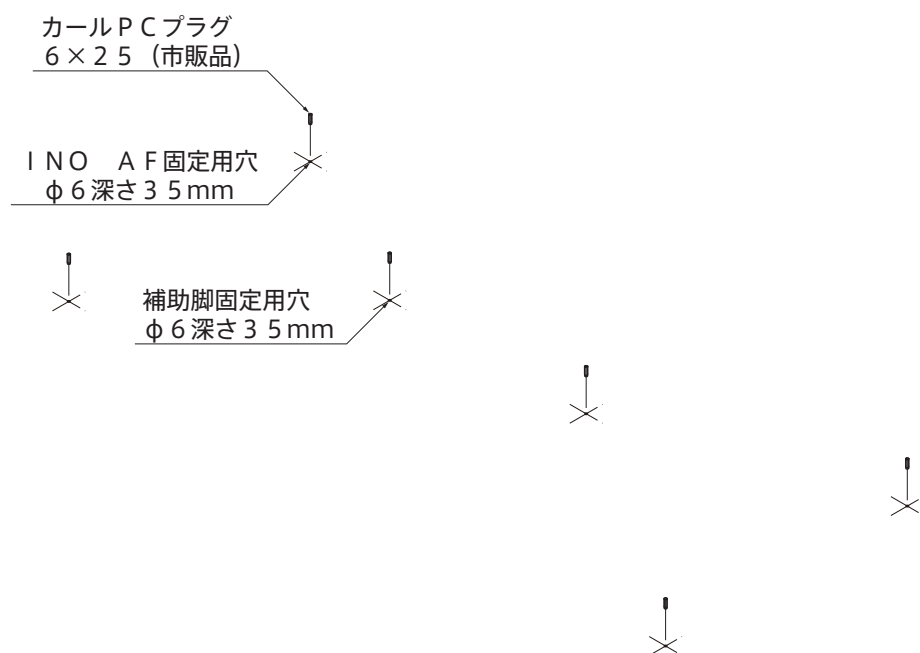


取付・設置方法

1 固定用穴あけ (※床固定にカールP Cプラグを使用する場合)

※コンクリート床、石床の場合、I N O A Fを設置する前にカールP Cプラグを取付けます。

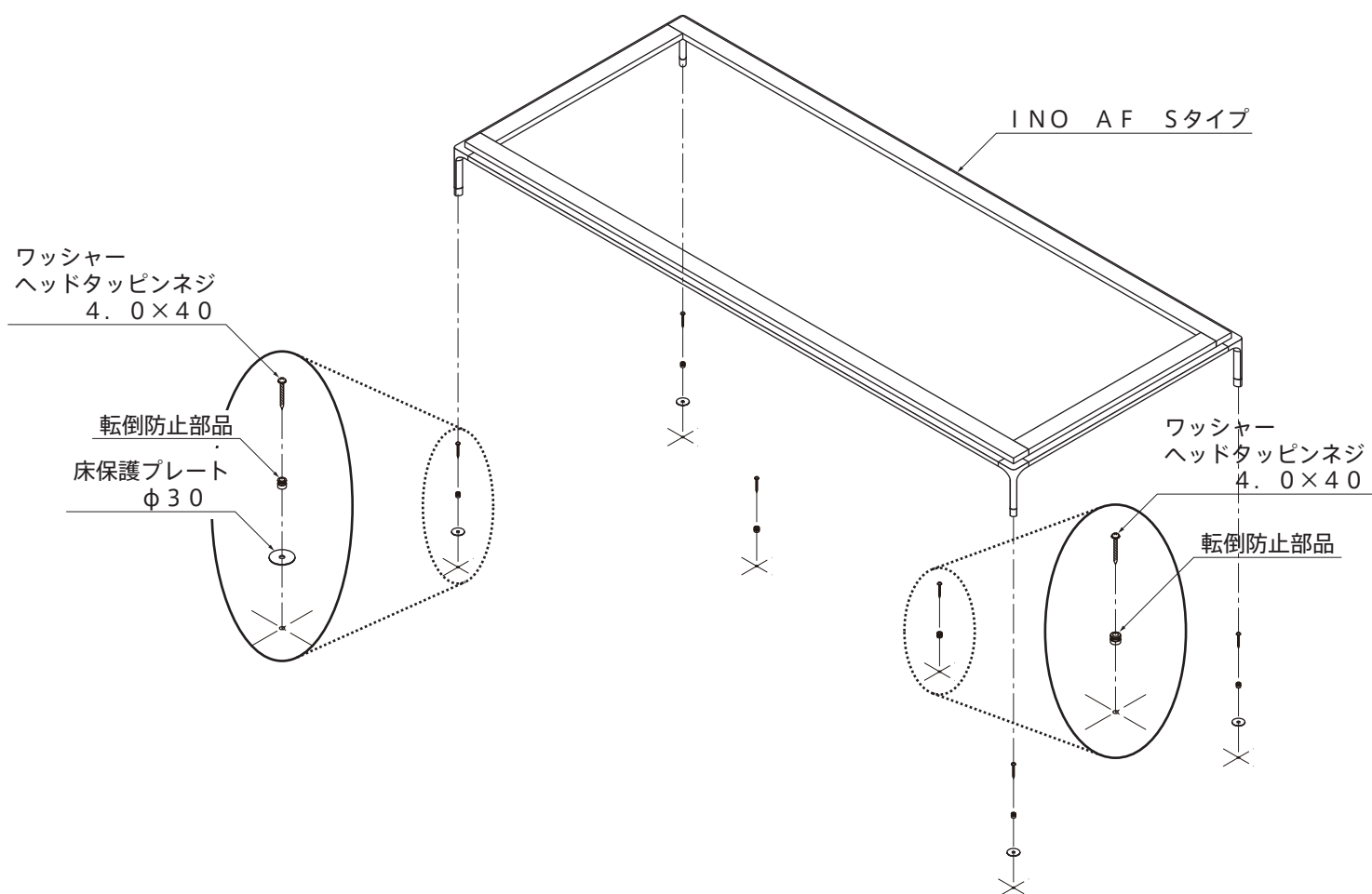
- ・ I N O A Fと補助脚の設置位置に固定用穴φ 6 深さ3 5 mmをあけます。
- ・ 固定用穴にカールP Cプラグ6 × 2 5 (市販品)を打ち込みます。



2 転倒防止部品の取付け、INO AF の設置

■ INO AF Sタイプの設置

- ・ INO AFの設置位置に、床保護プレートφ30を置き、その上から付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×4.0にて転倒防止部品を床面に固定します。
- ・ 補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×4.0にて転倒防止部品を床面に固定します。
- ・ INO AFを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。

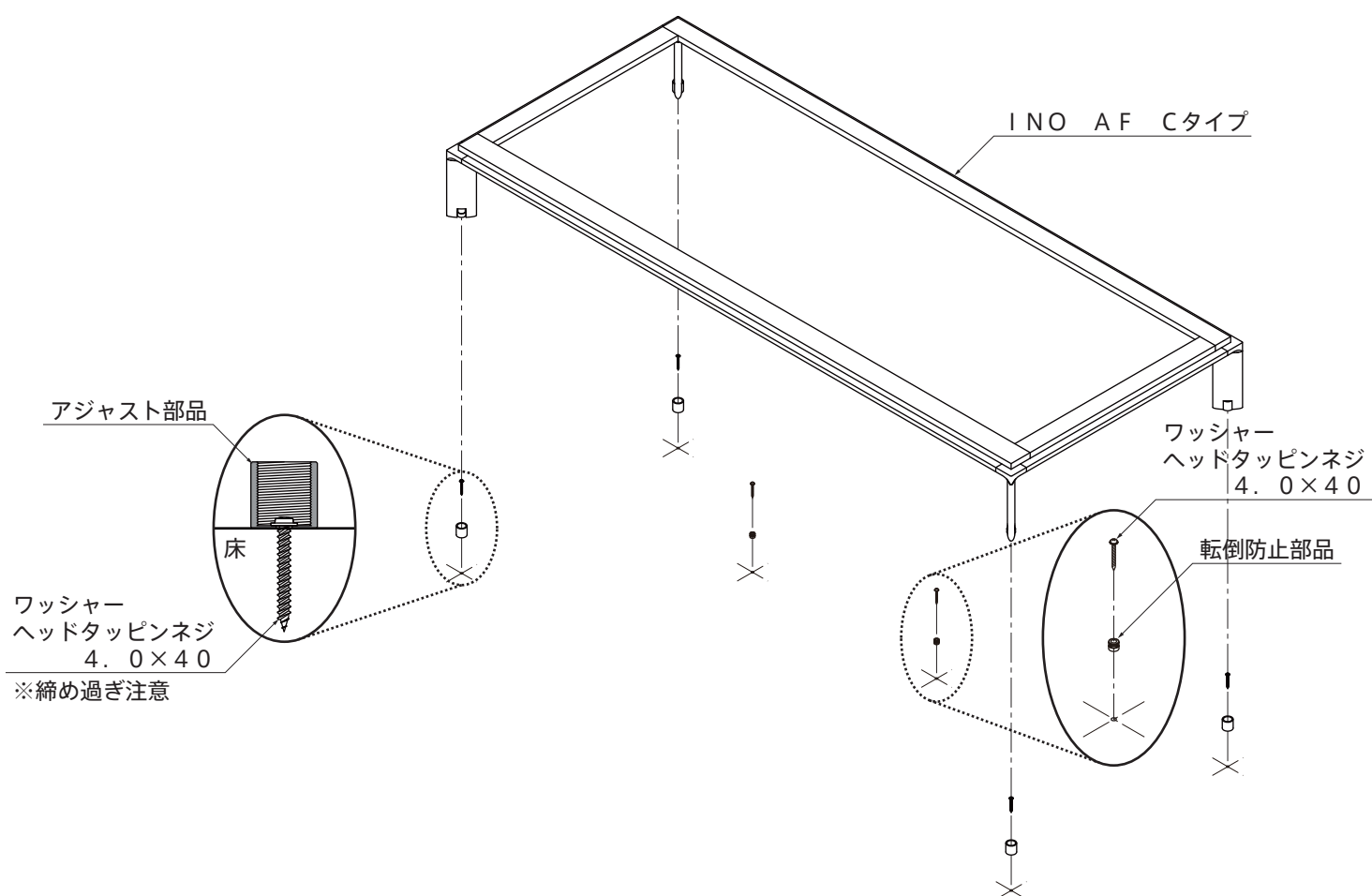


■ I N O A F Cタイプの設置

- ・ I N O A F Cタイプの設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×4.0にてアジャスト部品を床面に固定します。

※ネジを完全に締めずに、アジャスト部品が回る程度に締めてください。

- ・ 補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×4.0にて転倒防止部品を床面に固定します。
- ・ I N O A F Cタイプをアジャスト部品に差し込みながら床面に設置します。



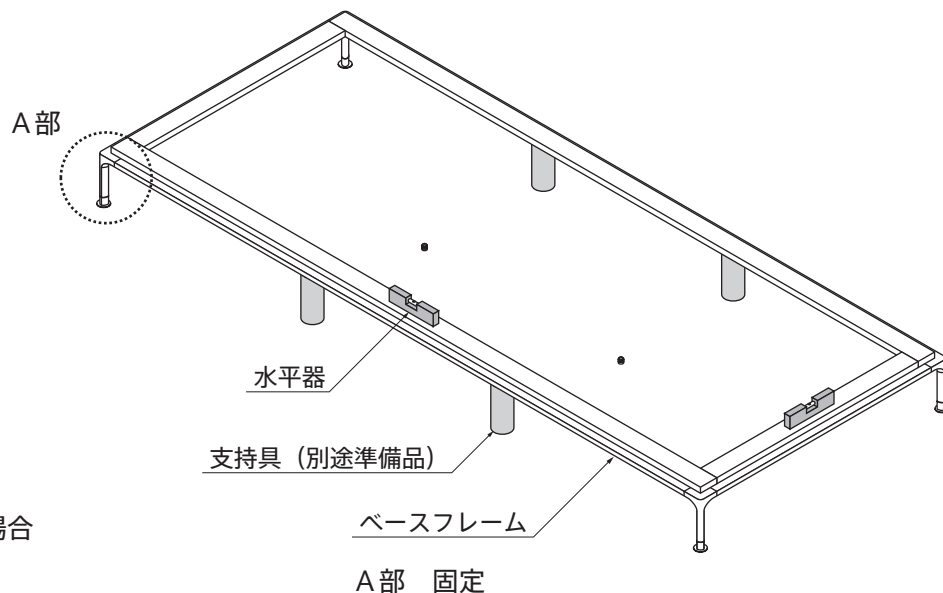
3 支持具の設置

- ・取付・設置の際に、ベースフレームがたるまないように、支持具（別途準備品）で支えます。
- ・支持具はベースフレーム下で支え、750mmピッチ以下になるように設置します。
- ※支持具は、取付・設置が全て終了したら取り外します。

4 レベル調整、INO AFの固定

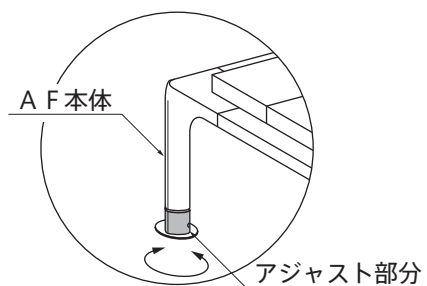
- ・INO AFのアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
- ※調整範囲 -0～+10mm
- ※AF本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整します。
- ・前側のINO AFのアジャスト部分の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。

※イラストはSタイプを示す。

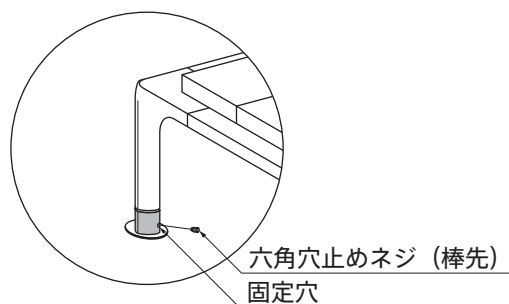


■ INO AF Sタイプの場合

A部 レベル調整



A部 固定



■ INO AF Cタイプの場合

- ・INO AF Cタイプをアジャスト部品の上に設置し、本体が大きく傾かない様に調整しながら一番下まで締めます。（図1）
- ・一番下まで締めた状態を基準とし、低い場所のレベルを調整する。（図2）

図1

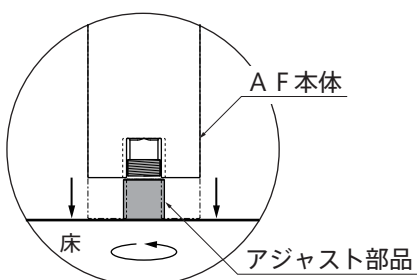
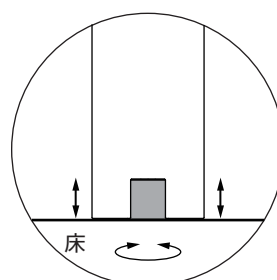


図2



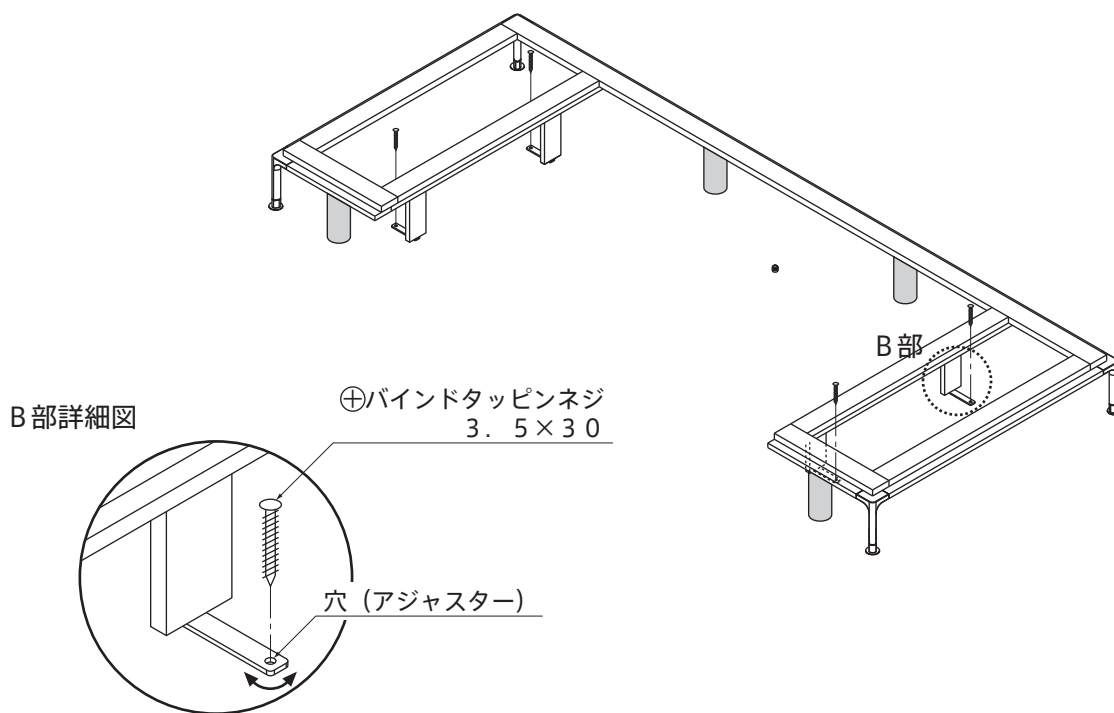
【アンダーカウンター機器を設置する場合】

・アンダーカウンターを設置する場合、アジャスターのレベルも調整します。

■調整範囲 -1.5～+10mm

※アジャスターは間口に対して平行に、開口部分と反対側に穴がくるように調整します。

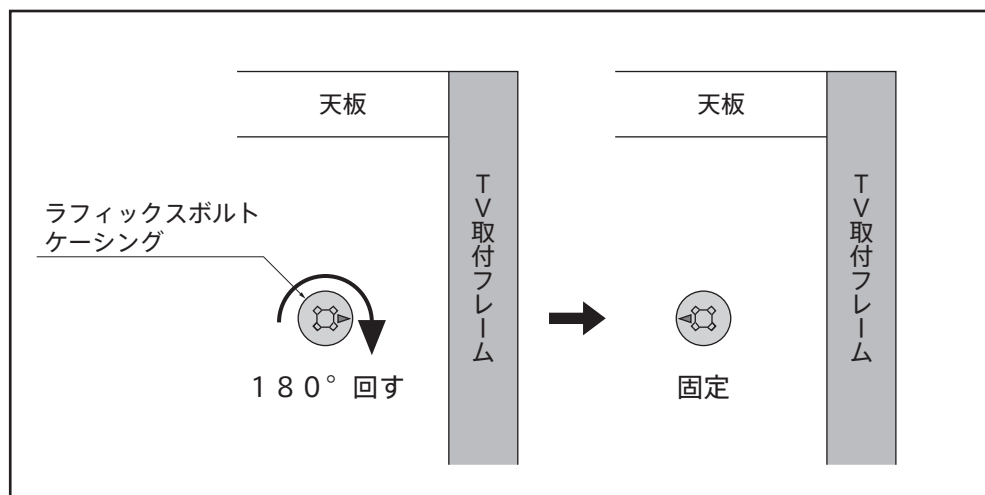
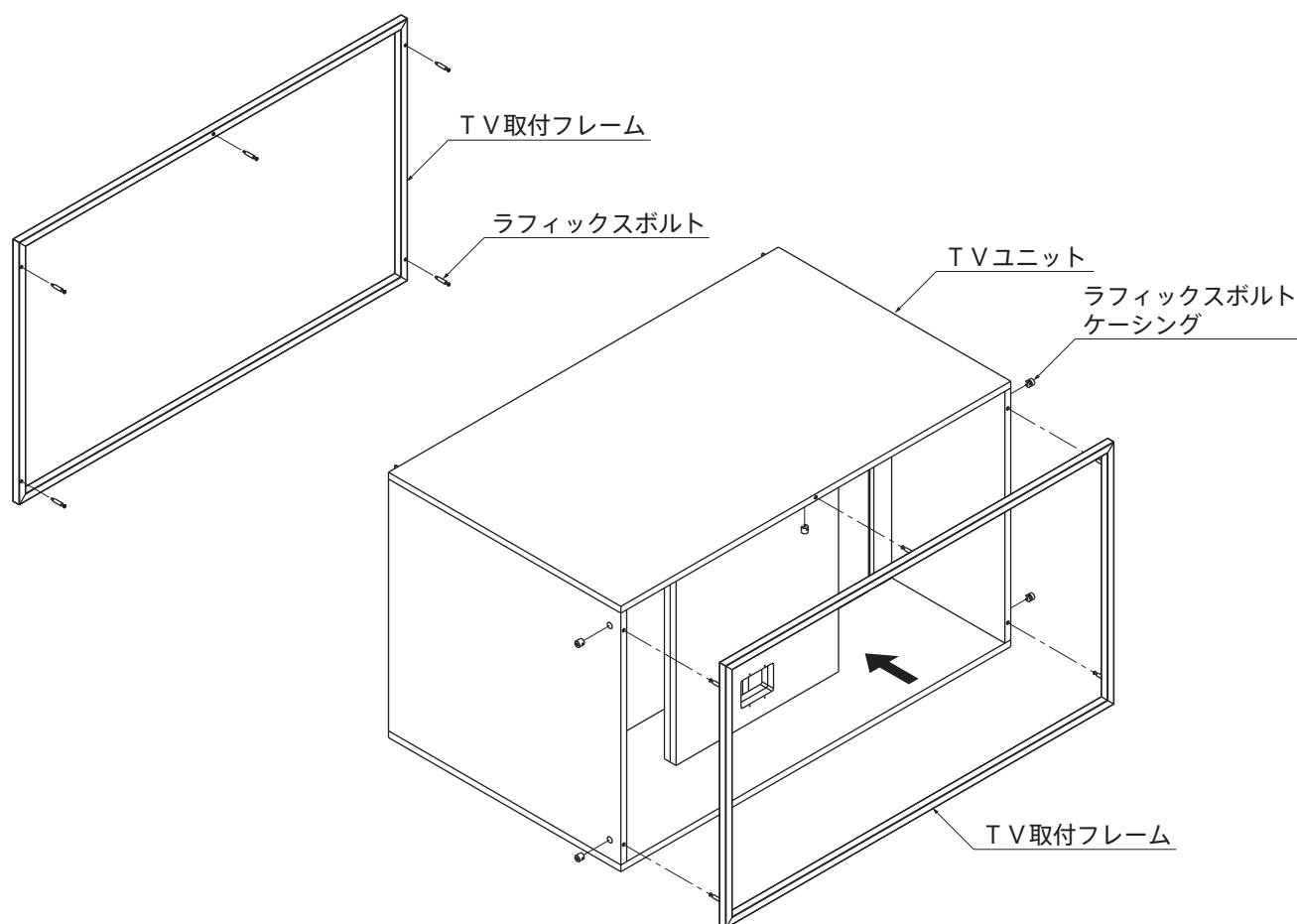
・アジャスターの穴から⊕バインドタッピンネジ3.5×30にて床面に固定します。



※開口部分と反対側に穴がくるように調整

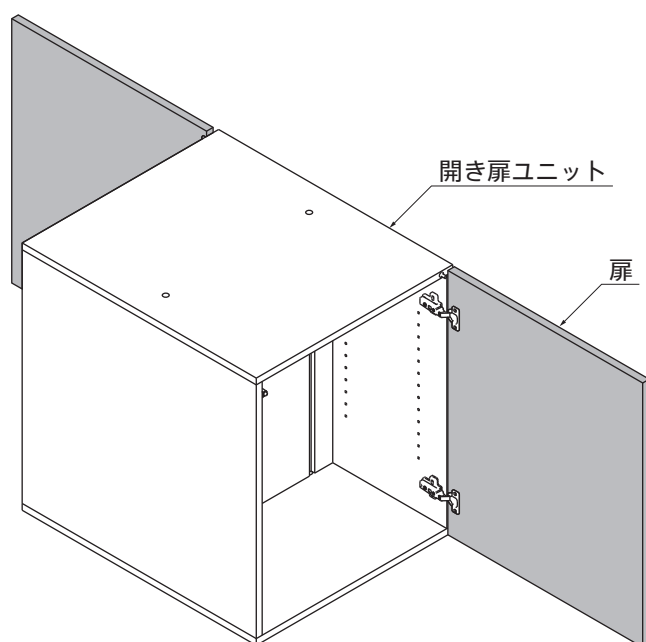
5 TV取付フレームの取付け

- ・TVユニットにTV取付フレームを取付けます。
TV取付フレームにラフィックスボルト（5ヶ所）をねじ込んで取付けます。
TV取付フレームに取付けたラフィックスボルトをTVユニット木口にあいている穴に合わせて、しっかりと差し込んでください。
ラフィックスケーシングに付いている矢印をTV取付フレーム側に向けて、TVユニットの取付穴に差し込みます（5ヶ所）。
ラフィックスケーシングを＋ドライバーまたは六角ドライバーにて図のように締め付けて固定します。



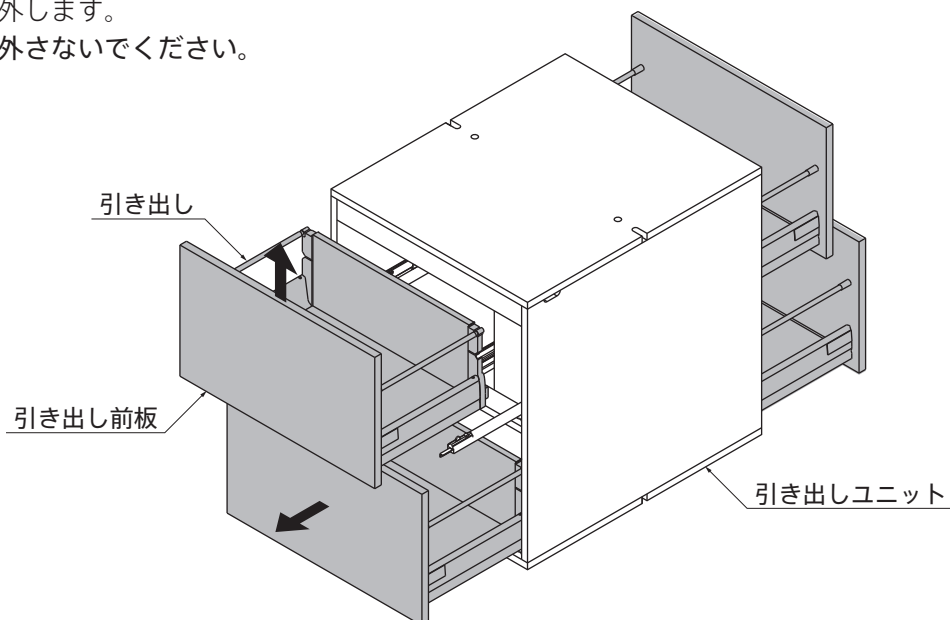
6 扉（※開き扉ユニットの場合）、 開き扉点検口（※ビルトインユニット（ワインセラー用）、 背面ユニットの場合）の取り外し

- ・開き扉ユニットの扉をを取り外します。
（「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）
- ・ビルトインユニット（ワインセラー用）、背面ユニットの開き扉点検口を取り外します。（「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）



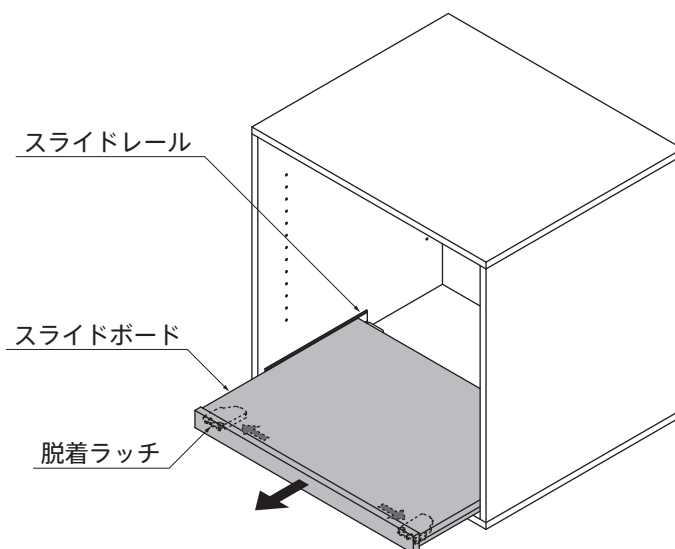
7 引き出しの取り外し（※引き出しユニットの場合）

- ・引き出しを取り外します。
引き出しをいっぱいまで引き出します。
引き出しを持ち上げて取り外します。
※引き出し前板を持って取り外さないでください。



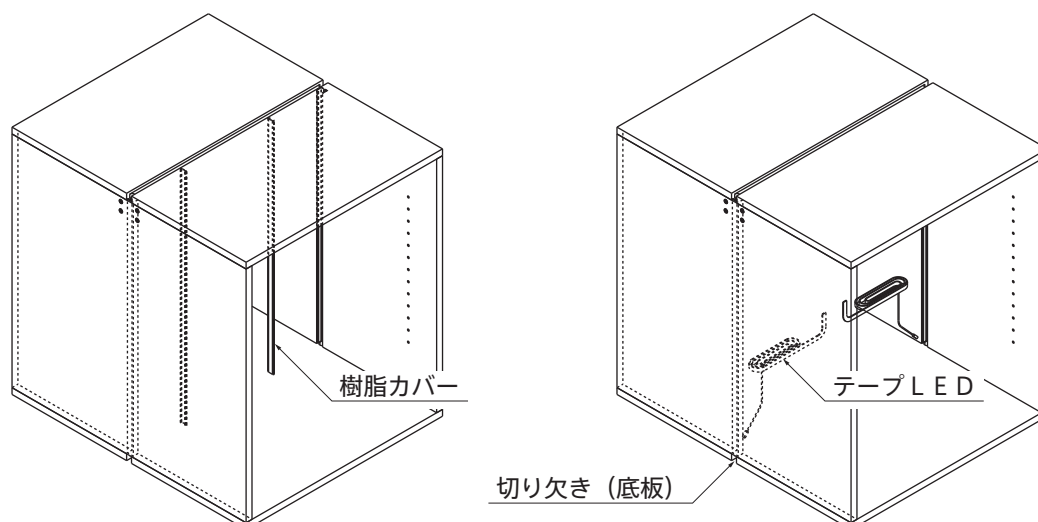
8 スライドボードの取り外し (※側面オープンユニットの場合)

- ・ スライドボード手前裏側の脱着ラッチをつかみ、スライドボードを引き抜いて取り外します。



9 樹脂カバーの取り外し、 テープLEDの配線通し (※下段のガラス開き扉ユニットにLEDを取付ける場合)

- ・ ガラス開き扉ユニット側板に取付いている樹脂カバーを精密ドライバー（－）などで取り外します。
- ・ テープLEDの配線を底板の切り欠きよりユニット外側へ出しておきます。



10 補助脚の取付け

- ・ユニットを裏向けて、ユニット底板裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取付けます。

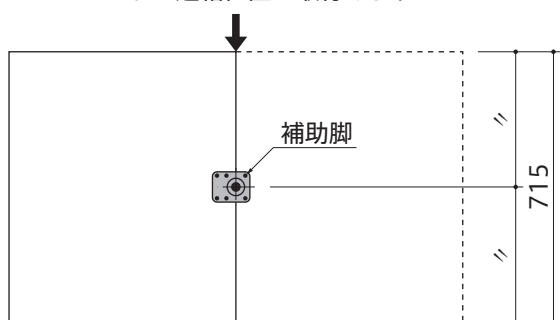
補助脚の取付穴から、⊕バインドタッピンネジ4.0×16（4本）にて固定します。

※背面ユニットとそれ以外のユニットを連結する場合、補助脚は取付ません。

※背面ユニットの場合、補助脚を取付ける前にユニット同士を連結します。（「下段ユニットの連結」を参照）

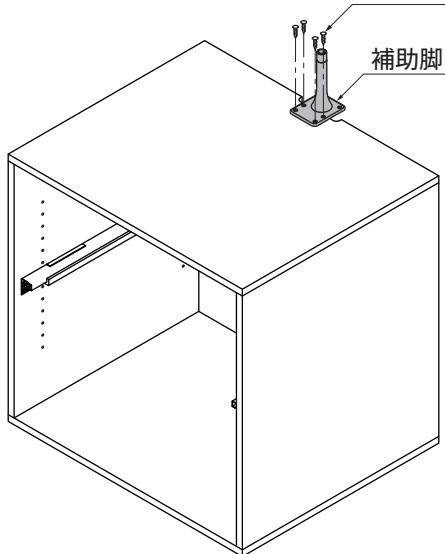
補助脚取付位置

ユニットの連結位置に取付けます

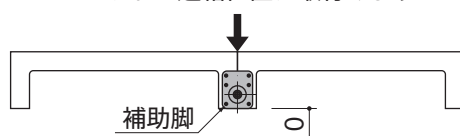


前面

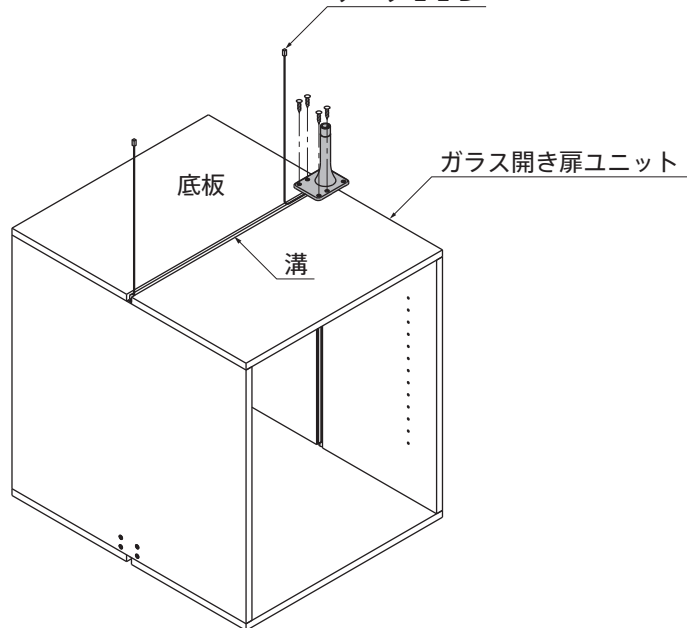
⊕バインドタッピンネジ
4.0×16



ユニットの連結位置に取付けます

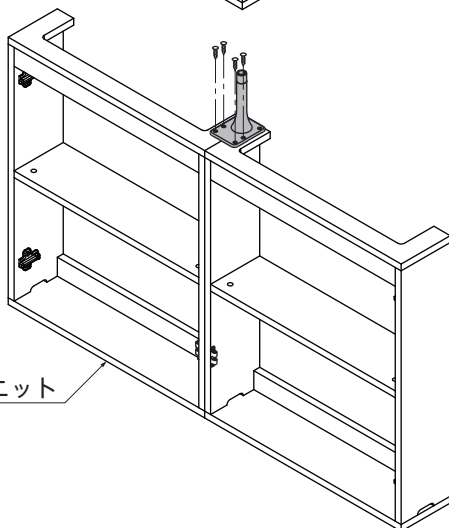


テープLED



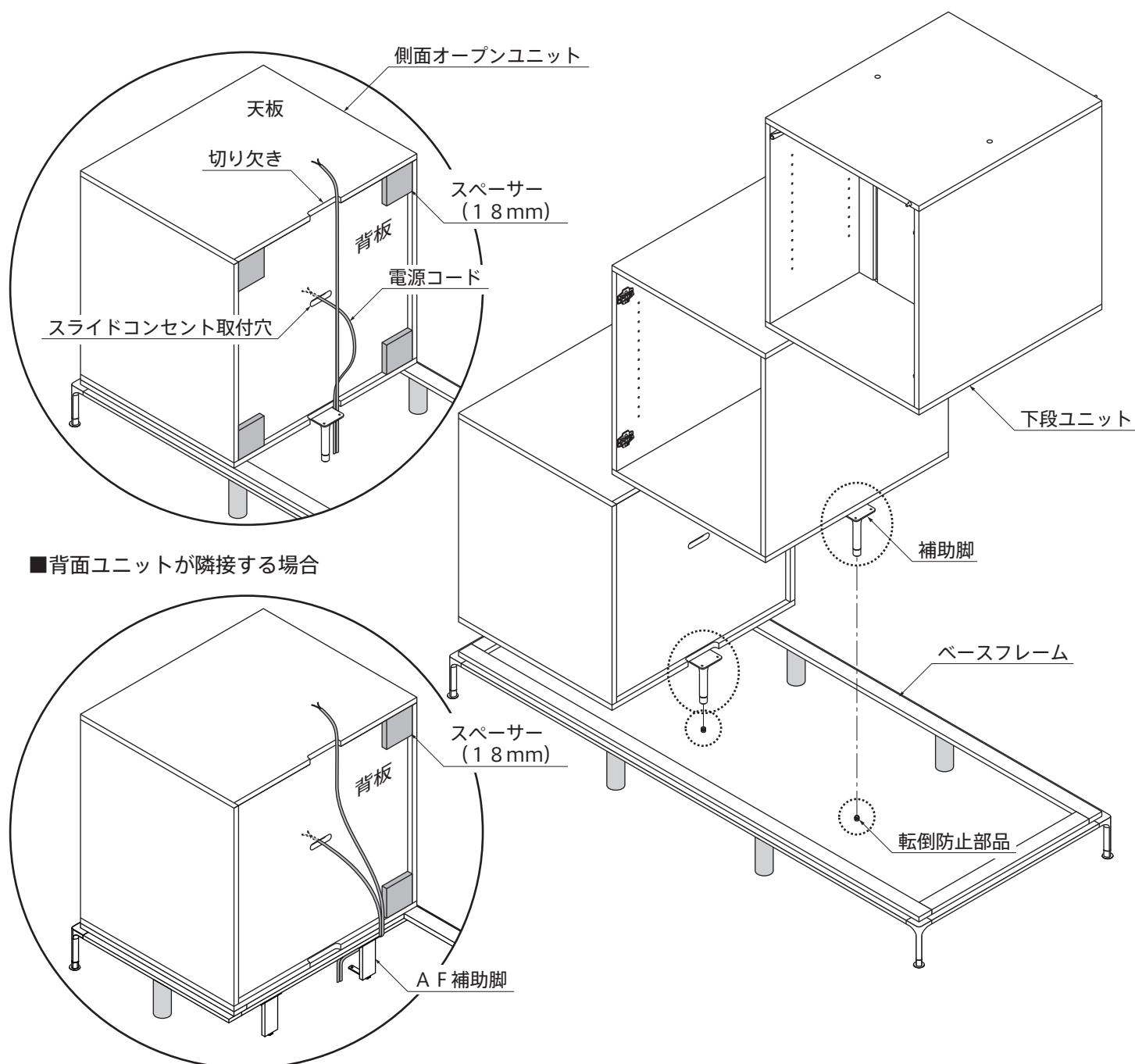
※ガラス開き扉ユニットにLEDを取付ける場合、テープLEDの配線は補助脚とガラス開き扉ユニットに挟み込まないよう底板の溝にはわせてください。

背面ユニット



11 下段ユニットの設置

- ・ベースフレームの上に下段ユニットを設置します。
- ・補助脚がついている場合、補助脚を転倒防止部品に差し込みながら設置します。
- ・側面オープンユニットの場合、背面の四隅にスペーサー（18mm）を両面テープにて仮止めし、あらかじめ床から出ている電源コードを背板のスライドコンセント取付穴よりユニット内に引き込んでおきます。
- ※アンダーカウンター機器が隣接する場合、背面ユニット側のみスペーサー（18mm）を仮止めします。
- ※電源コードは隣接するユニットに挟み込まないように側面オープンユニット底板の切り欠き部分を通して、背面スペースにおさめてください。
- 背面ユニットが隣接する場合、スペーサーとA F補助脚のすき間を通してください。
- ・上段側面オープンユニット用の電源コードは下段側面オープンユニット天板の切り欠きより15cm程度出しておきます。



12 下段ユニットの連結

・ユニットの外面を合わせて、ユニット同士を連結します。

ユニット背板または側板の指定位置にφ4穴（4ヶ所）をあけます。

側面オープンユニットの場合、⊕ハイロラップネジ4. 0×5.0にワッシャーを通して、ユニットを背板より固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

それ以外のユニットの場合、⊕ナゲシネジ3. 8×3.2にワッシャーを通して、ユニット側板より固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

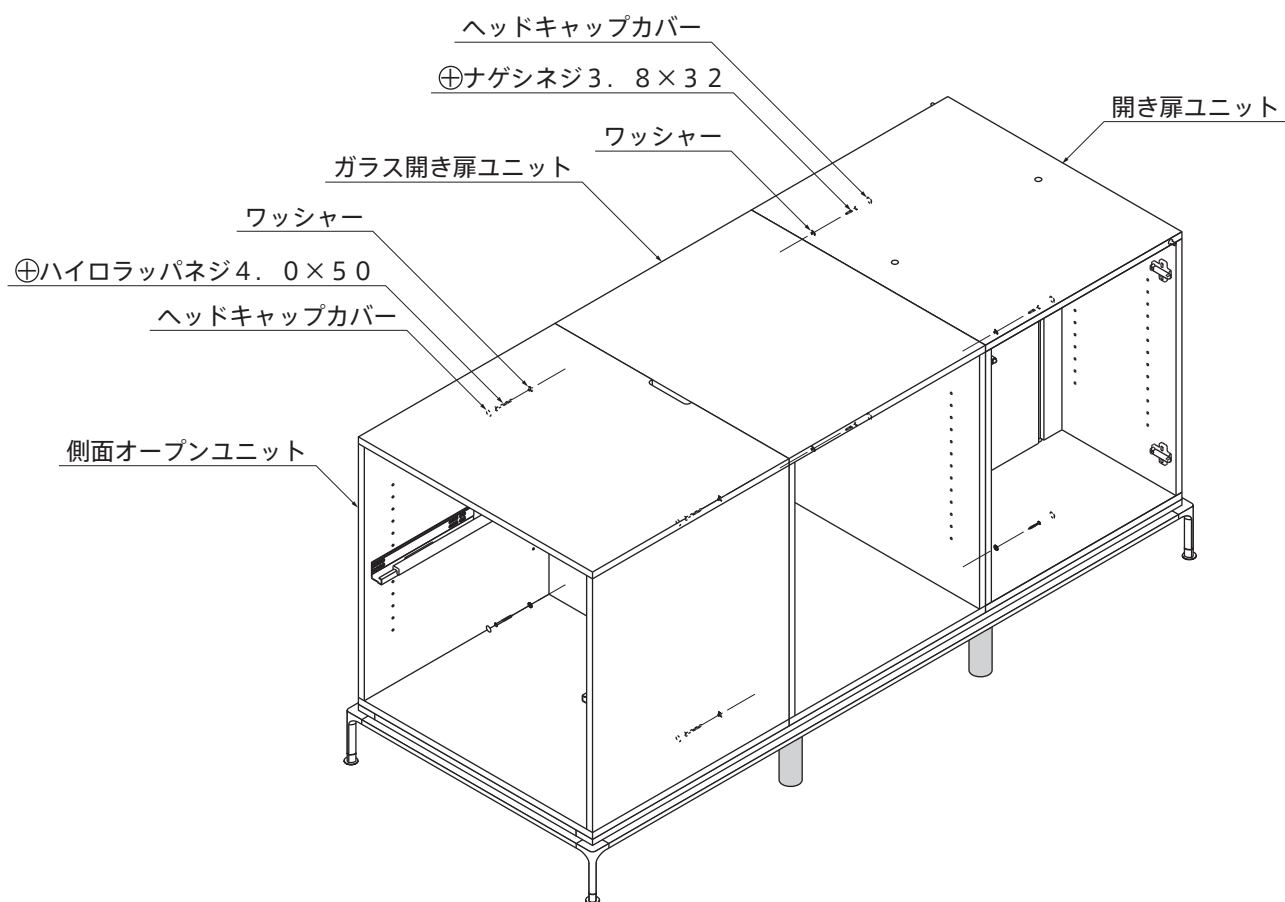
※ガラス開き扉ユニットの場合、隣接するユニット側から連結します。

ただし、隣接するユニットもガラス開き扉ユニットの場合、どちら側から固定しても構いません。

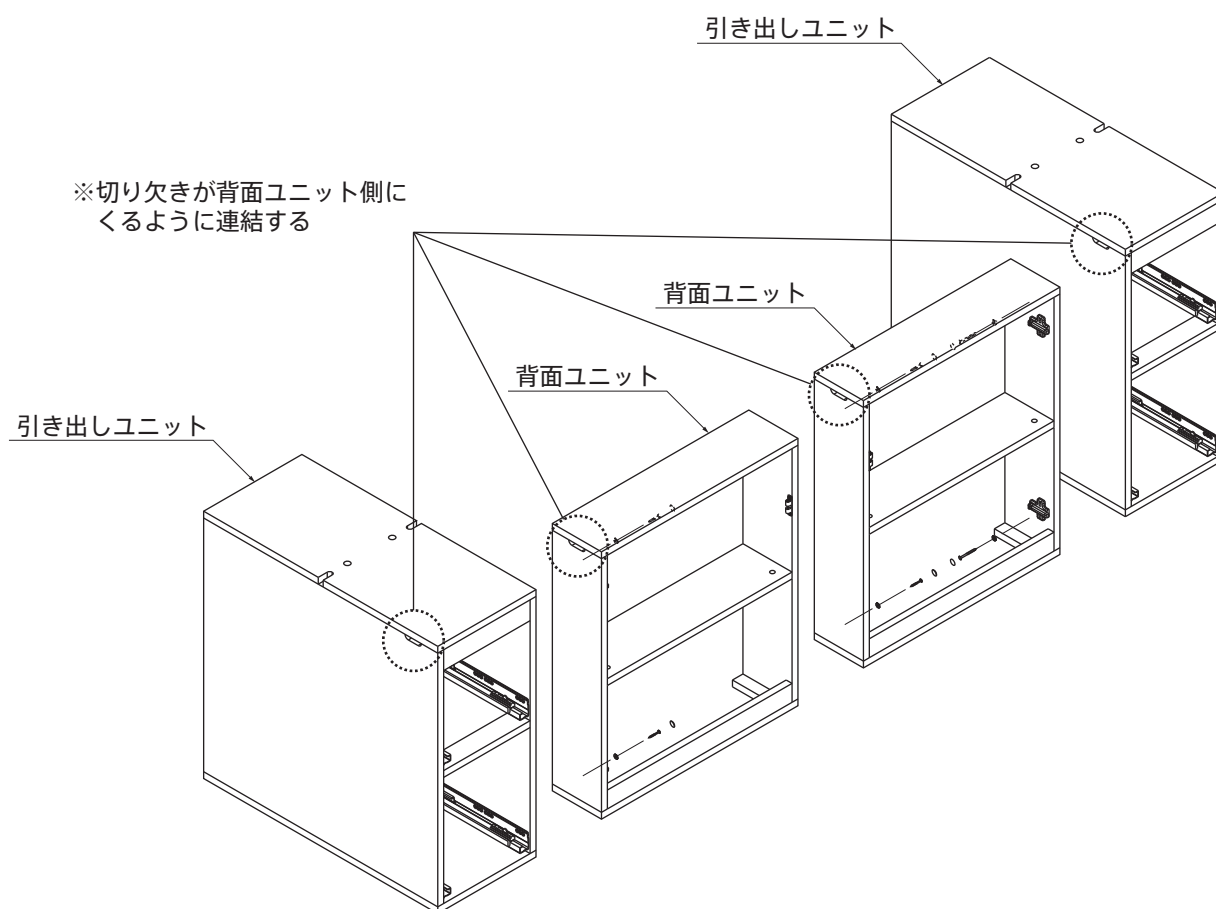
※ビルトインユニットに引き出しスペーサーユニットを取付ける場合、ユニット下部は引き出しスペーサーユニットを取付ける際に固定しますので、この時には連結しません。

※背面ユニットの場合、背面ユニット側から連結します。

背面ユニット同士を連結する場合、補助脚を取付ける前に連結します。

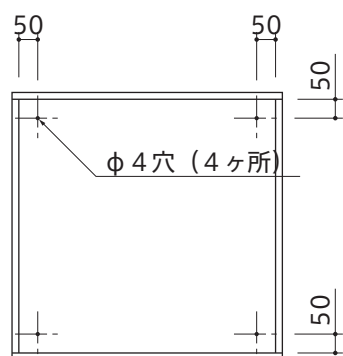


※背面ユニットがある場合、隣接するユニットの側板の切り欠きが背面ユニット側にくるように連結します。

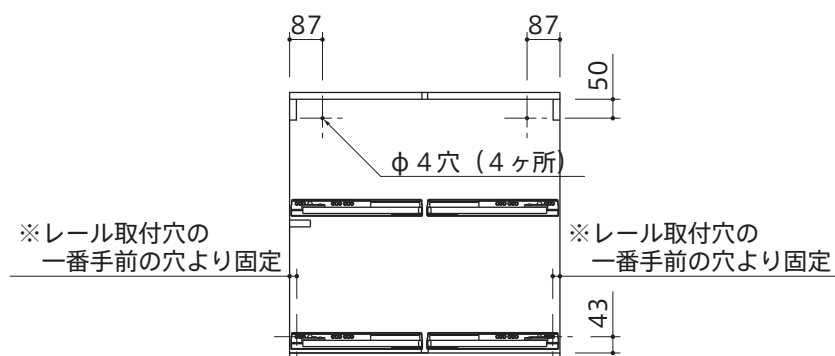


ユニット連結位置

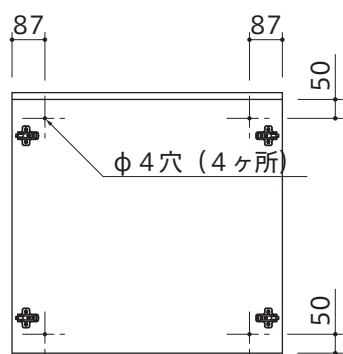
側面オープンユニットの場合【正面図】



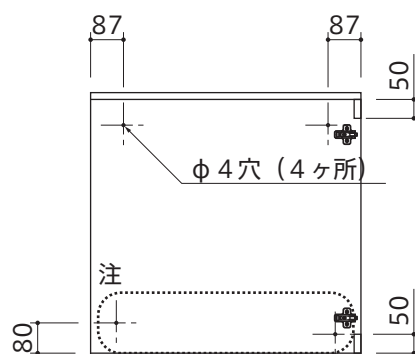
引き出しユニットの場合【側面図】




開き扉ユニット、ガラス開き扉ユニット、TVユニットの場合【側面図】

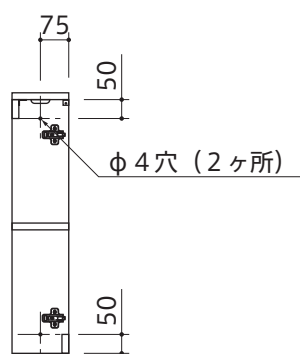


ビルトインユニットの場合【側面図】



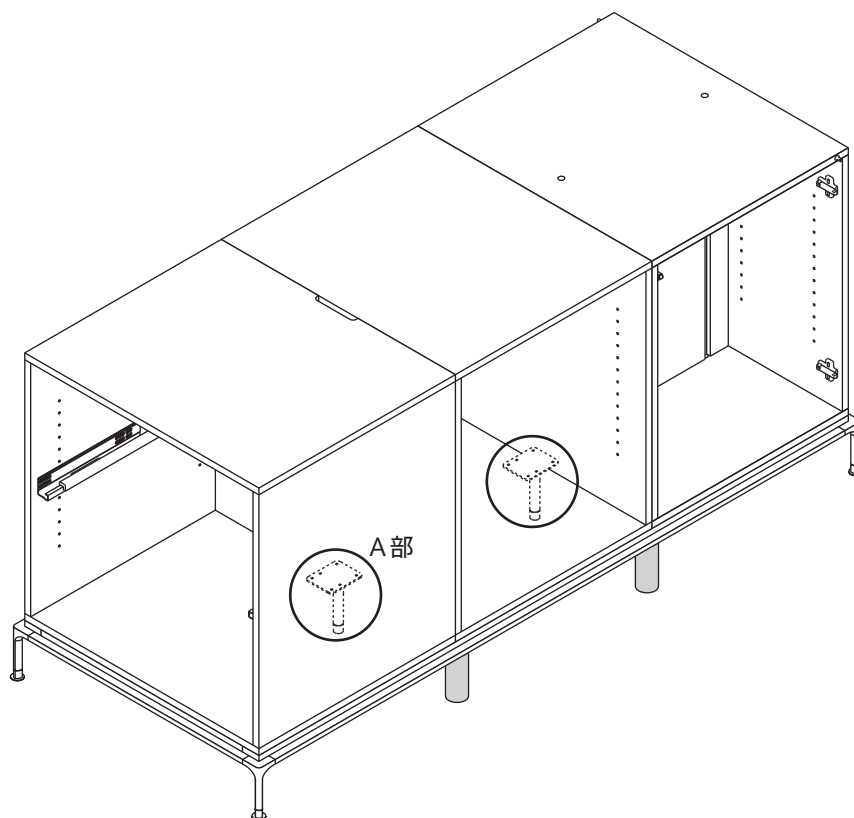
※注 引き出しスペーサーユニットを取付ける場合、部分は固定しないでください。

背面ユニットの場合【側面図】

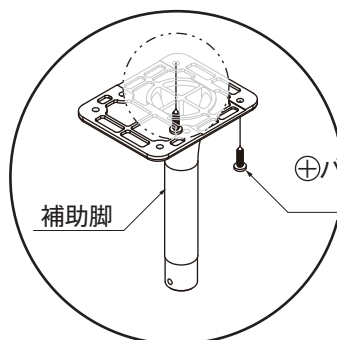


13 補助脚のレベル調整・固定

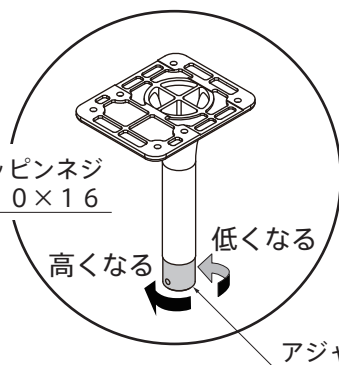
- ・ユニットを連結する場合、補助脚のアジャスタープレートに残りの穴から⊕バインドタッピンネジ4.0×16（2本）にて固定します。
- ・補助脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
 ■調整範囲 -0～+10mm
- ・補助脚の固定穴（1ヶ所）から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。



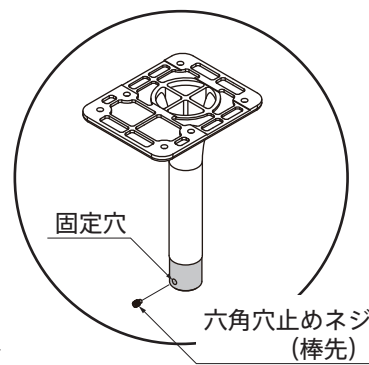
A部 ネジ固定



A部 レベル調整

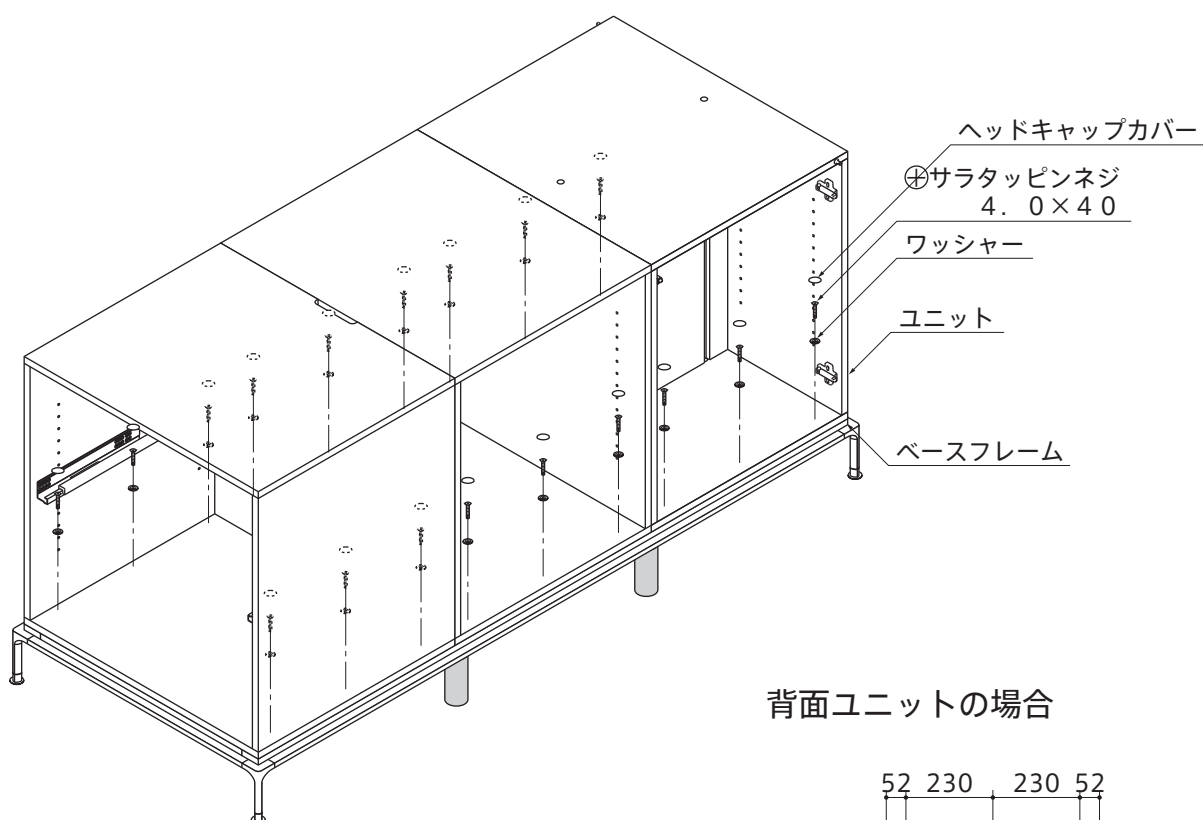


A部 固定

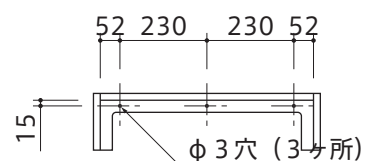


14 下段ユニットの固定

- ・ I N O A Fの高さスペーサーのコーナーとユニットのコーナーを合わせて、ユニットを固定します。
ユニット底板の指定位置にφ3穴をあけます。
- ⊕サラタッピンネジ 4.0×40にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

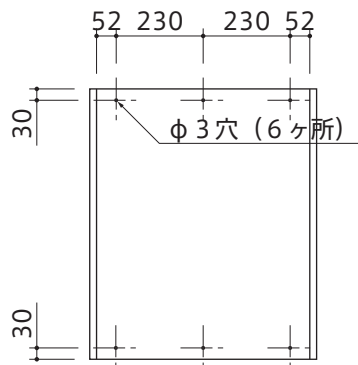
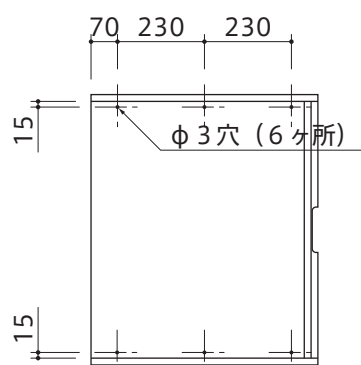


背面ユニットの場合

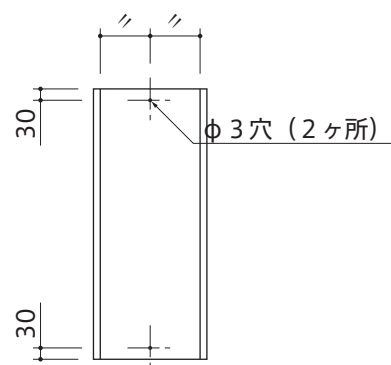


ユニット固定位置【平面図】

側面オープンユニットの場合 間口600ユニットの場合



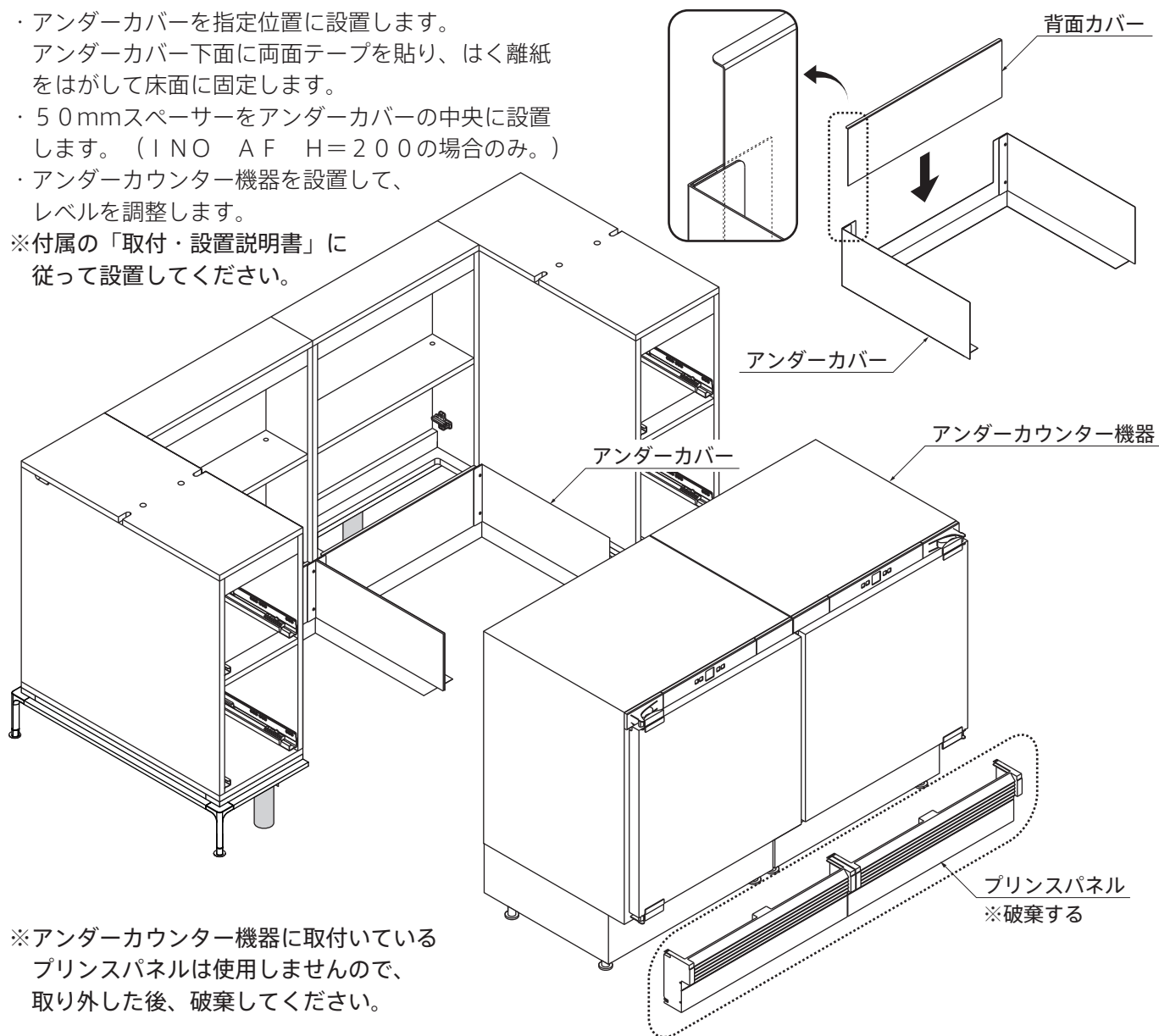
間口300
引き出しユニットの場合



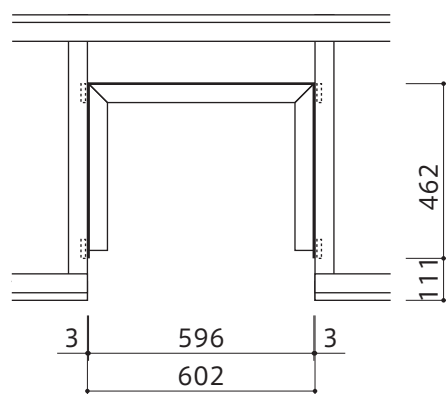
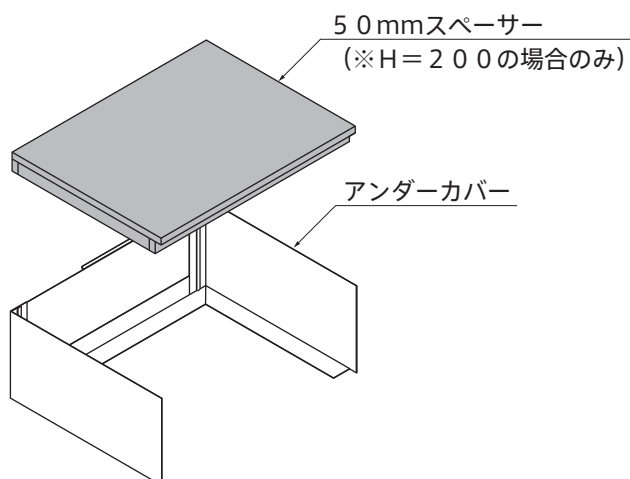
15 アンダーカウンター機器の取付け

- ・アンダーカバーを指定位置に設置します。
アンダーカバー下面に両面テープを貼り、はく離紙をはがして床面に固定します。
- ・50mmスペーサーをアンダーカバーの中央に設置します。(INO AF H=200の場合のみ。)
- ・アンダーカウンター機器を設置して、レベルを調整します。

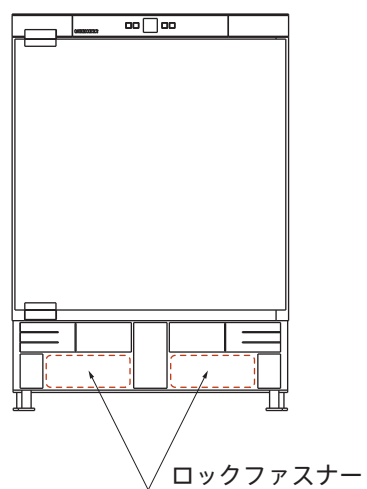
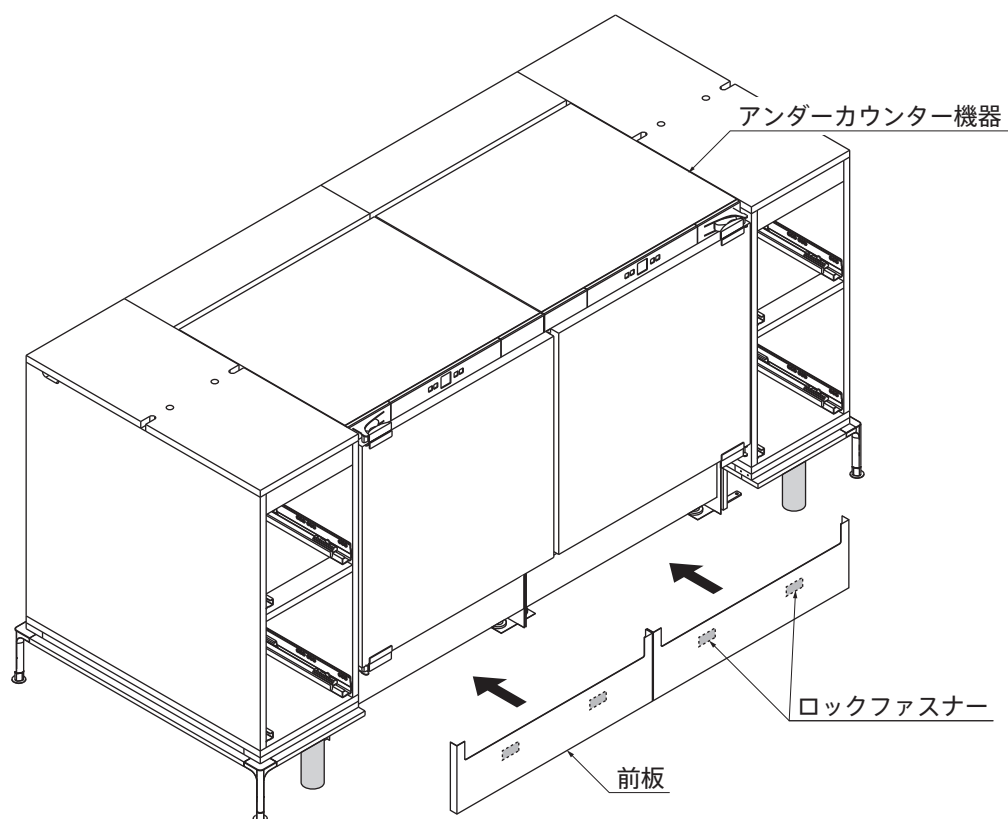
※付属の「取付・設置説明書」に従って設置してください。



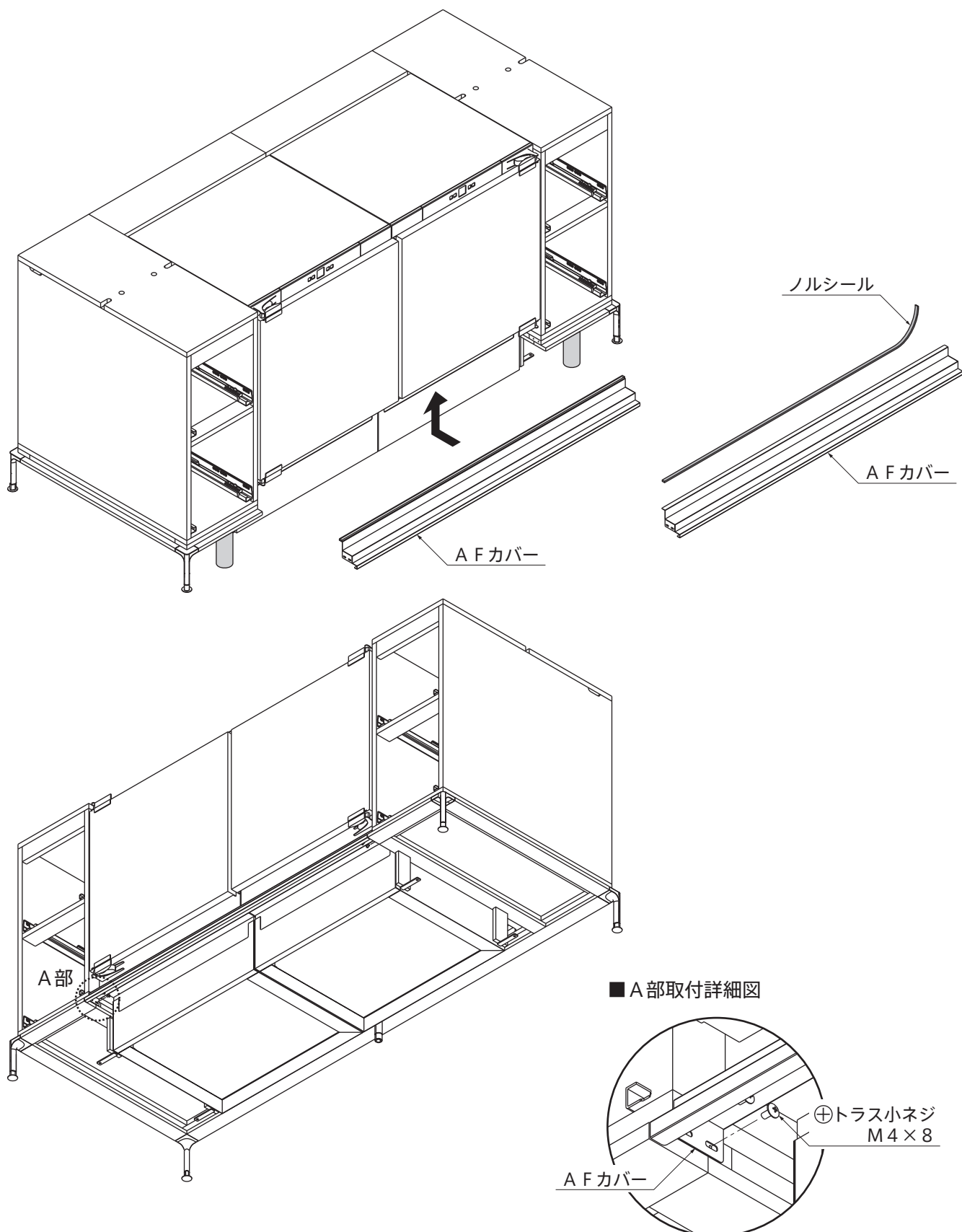
※アンダーカウンター機器に取付いているプリンスパネルは使用しませんので、取り外した後、破棄してください。



- ・ アンダーカバーの前板にロックファスナーを貼ります。
ロックファスナーのはく離紙をはがし、前板をアンダーカバー本体にかぶせるようにして、アンダーカウンター機器に貼り付けます。

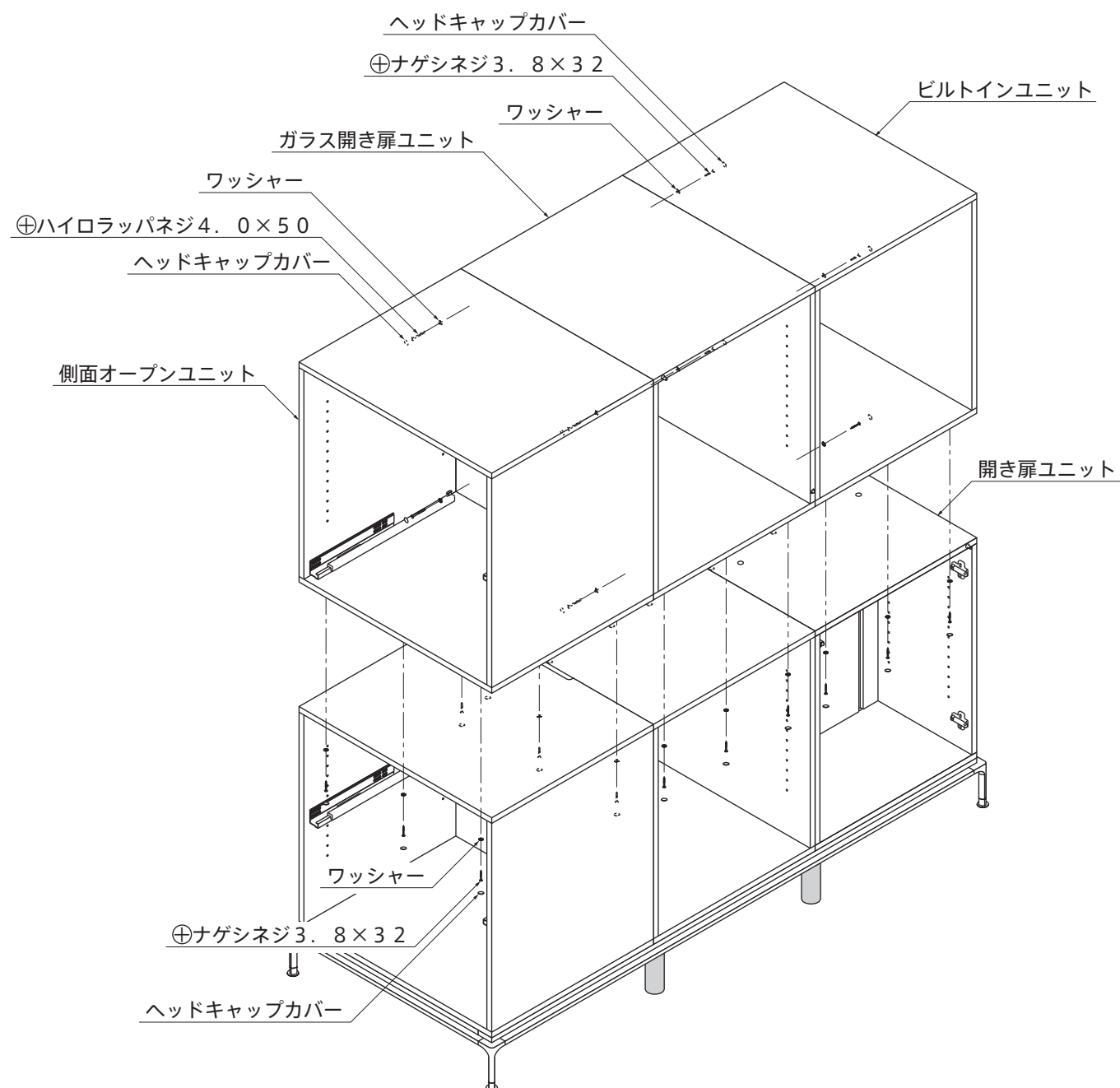


- ・ A Fカバーにノルシールを貼り付け、 I N O A Fの開口部に差し込み、 A Fカバーの側面内側より ⊕トラス小ネジM4×8にて I N O A Fに固定します。

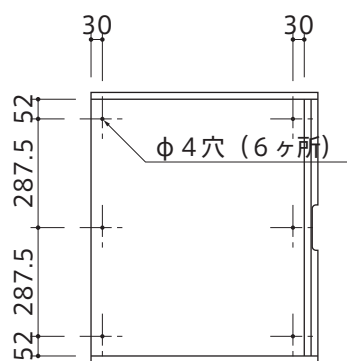


16 上段ユニットの取付け

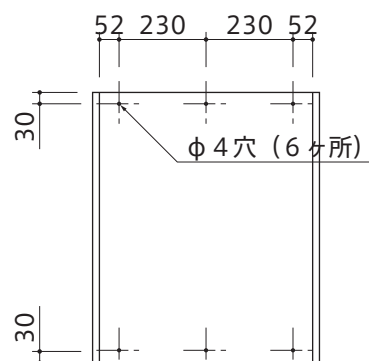
- ・上段ユニットの連結については、「下段ユニットの連結」と同様に行います。
 - ・上下のユニットの側板外面を合わせて、固定します。
下段ユニット天板の指定位置にφ4穴をあけます。
⊕ナゲシネジ3. 8×3 2にワッシャーを通して、下段ユニットより固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ※スライドコンセント用の電源コードは隣接するユニットや上下のユニットに挟み込まないように側面オープンユニットのスライドコンセント取付穴からユニット内に引き込んでおきます。



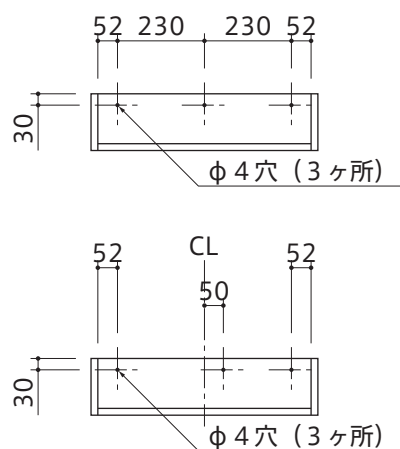
ユニット固定位置【平面図】
側面オープンユニットの場合



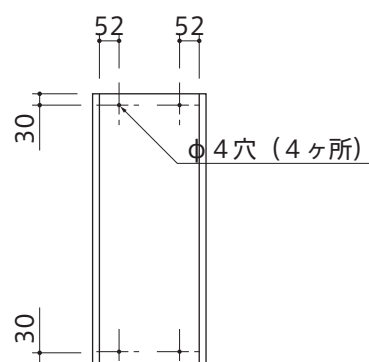
間口600ユニットの場合



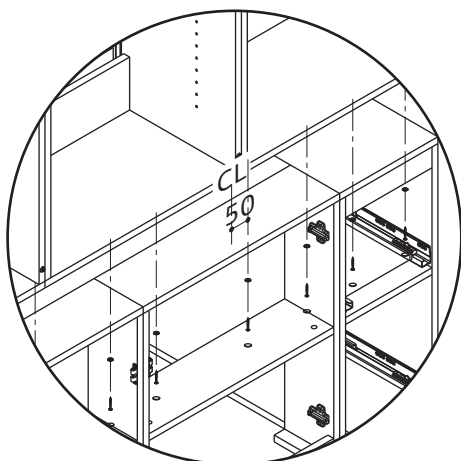
背面ユニットの場合



間口300
引き出しユニットの場合



※ユニット固定位置がユニット連結位置にくる場合、中央の固定位置を左右どちらか50mmずらします



17 スリット化粧板の取付け

※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

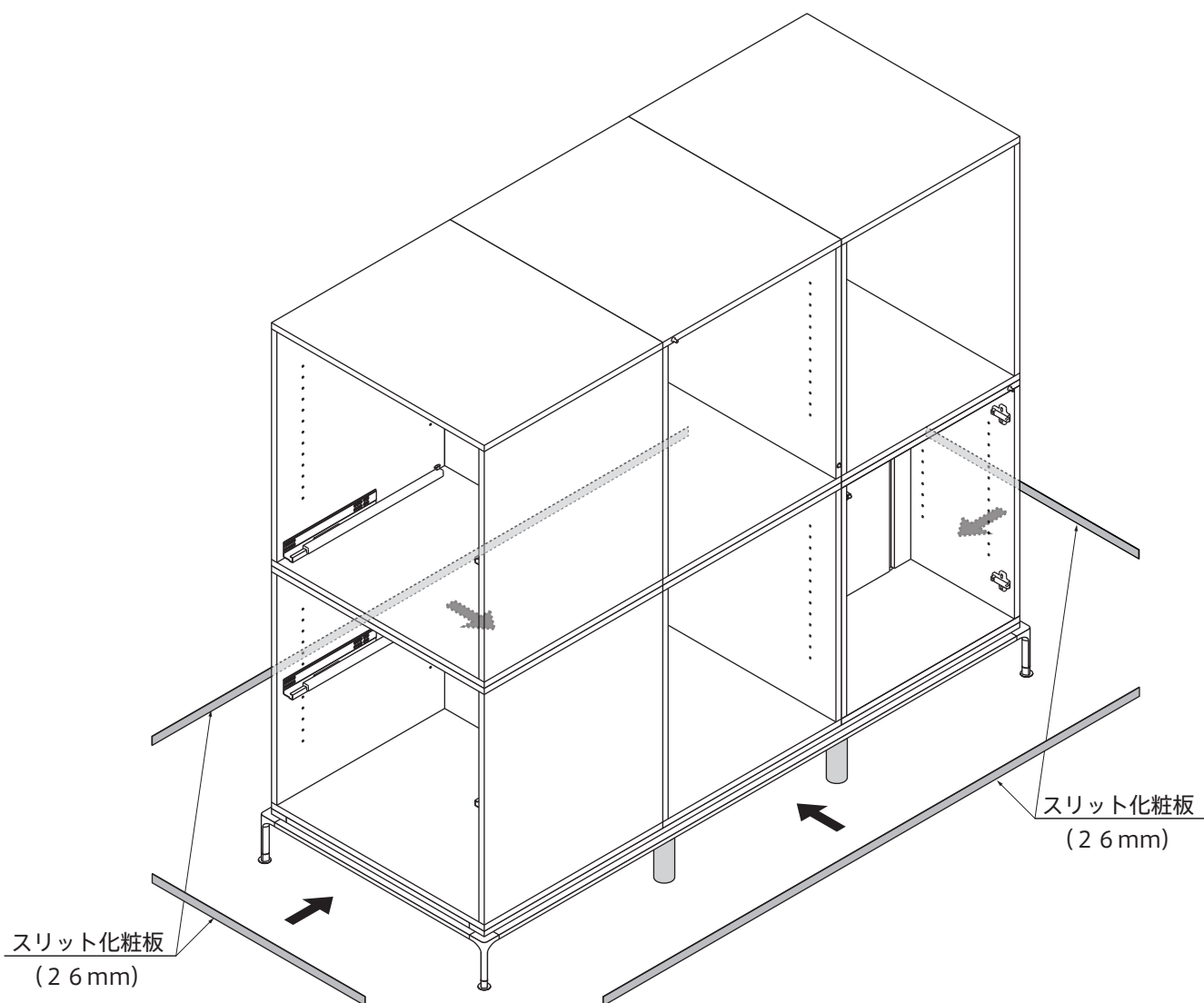
- ・スリット化粧板（26mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（26mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（26mm）を高さスペーサー間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（26mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

※一度貼ったら剥がしにくいので、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかり貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

※A Fカバー部分には貼り付けないでください。



18 スライドコンセントの結線

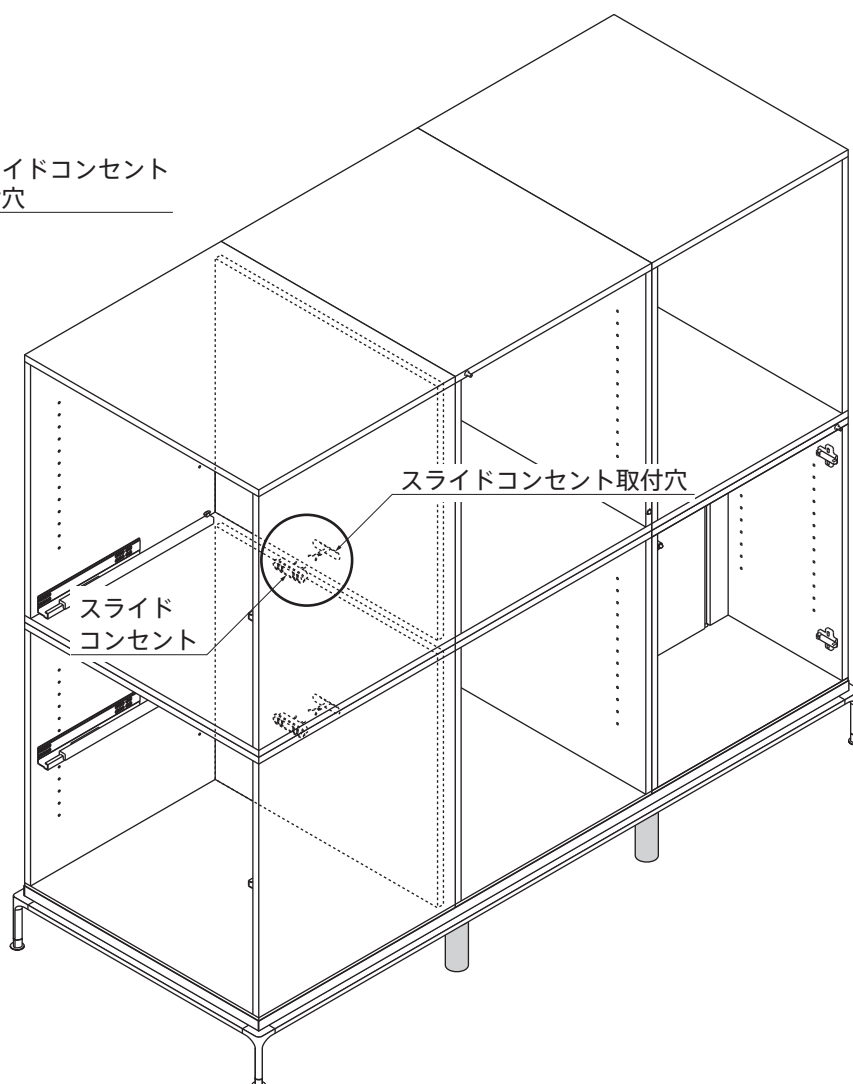
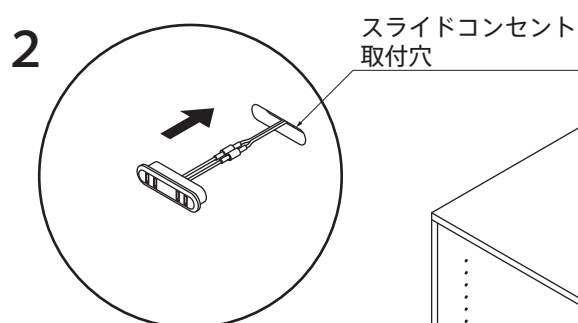
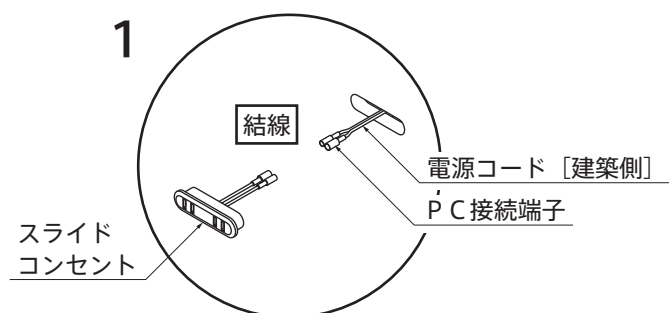


電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災・感電の原因になることがあります。

- ・あらかじめユニット内に引き込んでおいた電源コードの先にP C接続端子を取付け、スライドコンセントと結線します。
- ・背板のスライドコンセント取付穴にスライドコンセントを差し込みます。



19 配線用穴あけ（※ビルトインユニットの場合）

※あらかじめ床から電源コードを取り出しておきます。

・ビルトインユニット底板または天板の指定位置に配線用穴をあけます。

ビルトインユニットを上段のみまたは下段のみに設置する場合は $\phi 20$ 穴、上段+下段に設置する場合は床から取り出した電源コードの本数によって $\phi 20 \sim \phi 40$ 穴をあけます。

・ビルトインユニットを下段の端に設置する場合、INO AFの高さペーサーと反対側に穴をあけます。

※下段に間口300引き出しユニットがくる場合、間口300引き出しユニット側に穴をあけます。

※ビルトインユニットの設置位置によって穴あけ位置および穴あけ面が変わりますのでご注意ください。

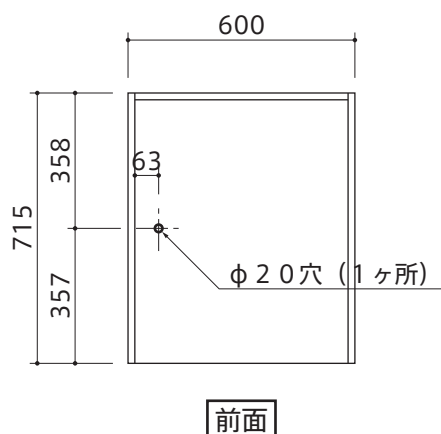
※下図はビルトインユニット正面より左側にコンセントを取付ける場合を示し、右側にコンセントを取付ける場合は対称となります。

配線穴あけ位置【平面図】

上段のみまたは下段のみ

ビルトイン機器1台を設置する場合

・底板に $\phi 20$ 穴あけ

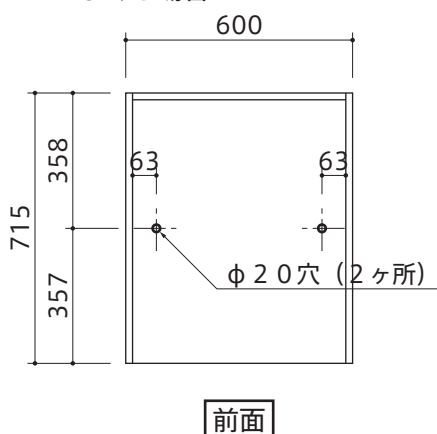


上段のみ

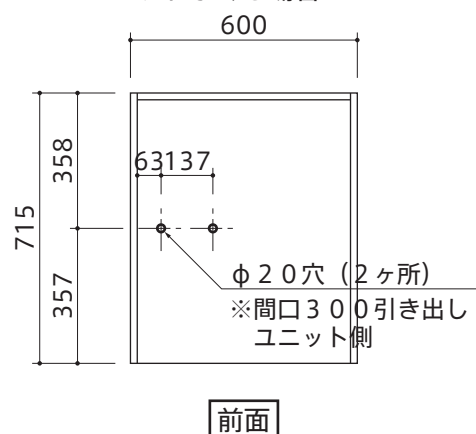
オープンとウォーマーを設置する場合

・底板に $\phi 20$ 穴あけ

※下段に間口600ユニットがくる場合

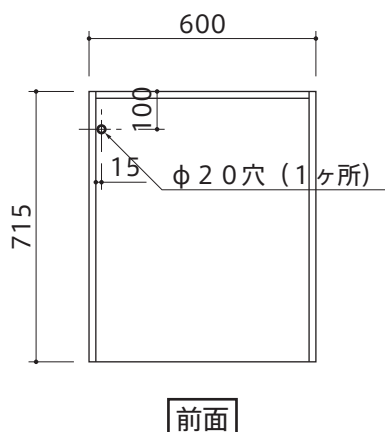


※下段に間口300引き出しユニットがくる場合



上段+下段の場合

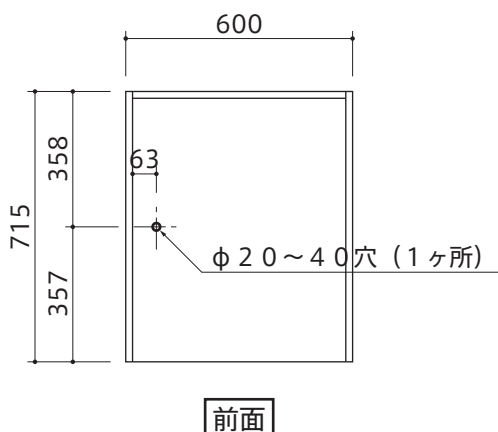
・上段底板と下段天板に $\phi 20$ 穴あけ



上段+下段の場合

・下段底板に $\phi 20 \sim 40$ 穴あけ

※電源コードの本数により現場合わせ



20 コンセントの取付け

【ビルトインユニットの場合】

・ビルトインユニット側板の指定位置にコンセントを取付けます。

オープン用	アース付きコンセント	単相200V	20A
ウォーマー用	アース付きコンセント	単相200V	20Aまたは単相100V 15A
ワインセラー用	アース付きコンセント	単相100V	15A

※イラストはビルトインユニット正面より左側にコンセントを取付ける場合を示し、右側にコンセントを取付ける場合は対称となります。

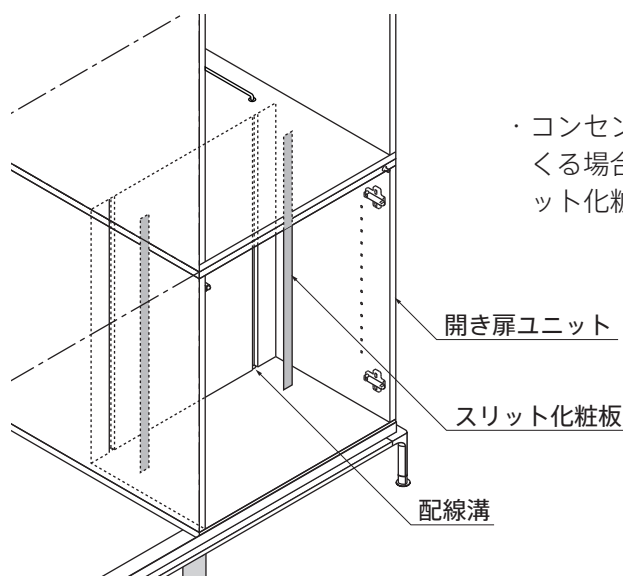
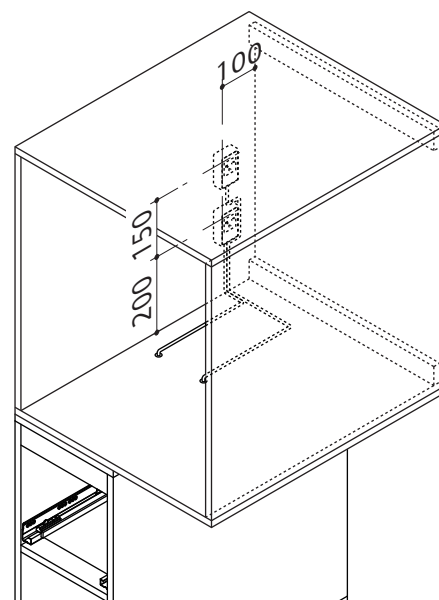
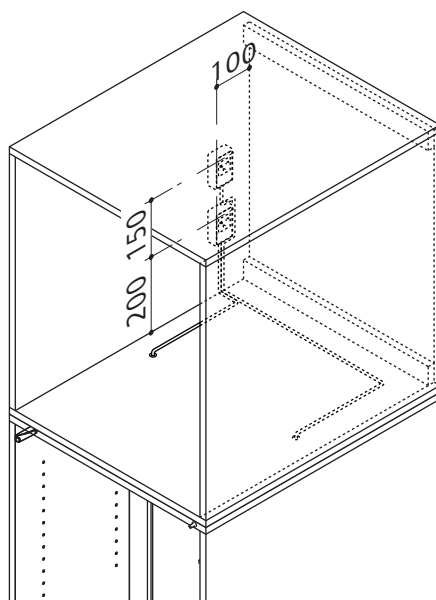
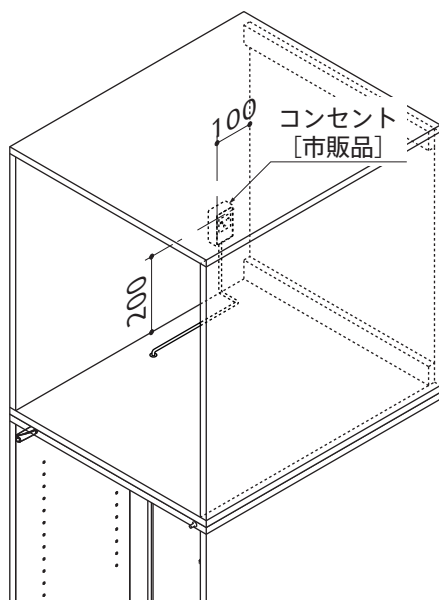
上段の場合

ビルトイン機器1台を設置する場合

オープンとウォーマーを設置する場合

※下段に間口600ユニットがくる場合

※下段に間口300引き出しユニットがくる場合



・コンセントを取付け後、下段に引き扉ユニットがくる場合、電源コードを配線溝へはめ込み、スリット化粧板を貼り付けてふさいでください。

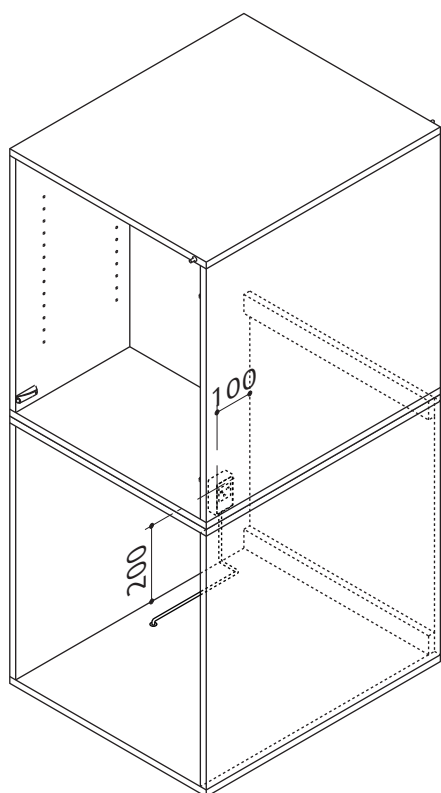
引き扉ユニット

スリット化粧板

配線溝

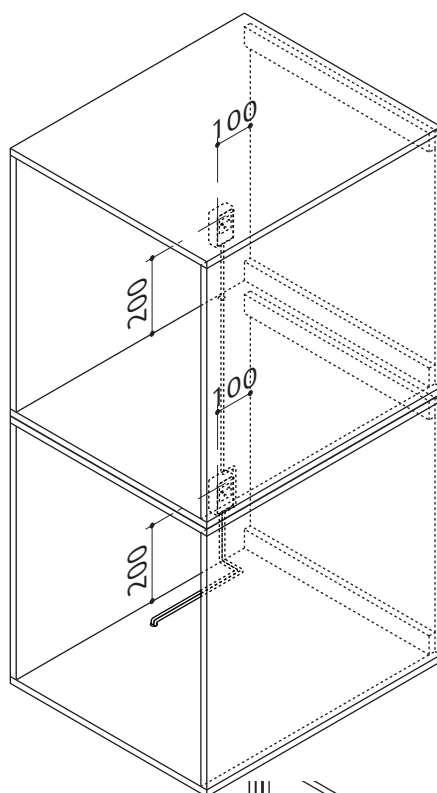
下段の場合

ビルトイン機器 1 台を設置する場合

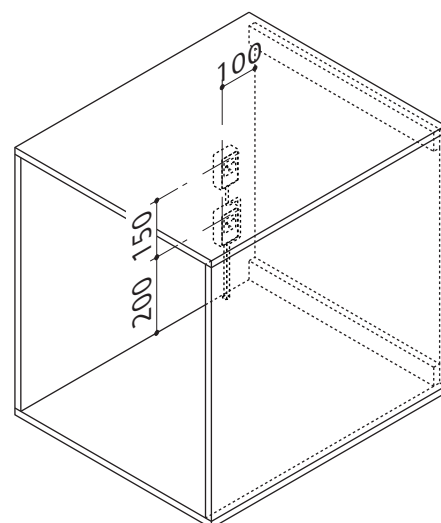


上段+下段の場合

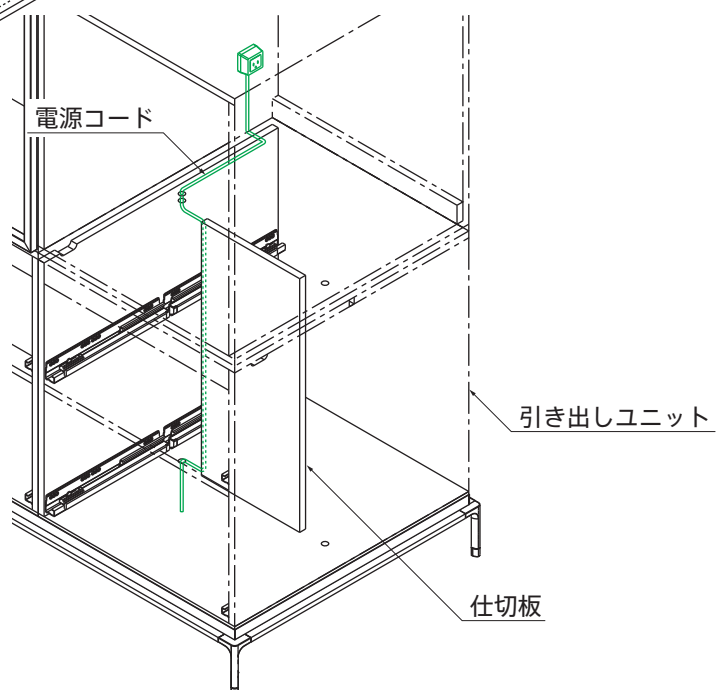
ビルトイン機器 1 台を設置する場合 ビルトイン機器を上下段 1 台ずつ設置する場合



オープンとウォーマーを設置する場合

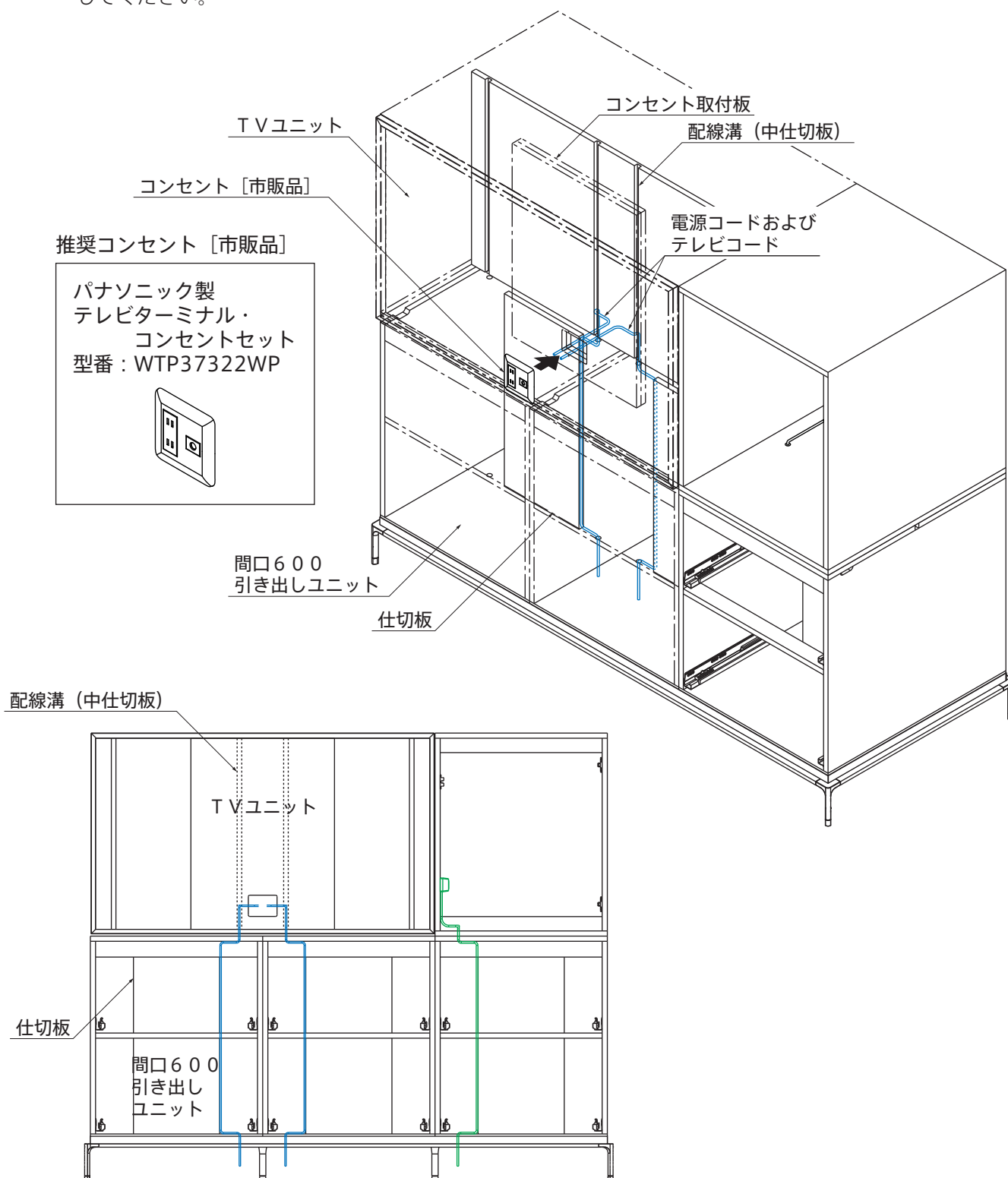


- ・ 下段に引き出しユニットがくる場合、電源コードを仕切板にそわせて、コード止め（市販品）等で固定してください。

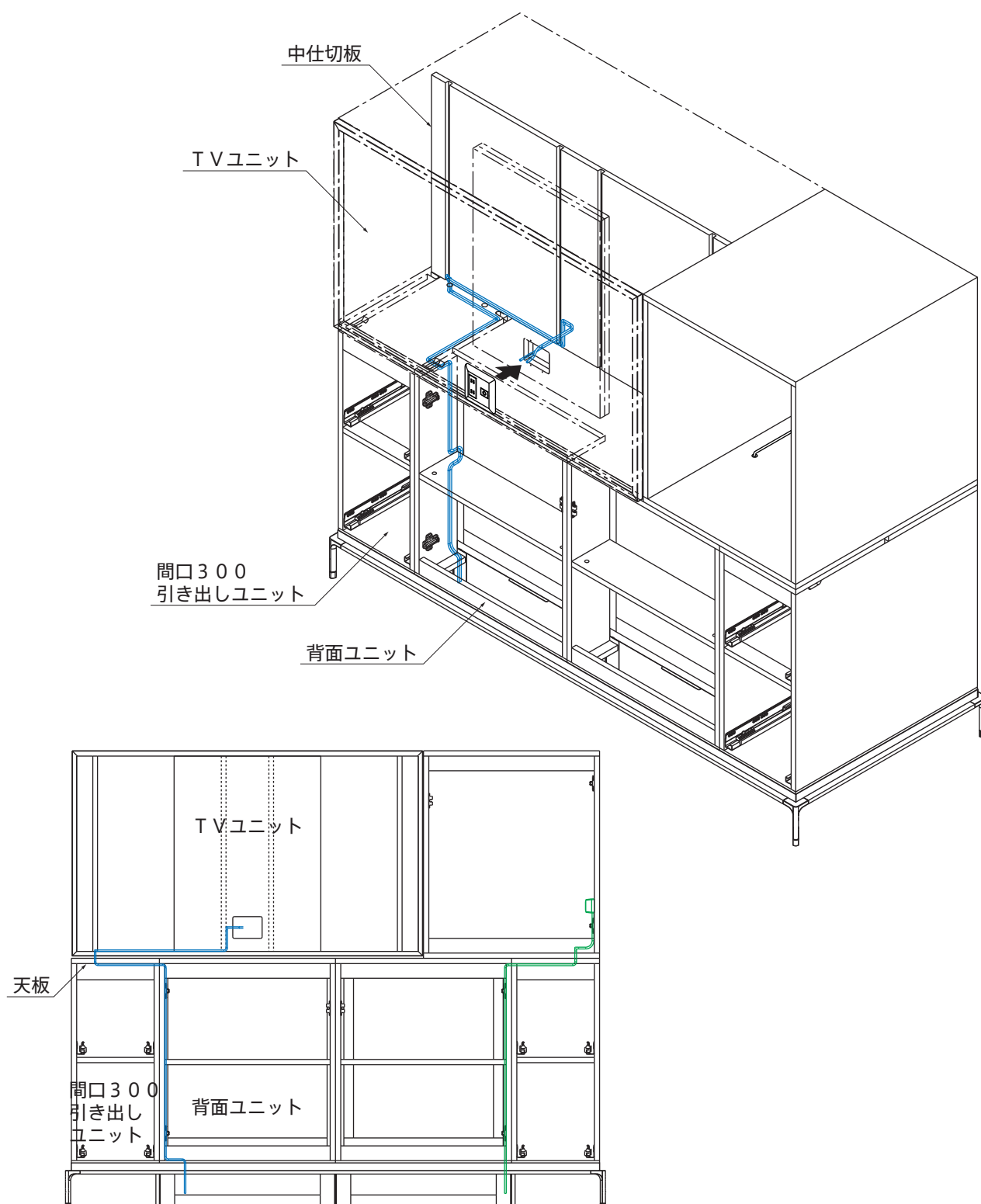


【TVユニットの場合】

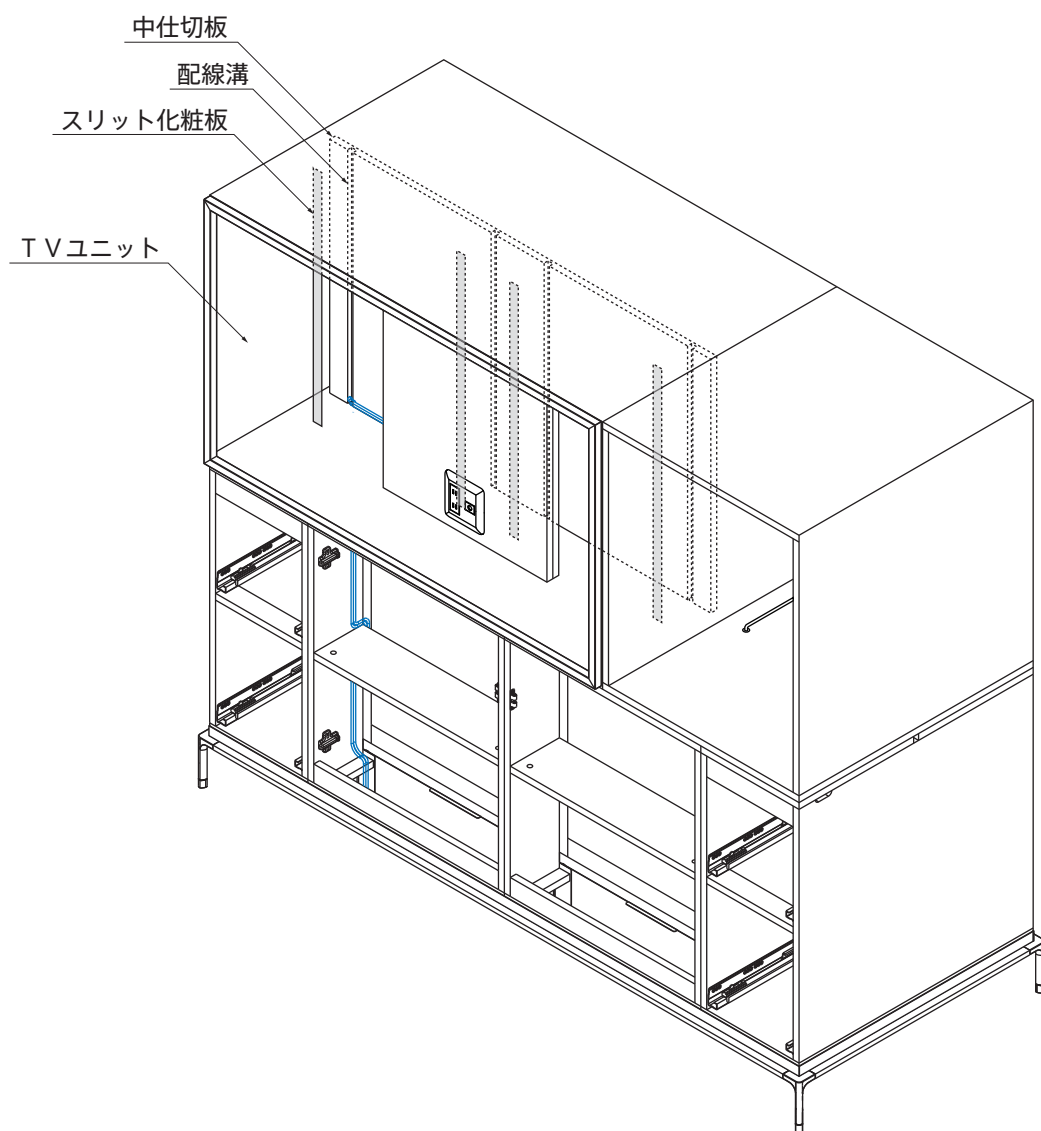
- ・TVユニットのコンセント取付板のコンセント取付穴にコンセントを取付けます。
推奨コンセント パナソニック製 2口+TV
- ・電源コードおよびテレビコードを下段ユニットに通し、TVユニット内に引き込んだ後、中仕切板の配線溝へはめ込み、配線します。
- ・間口600引き出しユニットを通す場合、各コードを仕切板にそわせて、コード止め（市販品）等で固定してください。



- ・ 下段にアンダーカウンター機器がくる場合、背面ユニットから隣接する引き出しユニットに配線を通し、TVユニット内に引き込んで配線します。
- ・ 間口300引き出しユニットを通す場合、天板裏面をはわけて、コード止め（市販品）等で固定してください。



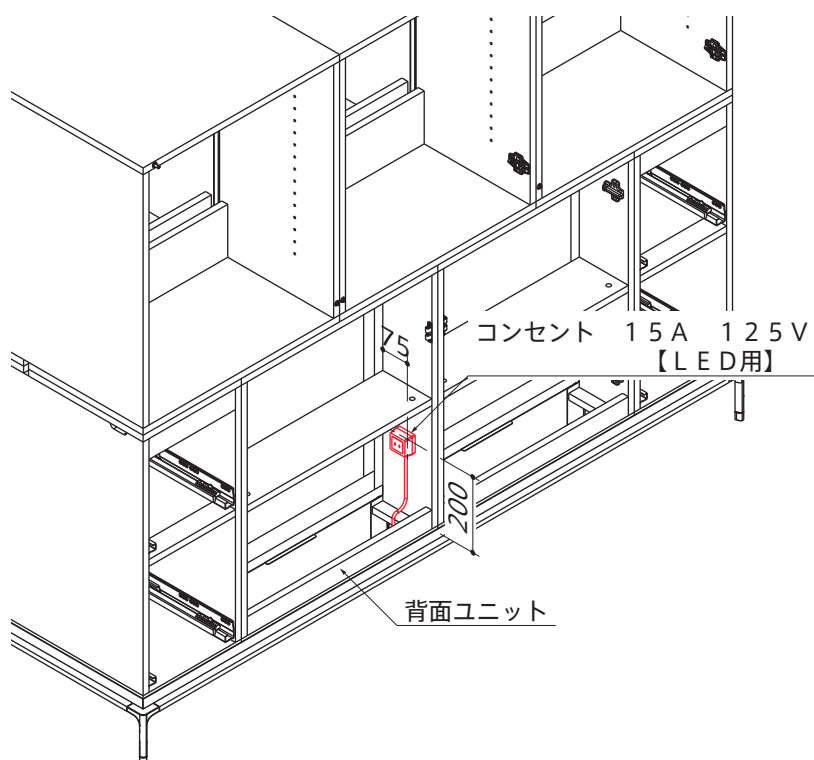
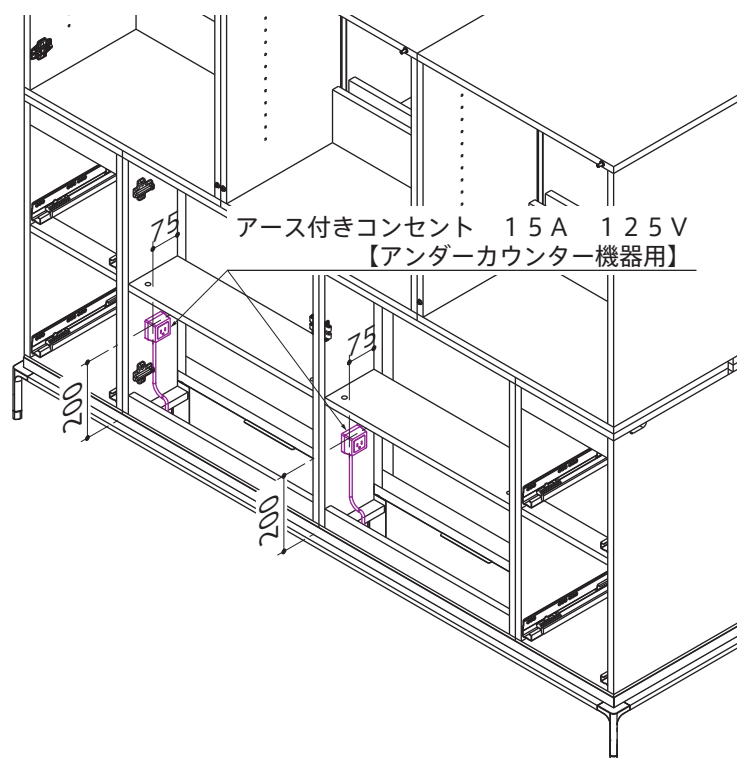
- ・コンセントを取付け、配線が終了後、中仕切板の配線溝にスリット化粧板を貼り付けてふさいでください。



【背面ユニットの場合】

- ・背面ユニットの指定位置にコンセントを取付けます。

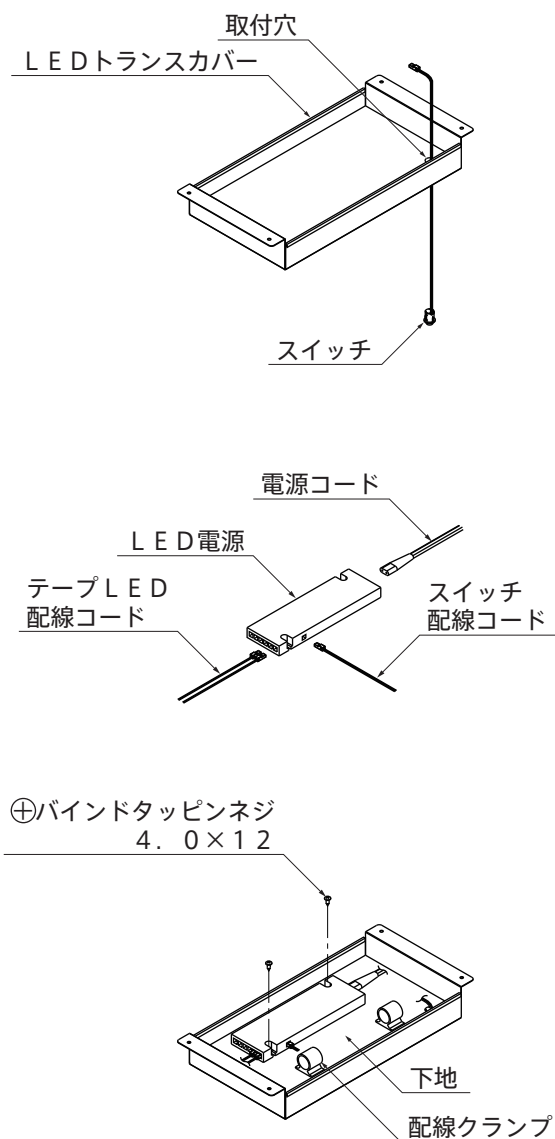
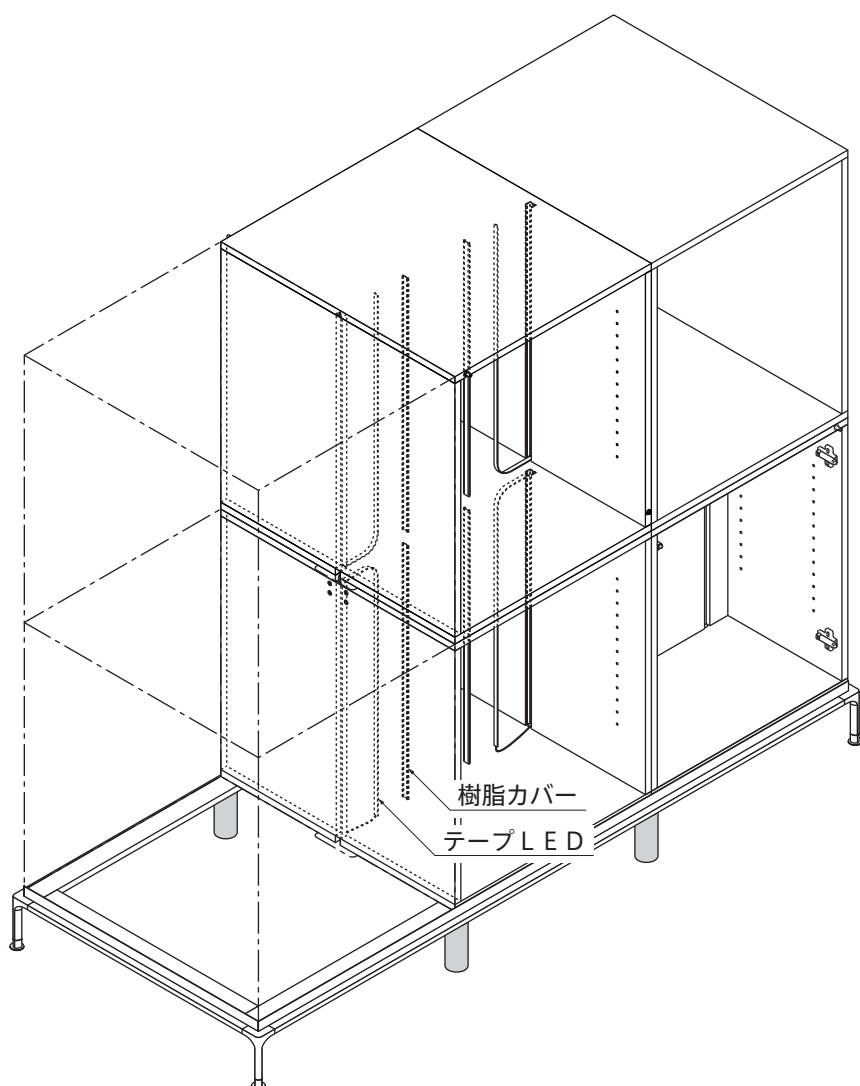
アンダーカウンター機器用	アース付きコンセント	単相100V	15A
LED用	コンセント	単相100V	15A



21 テープLEDの取付け

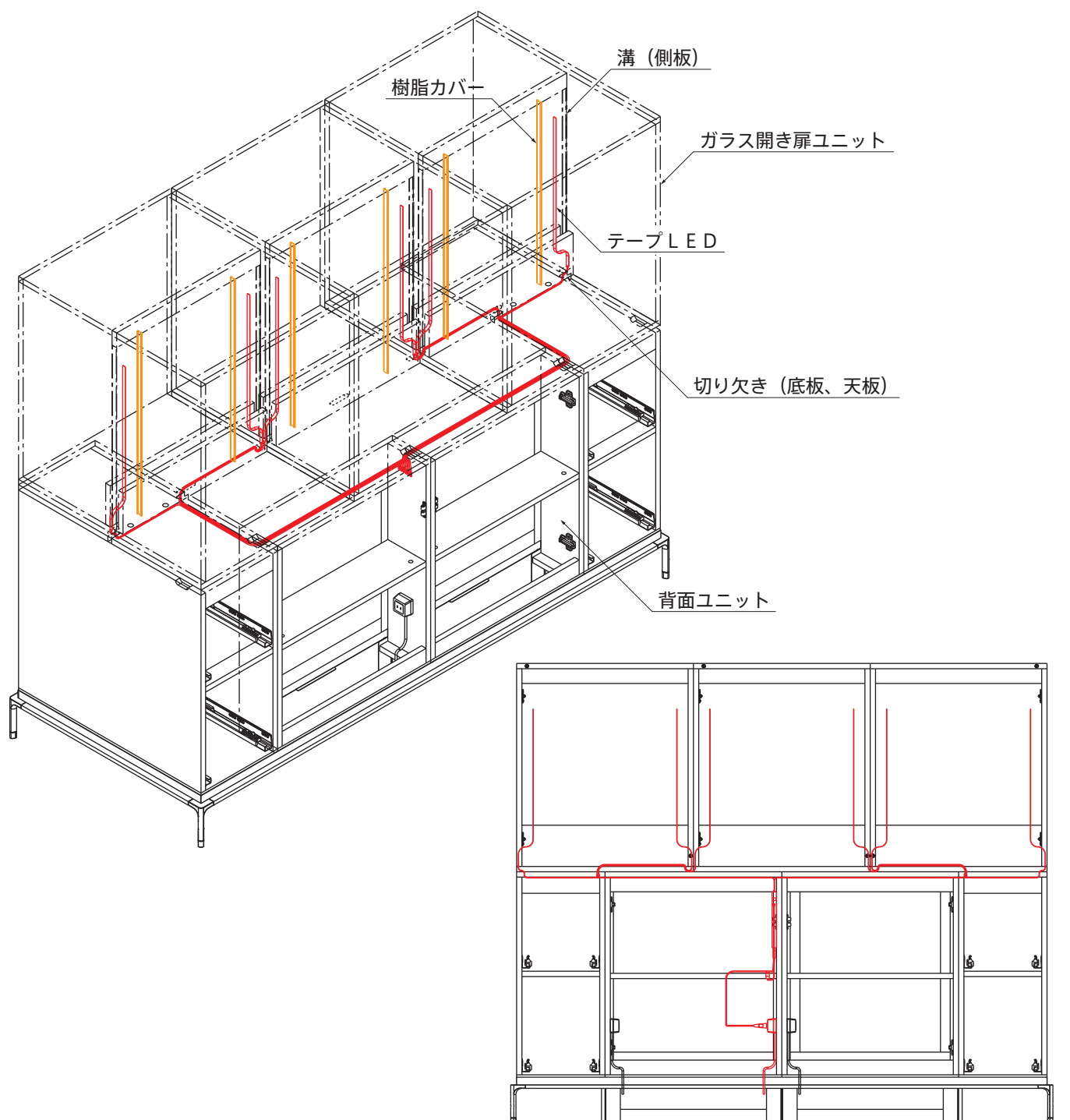
【※LEDを上下段ユニットに取付ける場合】

- ・下段のガラス開き扉ユニットに引き込んでおいたテープLEDを上段のガラス開き扉ユニットへ通します。
- ・テープLED裏面のはく離紙をめくり、側板の溝へはめ込んで貼り付けます。
- ・先ほど取り外した樹脂カバーを側板の溝へはめ込みます。
- ・スイッチをLEDトランスカバーの取付穴に差し込み、コードの先のコネクタをLED電源へ差し込みます。
- ・下段のガラス開き扉ユニット底板から出ているテープLEDの配線コードのコネクタをLED電源へ差し込みます。
- ・電源コードをLED電源へ差し込みます。
- ・LED電源を⊕バインドタッピンネジ 4.0×12にてLEDトランスカバー内側の下地に固定します。
- ・コード類をLEDトランスカバー内で結束し、配線クランプで固定します。



【※LEDを取付ける場合 背面ユニットがある場合】

- ・テープLED裏面のはく離紙をめくり、上段のガラス開き扉ユニット側板の溝へはめ込んで貼り付けます。
 - ・テープLEDの配線を底板の切り欠きより下段ユニット内側へ出し、背面ユニットへ通します。
- ※中央のガラス開き扉ユニットの配線は、隣のユニットへ出してから両端の下段ユニットを通り、背面ユニットへ通します。
- ・コード類はコード止め（市販品）等でユニットに固定してください。
 - ・先ほど取り外した樹脂カバーを側板の溝へはめ込みます。



22

LEDトランスカバーの取付け

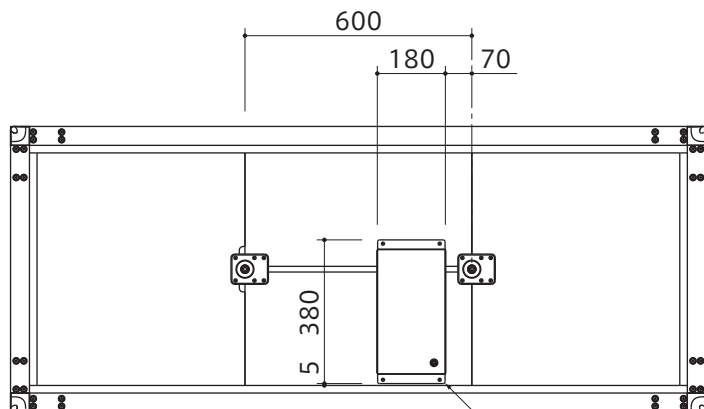
(※LEDを取付ける場合 背面ユニットがない場合)

- ・テープLEDの配線コードを結線後、ユニット底板裏面の指定位置にLEDトランスカバーを固定します。
- LEDトランスカバーの取付穴より⊕バインドタッピンネジ4.0×12にて固定します。

※テープLEDの配線コードと電源コードをLEDトランスカバーとユニットの間に挟み込まないよう注意してください。

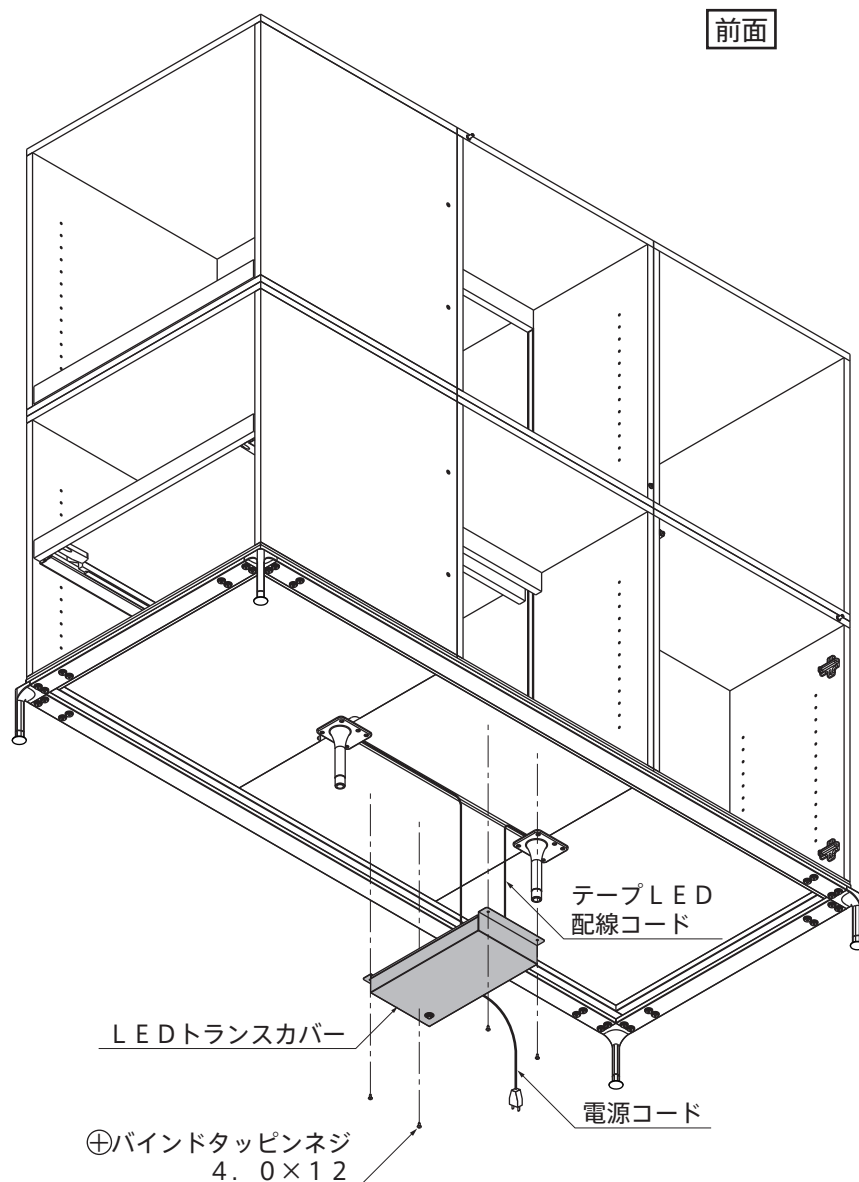
電源コードはLEDトランスカバーの切り欠きより外側へ出しておきます。

LEDトランスカバー取付位置【平面図】



LEDトランスカバー

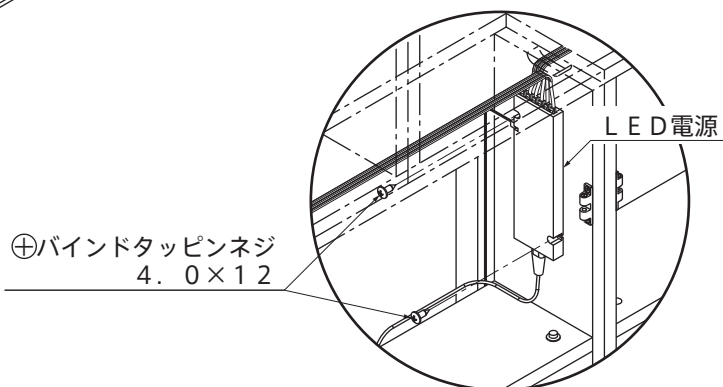
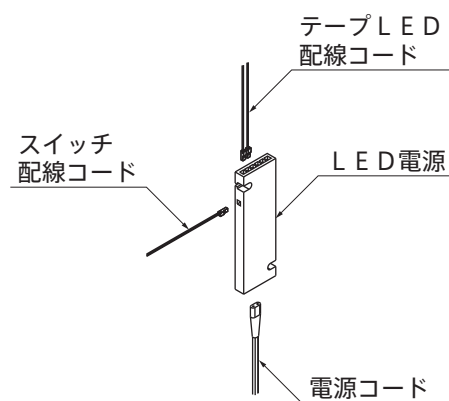
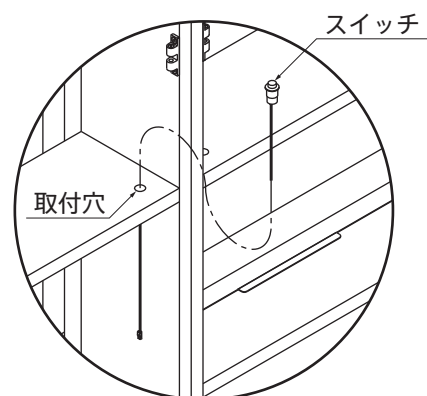
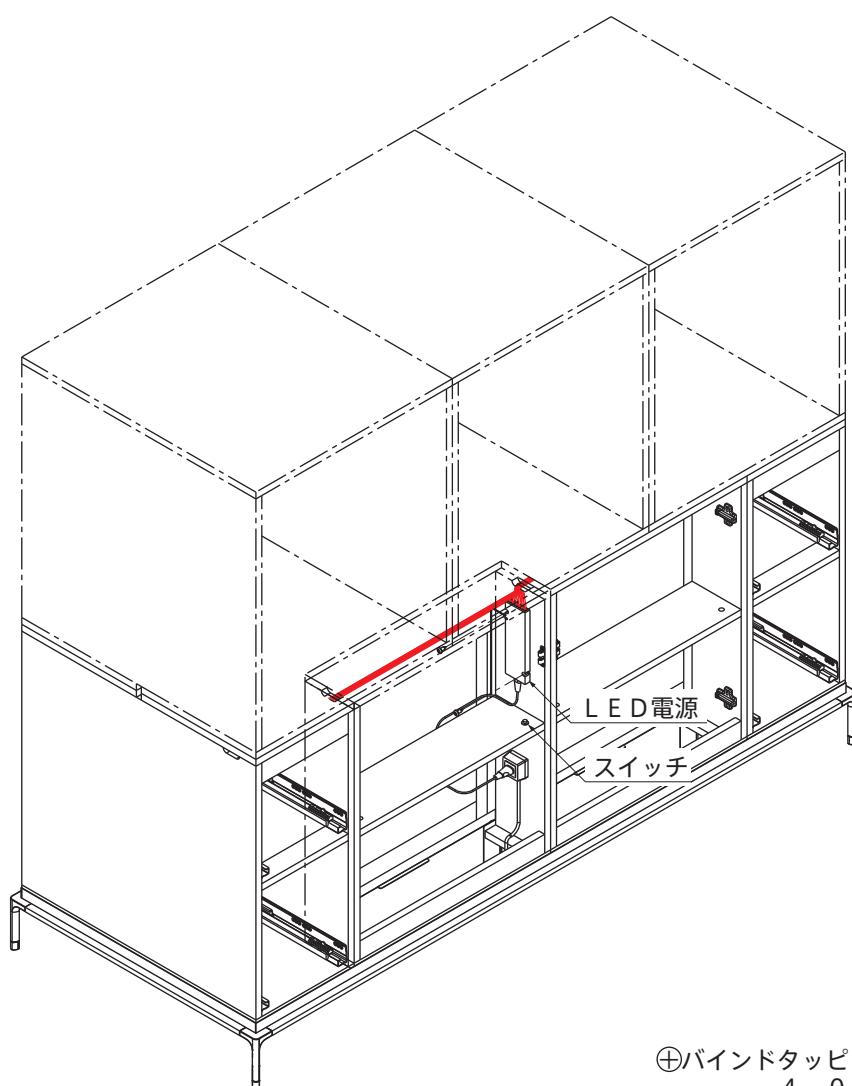
前面



23 LED電源の取付け

【※LEDを取付ける場合 背面ユニットがある場合】

- ・スイッチを背面ユニットの取付穴に差し込み、コードの先のコネクタをLED電源へ差し込みます。
- ・テープLEDの配線コードのコネクタをLED電源へ差し込みます。
- ・電源コードをLED電源へ差し込みます。
- ・LED電源を⊕バインドタッピンネジ 4.0×12にて背面ユニット側板に固定します。
- ・コード類を背面ユニット内で結束します。

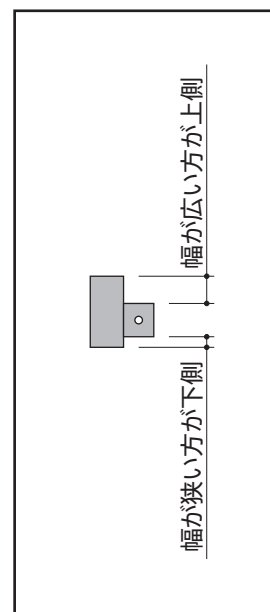


24 通気口、見付板の取付け

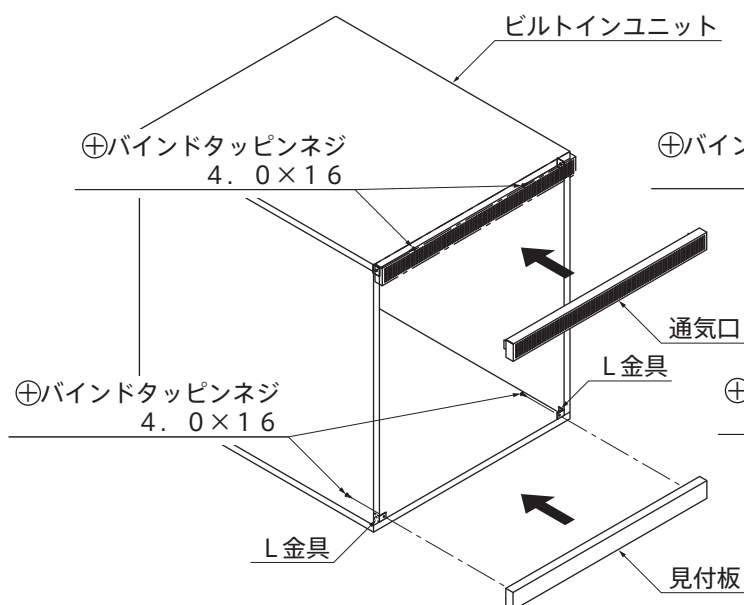
(※ビルトインユニットの場合)

- ・上段にビルトインユニットを設置する場合は上部に通気口を下部に見付板を取付け、下段にビルトインユニットを設置する場合は上部に見付板を下部に通気口を取付けます。
- ・ビルトインユニットの指定位置に通気口を取付けます。
通気口の取付穴より⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてユニット側板に固定します。
- ・ビルトインユニットの指定位置に見付板を取付けます。
ビルトインユニット側板に取付いているL金具より⊕バインドタッピンネジ4.0×16にて見付板を固定します。
- ・ワインセラーを取付ける場合、上下部に通気口を取付けます。
上部は通気口の内側にワインセラー固定アタッチメントを差し込み、取付穴位置を合わせて⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてユニット側板に固定します。
下部は通気口の取付穴より⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてユニット側板に固定します。

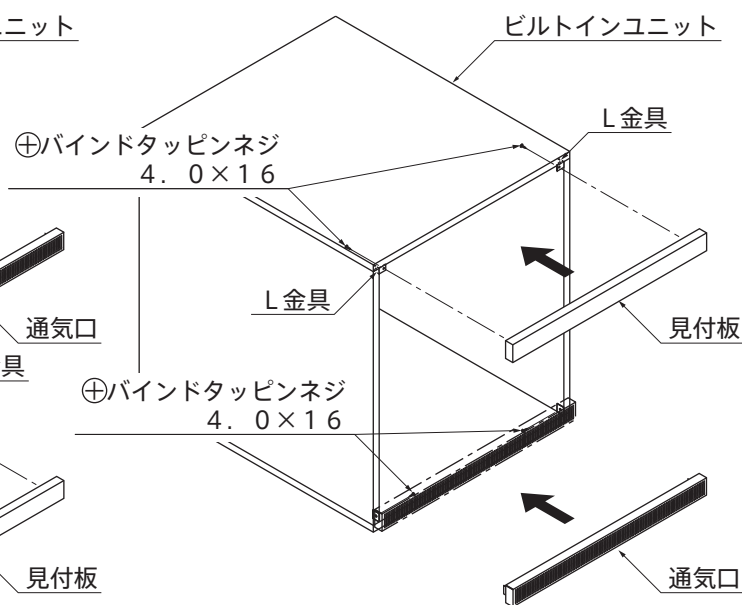
通気口の取付方向



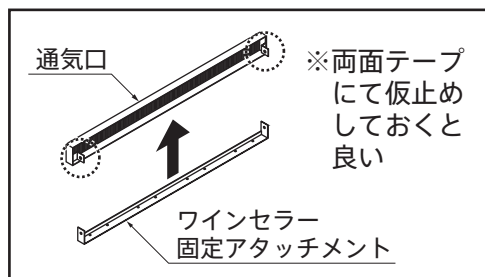
上段に設置する場合



下段に設置する場合

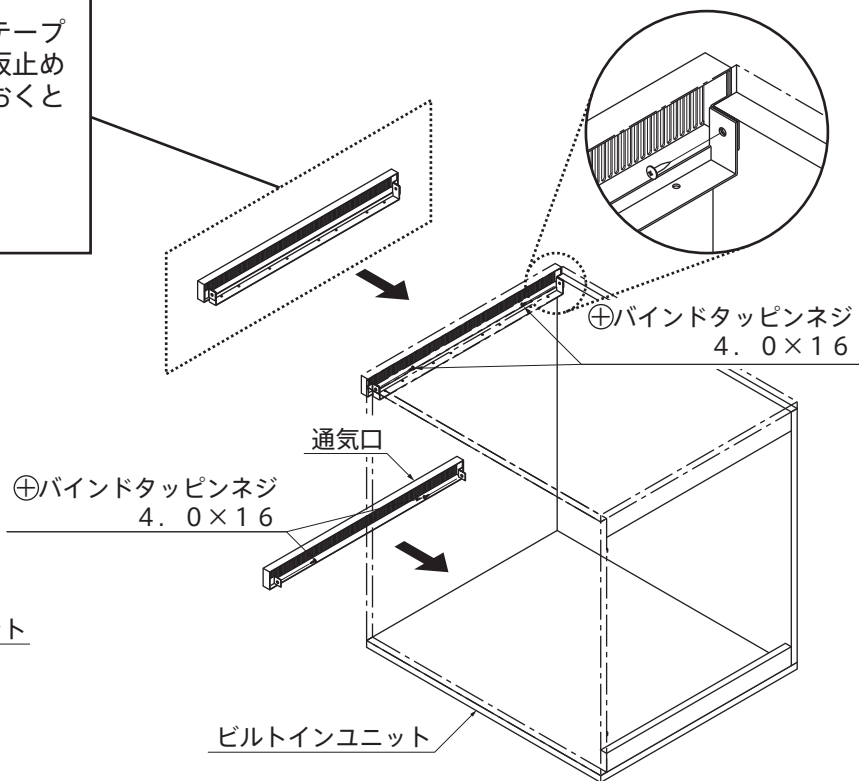
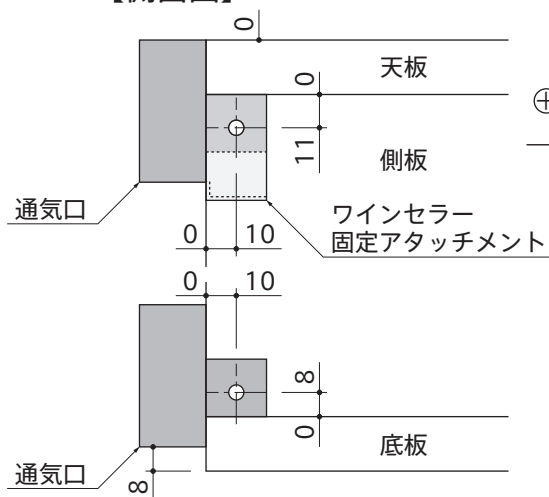


上段にワインセラー取付ける場合



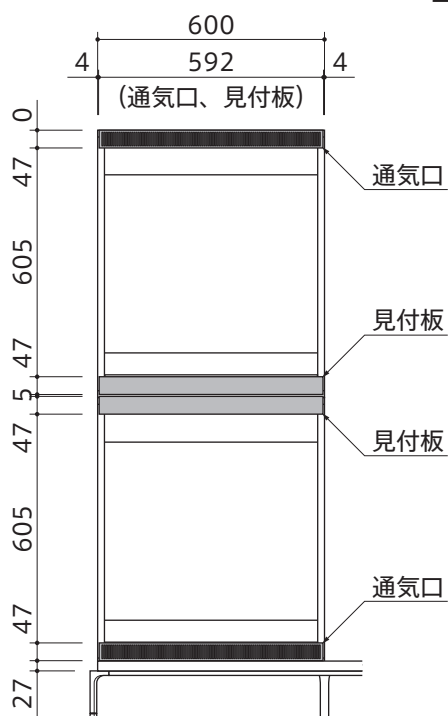
通気口取付位置

【側面図】



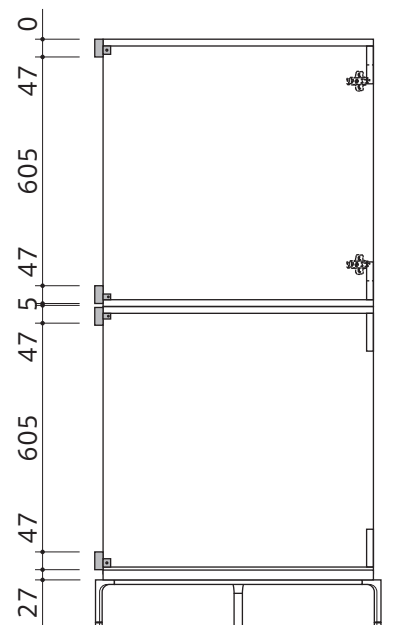
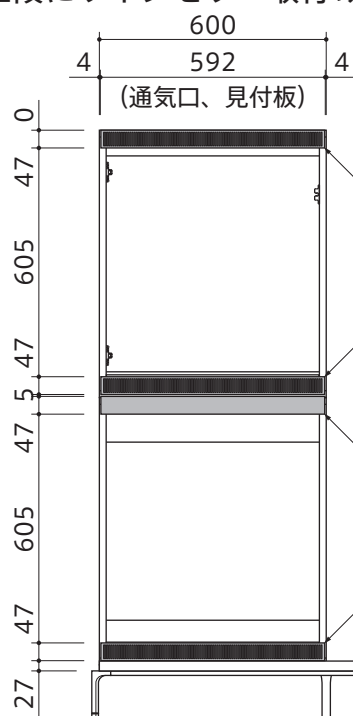
通気口、見付板納まり図

【正面図】



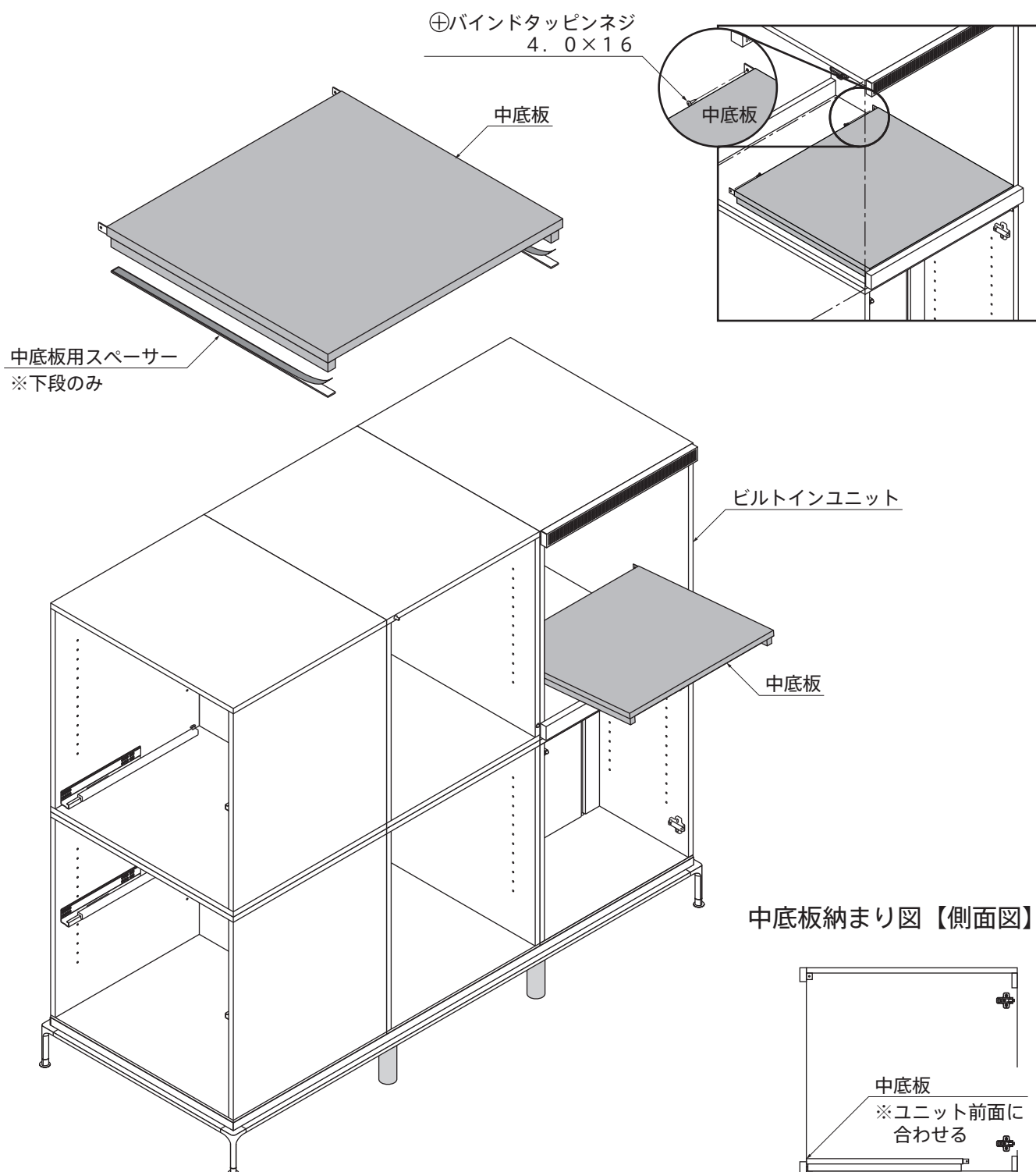
【側面図】

上段にワインセラー取付ける場合



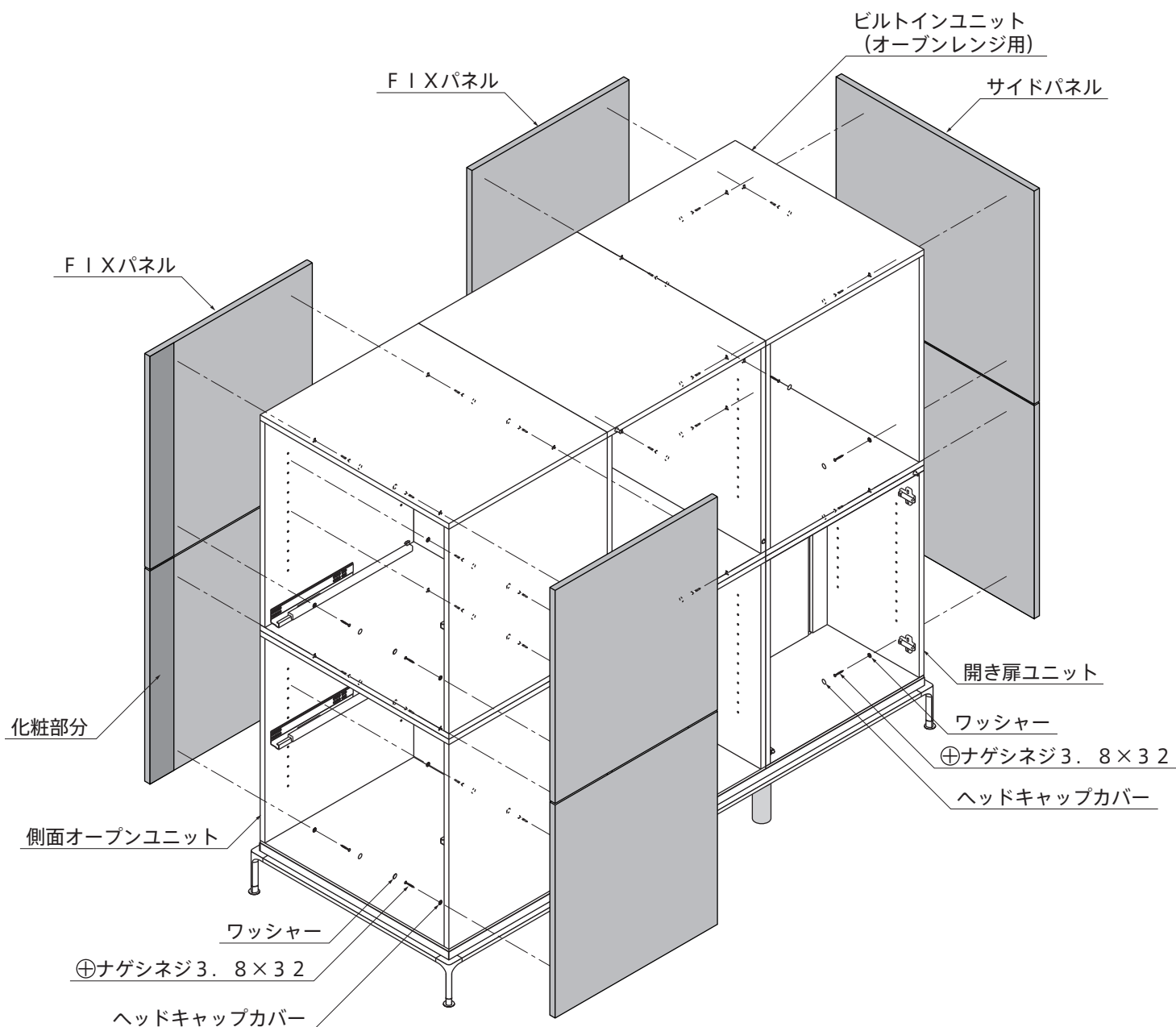
25 中底板の取付け (※ビルトインユニットの場合)

- ・ビルトインユニットの下部に中底板を取付けます。
- ・ビルトインユニットが下段にくる場合、中底板両側裏面に中底板用スペーサーを貼り付けます。
中底板用スペーサーのはく離紙を片方めくり、中底板両側裏面に貼り付けます。
もう片方のはく離紙をめくり、中底板前面とユニット前面を合わせてユニット底板に貼り付けます。
- ・中底板前面とユニット前面を合わせ、中底板背面に取付いているL金具より⊕バインドタッピンネジ
4.0×16にてユニット側板に固定します。



26 サイドパネル、F I Xパネルの取付け

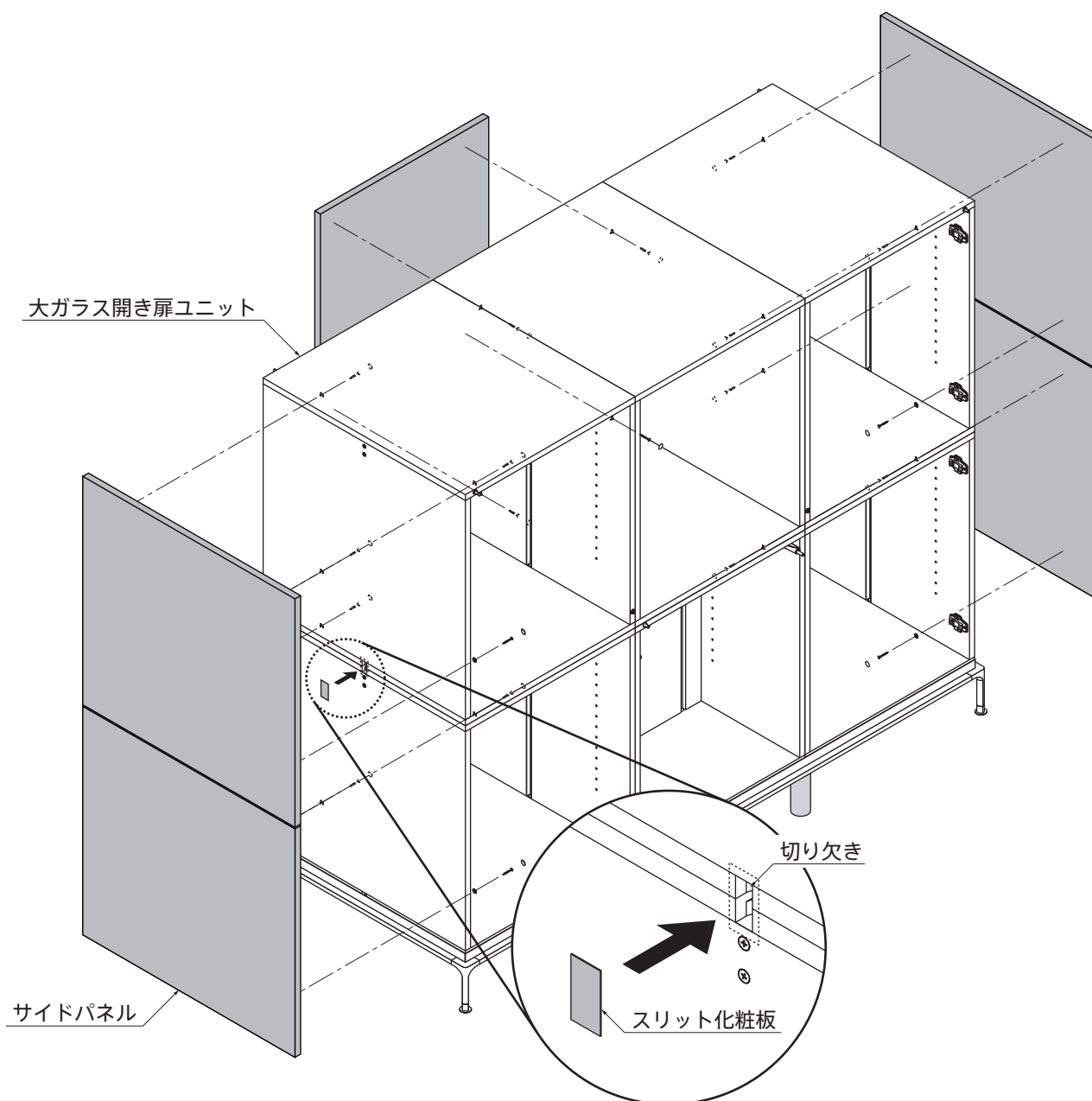
- ・ユニット側板の指定位置にサイドパネルを取付けます。
ユニット側板の指定位置にφ4穴（4ヶ所）をあけます。
⊕ナゲシネジ3. 8×3.2にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
 - ・側面オープンユニット側板およびビルトインユニット（オープンレンジ用）横棧の指定位置にF I Xパネルを取付けます。
ユニット側板およびユニット横棧の指定位置にφ4穴（4ヶ所）をあけます。
⊕ナゲシネジ3. 8×3.2にワッシャーを通して、F I Xパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ※側面オープンユニットにF I Xパネルを取付ける場合、化粧部分が内側にくるように取付けます。
※ビルトインユニット（オープンレンジ用）に引き出しスペーサーユニットを取付ける場合、ユニット下部は引き出しスペーサーユニットを取付ける際に固定しますので、この時には固定しません。



【ガラス開き扉に L E D を取付ける場合】

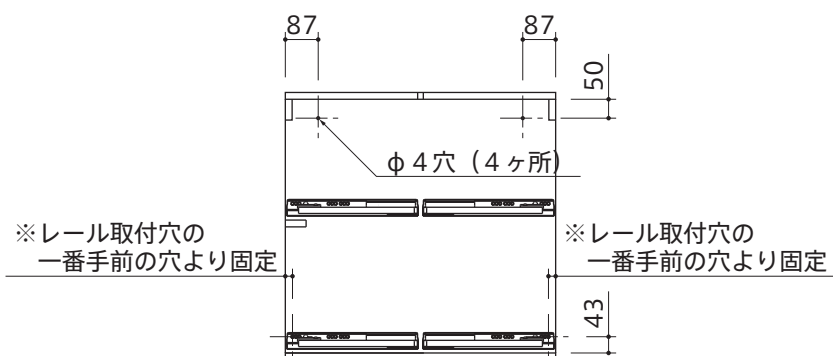
・大ガラス開き扉ユニット、小ガラス開き扉ユニットに L E D を取付ける場合、サイドパネルを取付ける前にユニット側面の切り欠きをスリット化粧板でふさぎます。

※スリット化粧板に貼り付いている両面テープはめくり、薄手の両面テープ（市販品）にて貼り付けてください。

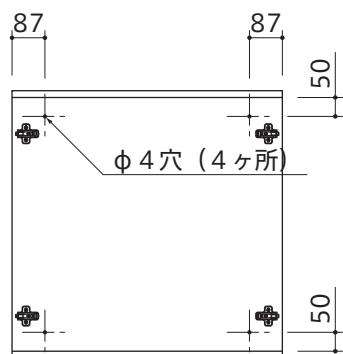


サイドパネル固定位置【側面図】

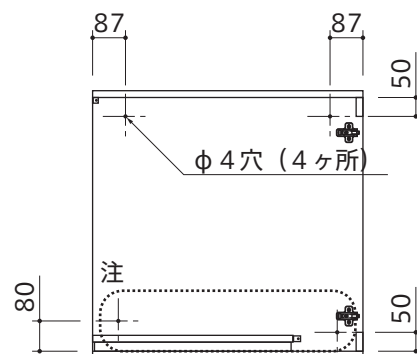
引き出しユニットの場合




開き扉ユニット、ガラス開き扉ユニット、TVユニットの場合



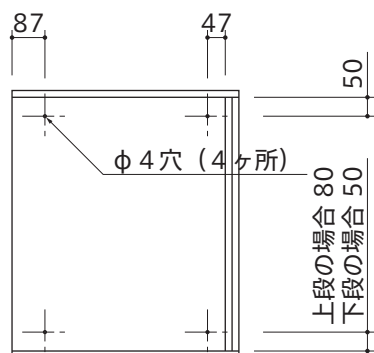
ビルトインユニットの場合



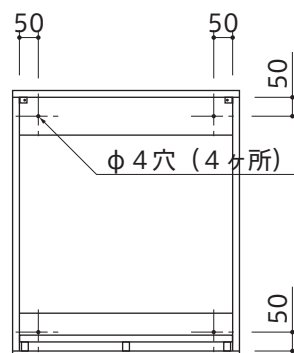
※注 引き出しスペーサーユニットを取付ける場合、部分は固定しないでください。

FIXパネル固定位置

側面オープンユニットの場合【側面図】

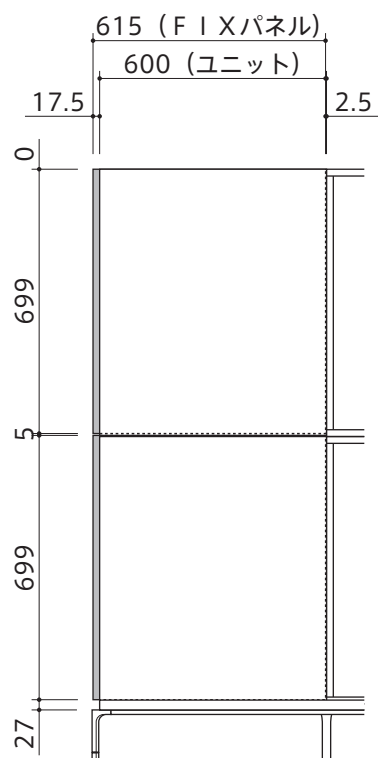


ビルトインユニット（オープンレンジ用）の場合【正面図】

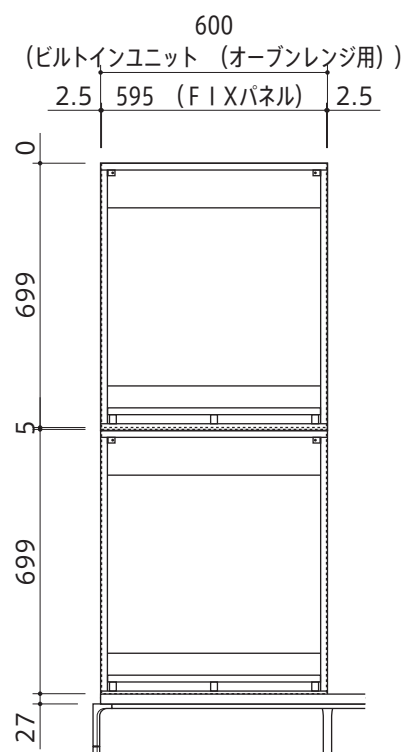


F I Xパネル納まり図

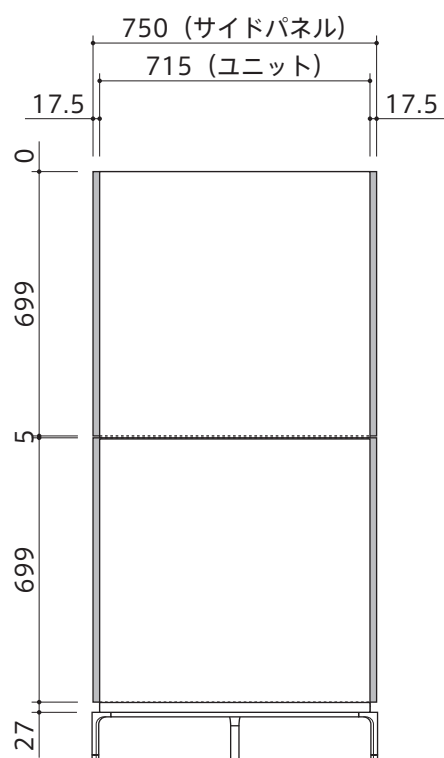
側面オープンユニットの場合【側面図】



ビルトインユニット（オープンレンジ用）の場合【正面図】

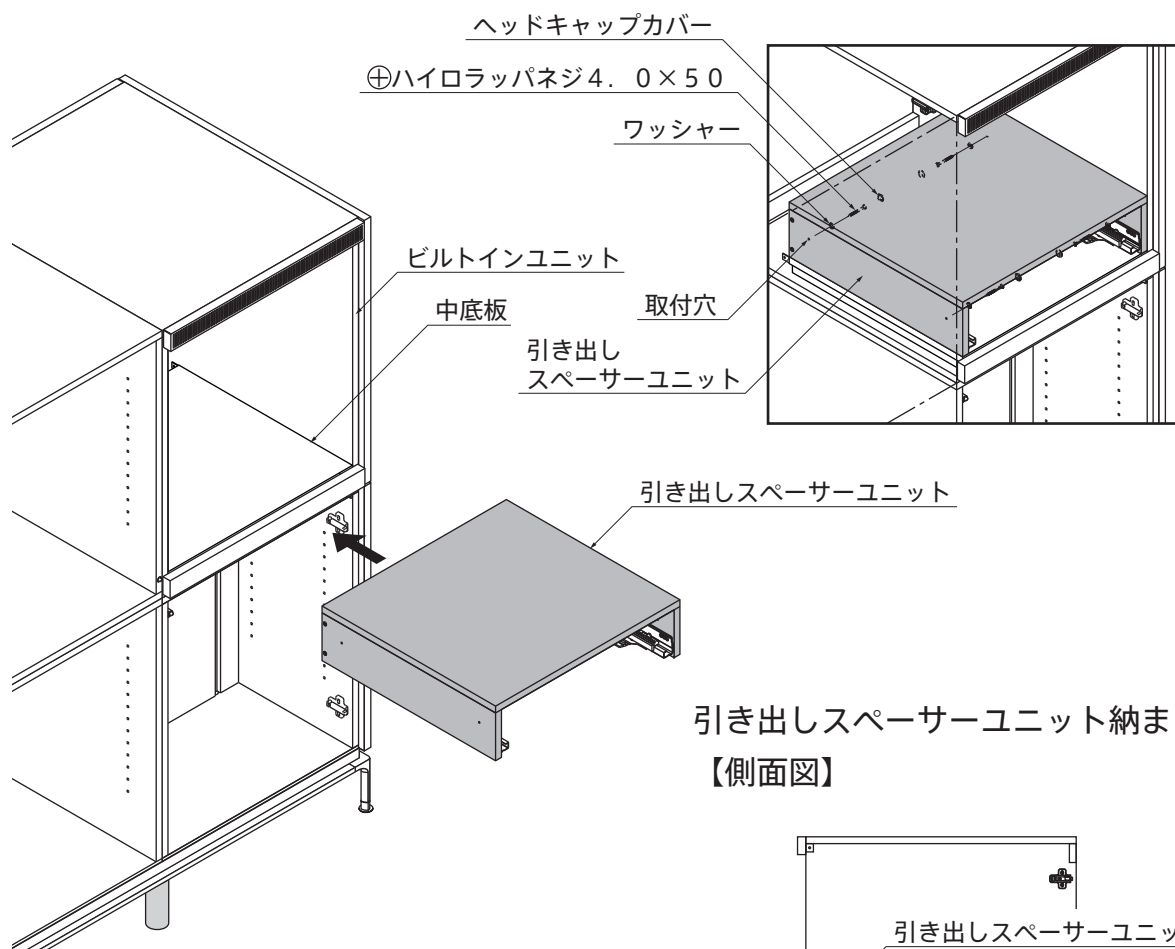


サイドパネル納まり図【側面図】

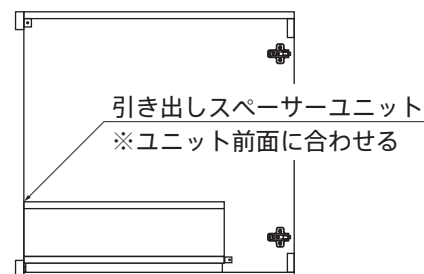


27 引き出しスペーサーユニット (※ビルトインユニットにウォーマーを取付けない場合)

- ・ビルトインユニット下部に引き出しスペーサーユニットを取付けます。
引き出しスペーサーユニットを中底板の上にのせます。
引き出しスペーサーユニット側板の取付穴から⊕ハイロラップネジ4.0×50にワッシャーを通して、ビルトインユニット側板に固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ※ウォーマーを取付ける場合は、不要です。



引き出しスペーサーユニット納まり図
【側面図】



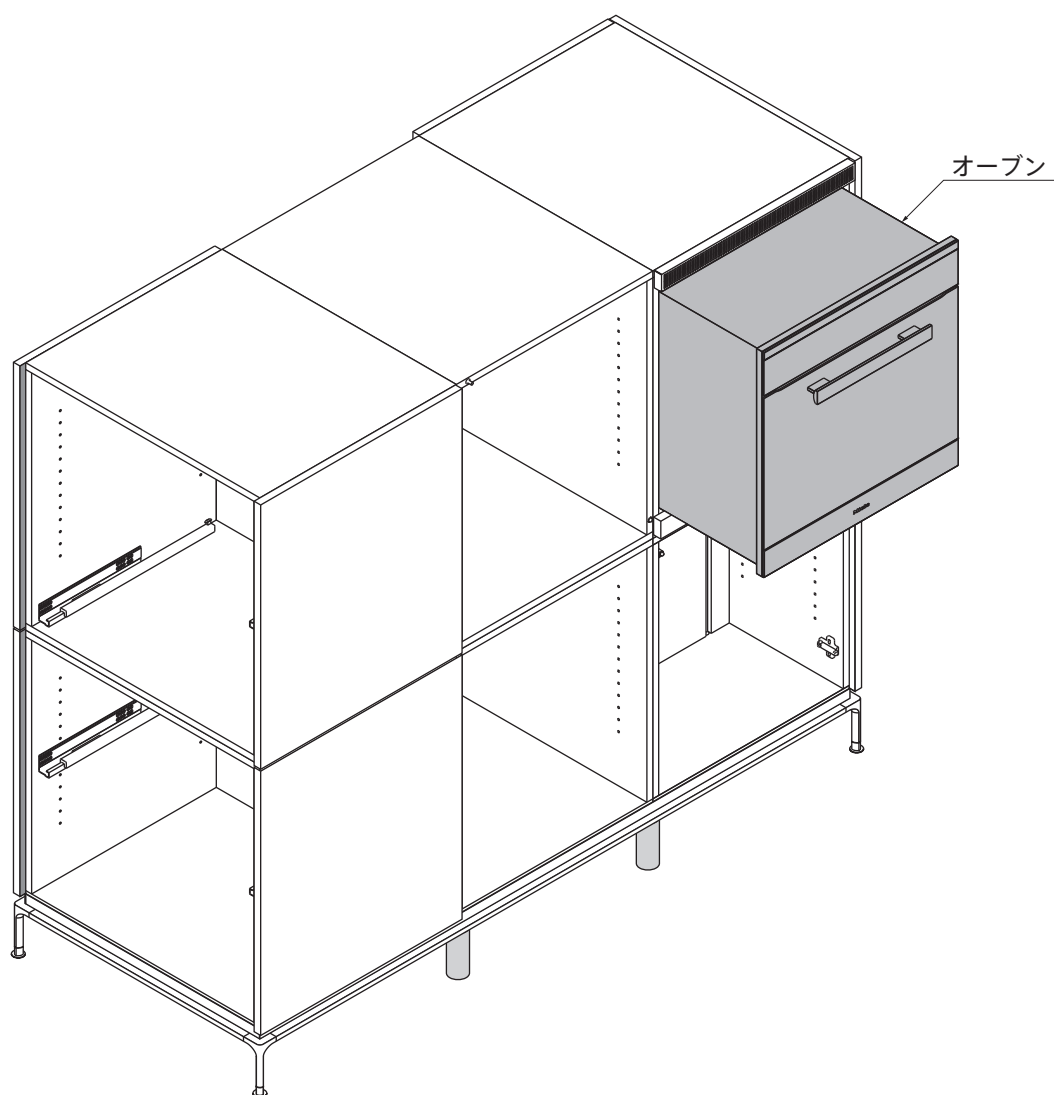
28 ウォーマーの取付け (※ビルトインユニットに 引き出しスペーサーユニットを取付けない場合)

- ・付属の「取付・設置説明書」に従って、ウォーマーを取付けます。

29 ビルトイン機器の取付け

【オーブンの場合】

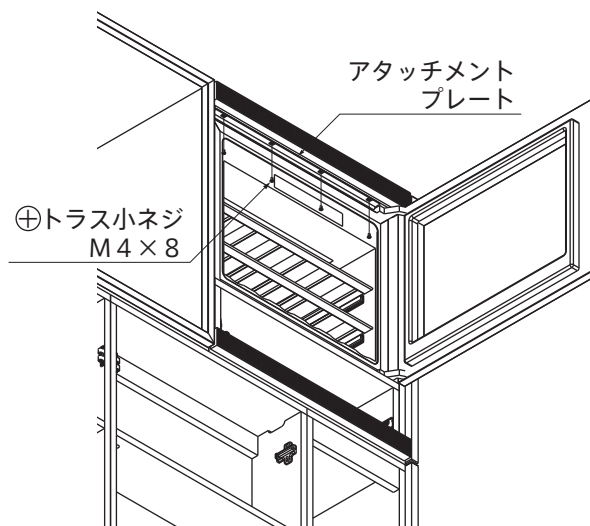
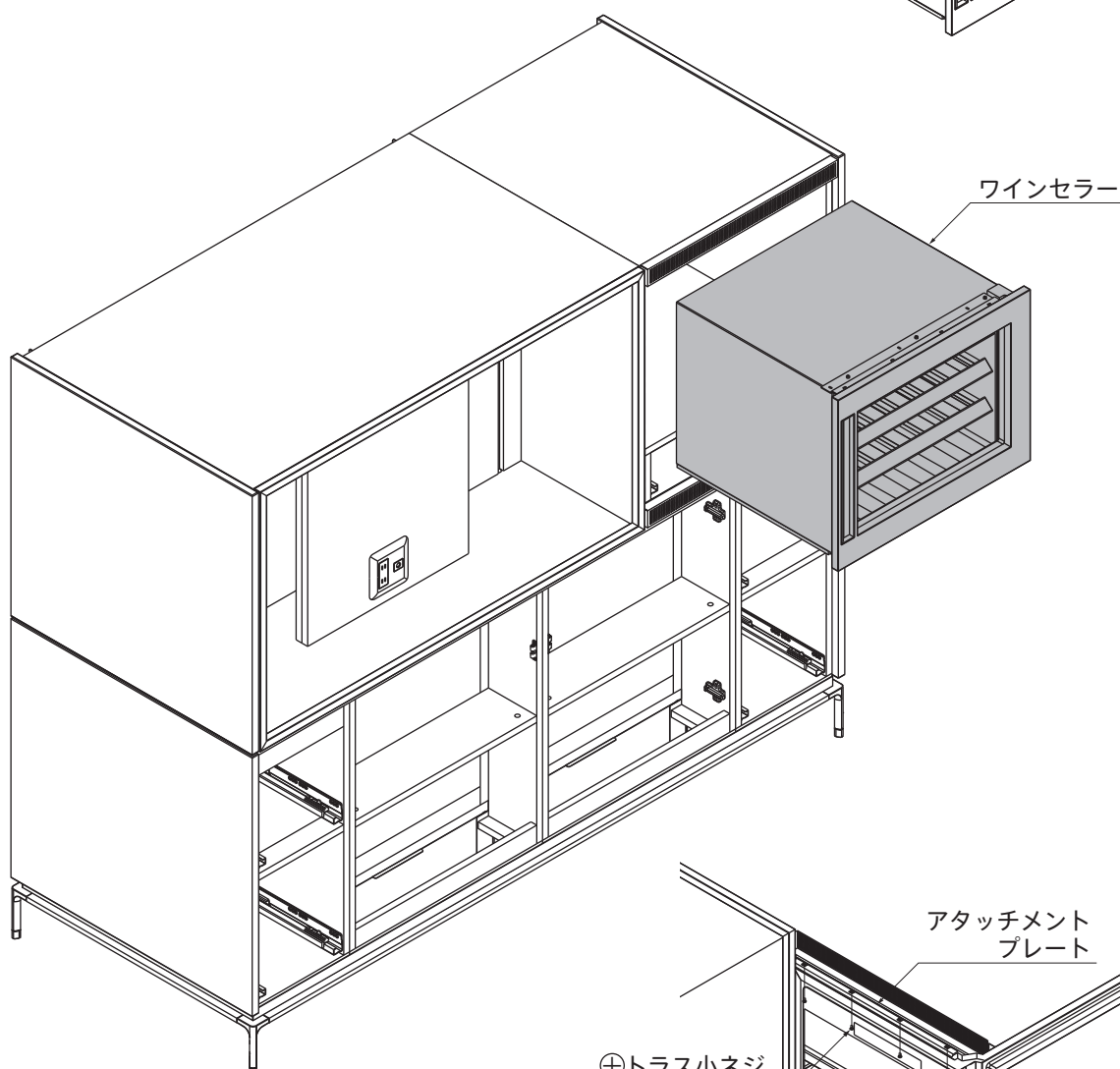
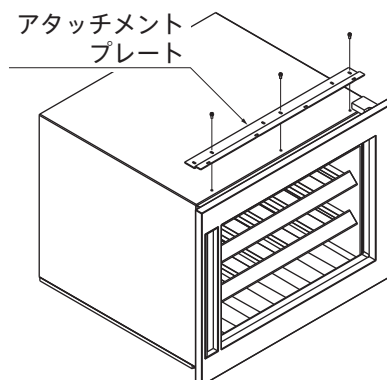
・ 付属の「取付・設置説明書」に従って、オーブンを取付けます。



【ワインセラーの場合】

- ・ 付属の「取付・設置説明書」に従って、ワインセラーを取付けます。
- ・ ワインセラー上部に取付けたアタッチメントプレートより⊕トラス小ネジM4×8にてワインセラー固定アタッチメントに固定します。

※ワインセラーに付属のチップボードネジ（M3．5×17）とネジキャップは使用しません。

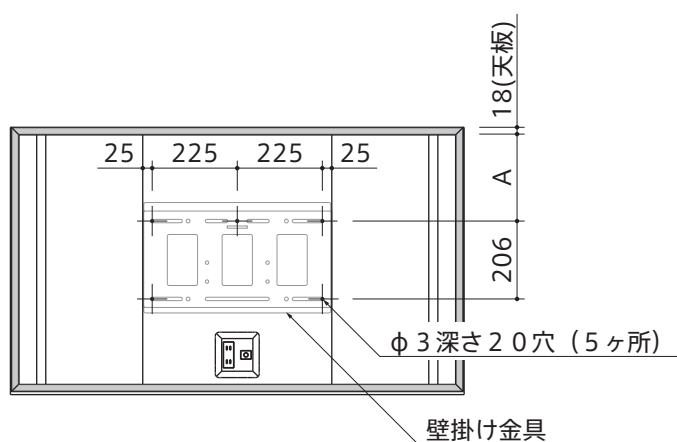


30 壁掛け金具の取付け (※TVユニットの場合)

- ・TVユニットのコンセント取付板の指定位置に壁掛け金具を取付けます。
- ・コンセント取付板の壁掛け金具の取付位置にφ3 深さ20mmの下穴を開けます。
- ・六角フランジタッピンネジ6×30〔市販品〕にφ20ワッシャー〔市販品〕を通し、壁掛け金具の取付穴(5ヶ所)より固定します。

壁掛け金具取付位置



【TVユニット正面図】

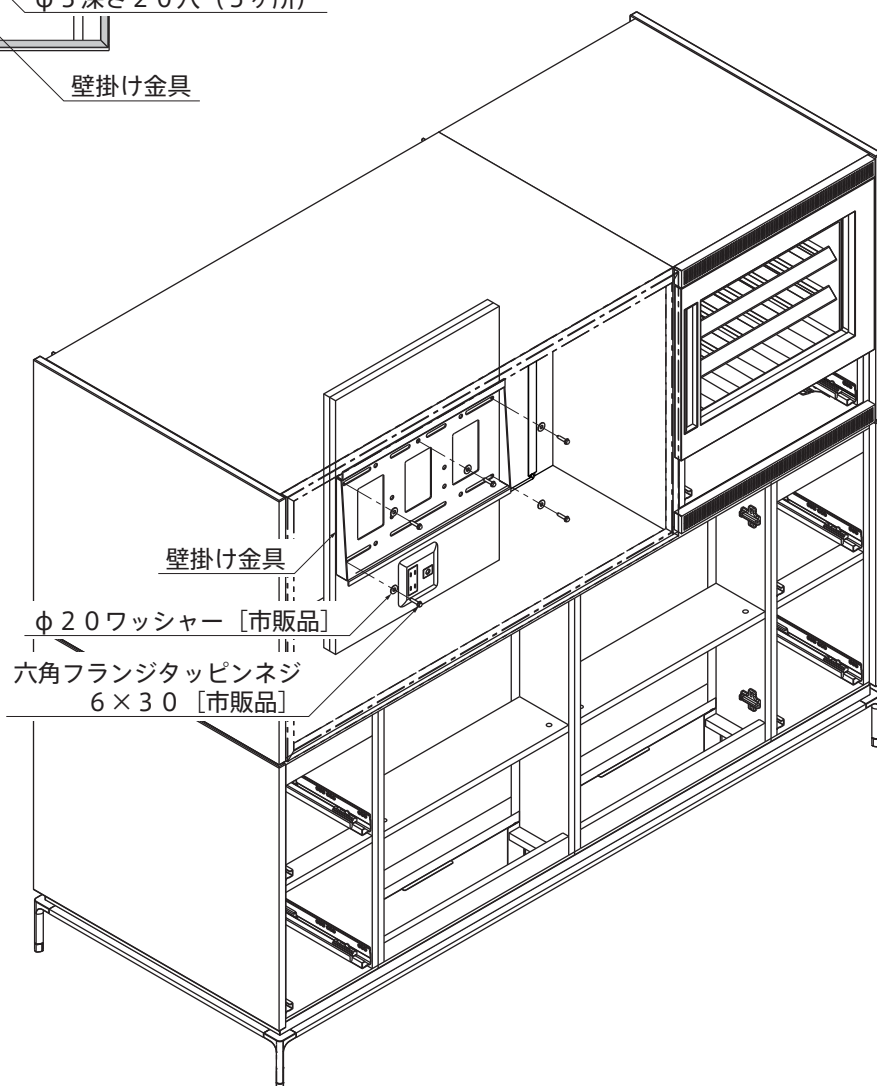


※TVの種類によって寸法が異なります。

- ・49NAN086JNASの場合 A寸法 230mm
- ・OLED48CXPJASの場合 269mm

壁掛け金具取付ネジ〔市販品〕

	六角フランジタッピンネジ 6×30	5本
	ワッシャー 内φ6. 4外20×t1mm	5個



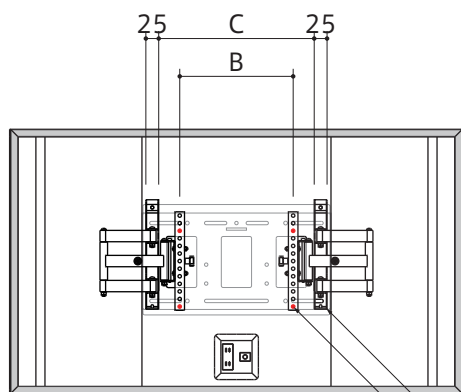
31 取付けステー、TVの取付け (※TVユニットの場合)

・TV裏側の指定位置に取付けステーを取付け、TVユニットのコンセント取付板に取付けた壁掛け金具に固定します。

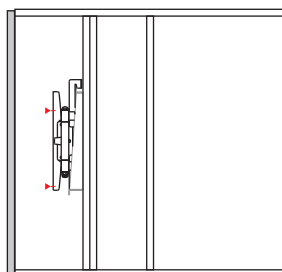
※取付方法、調整方法については、付属の「取付説明書」に従ってください。

取付けステー取付位置

【TVユニット正面図】



【側面図】

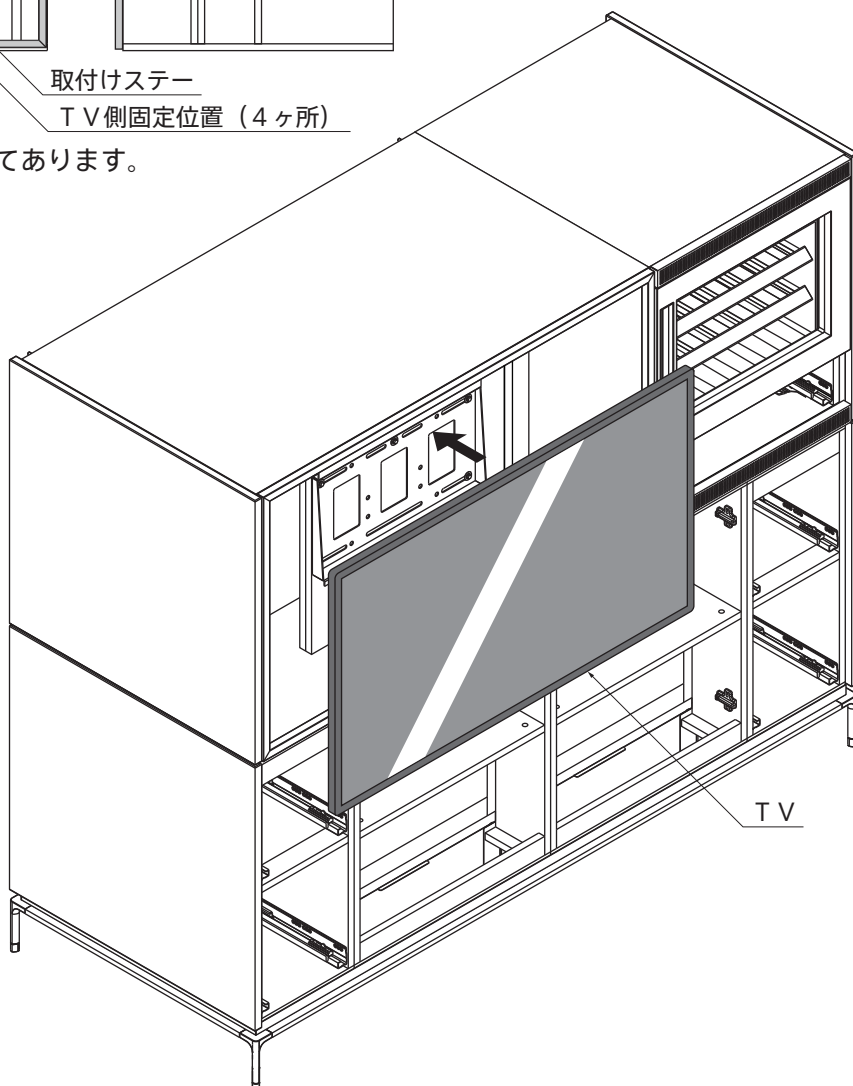


※TVの種類によって寸法が異なります。

	B 寸法	C 寸法
・49NAN086JNASの場合	200mm	308mm
・OLED48CXPJASの場合	300mm	408mm

取付けステー
TV側固定位置 (4ヶ所)

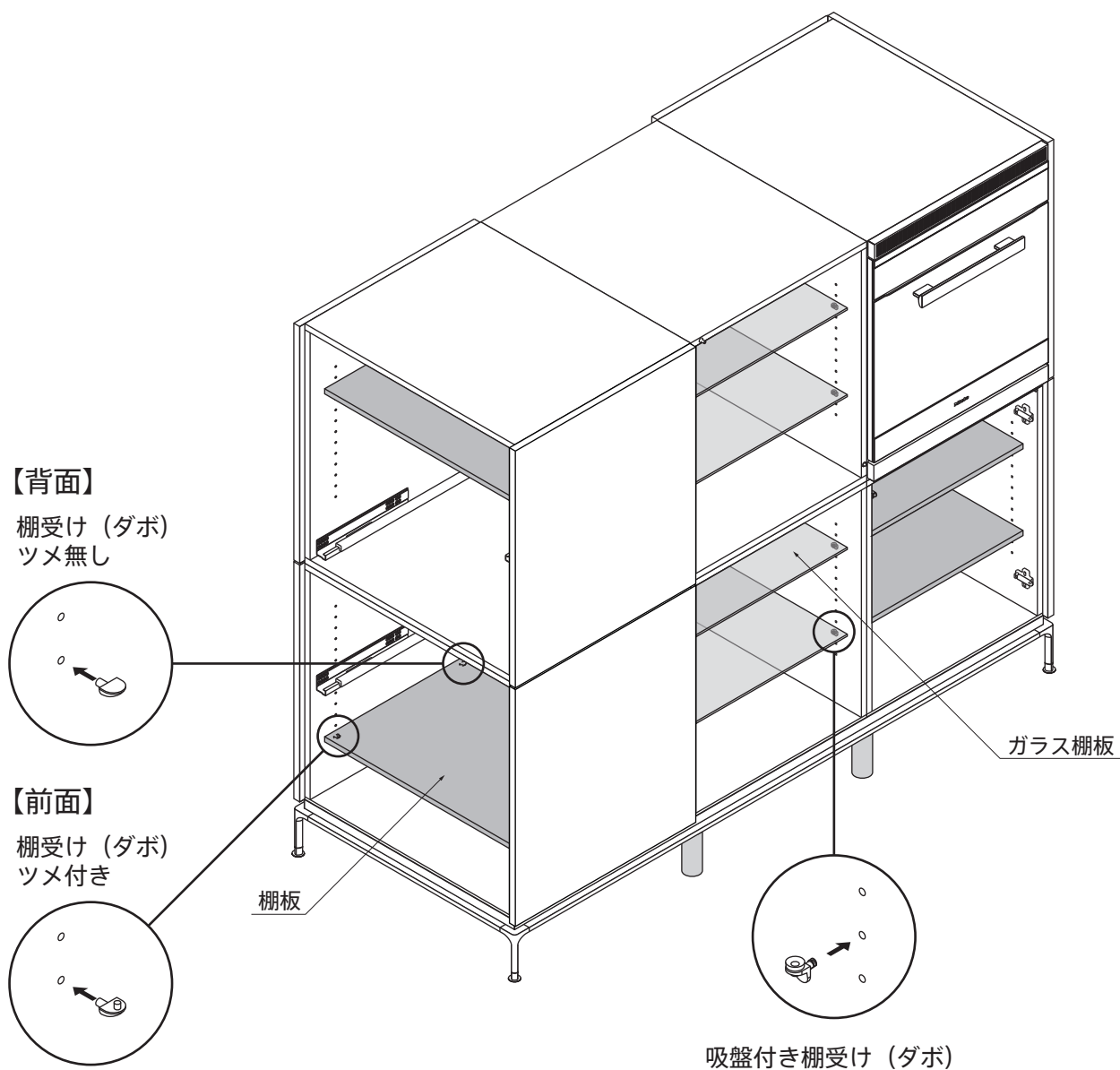
※上記のイラストはTVを省略してあります。



32 棚板、ガラス棚板の取付け

(※開き扉ユニットの場合)

- ・棚板の場合、側板の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込みます。
前面にはツメ付き、背面にはツメ無しを差し込みます。
棚板を棚受け（ダボ）にのせます。
- ・ガラス棚板の場合、側板の任意の穴位置に吸盤付き棚受け（ダボ）を差し込みます。
ガラス棚板を吸盤付き棚受け（ダボ）にのせます。

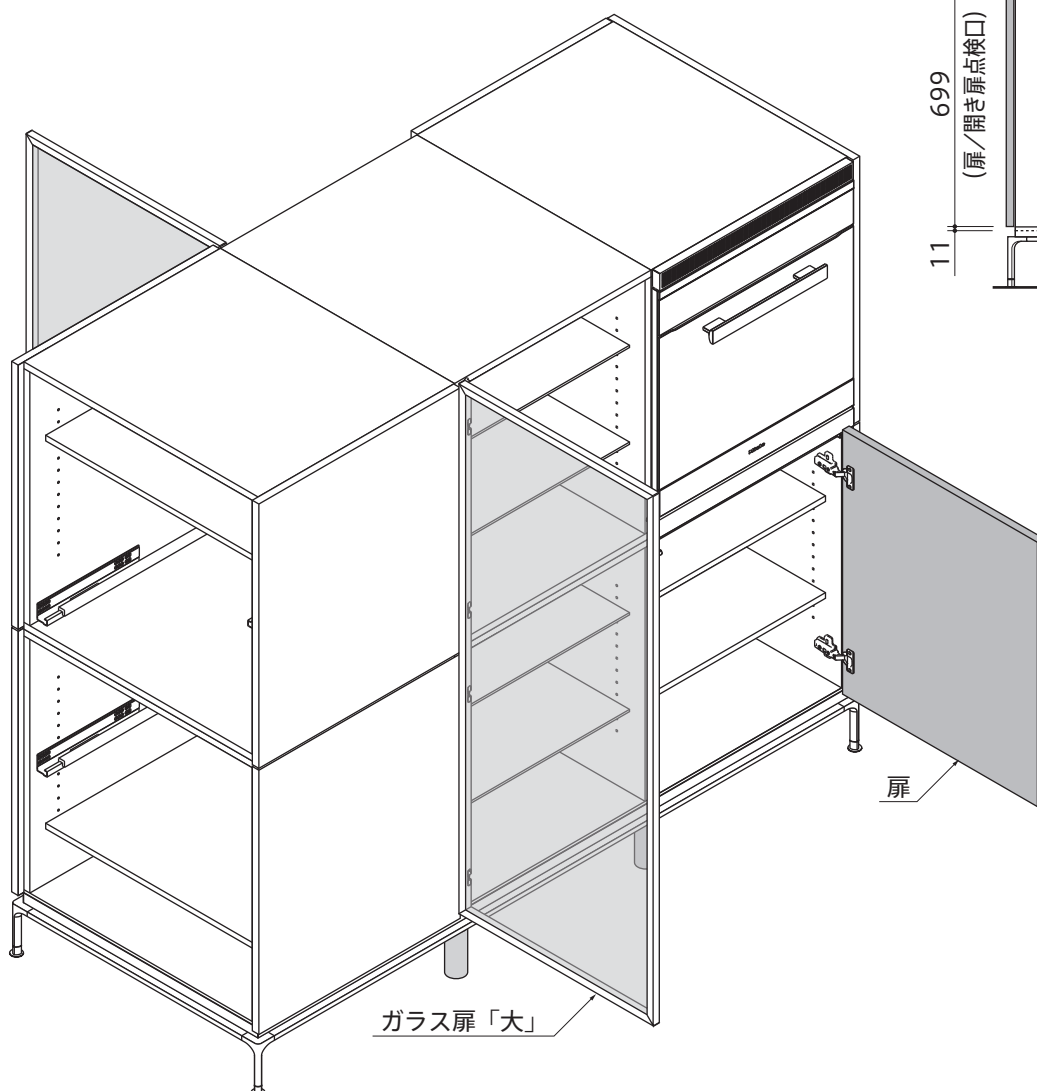
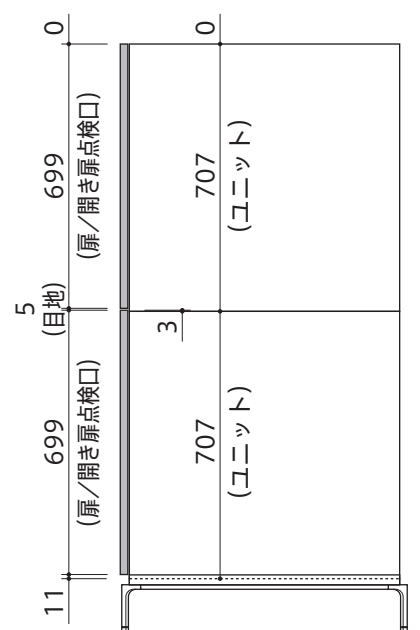


33 扉（※開き扉ユニットの場合）、 開き扉点検口（※ビルトインユニット（ワインセラー用）、 背面ユニットの場合）の取り外し

- ・開き扉ユニットに扉を取付けます。（「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）
- ・ガラス開き扉ユニットにガラス扉を取付けます。（「ガラス扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）
- ・ビルトインユニット（ワインセラー用）、背面ユニットに開き扉点検口を取付けます。（「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）

※上段はユニット上面と扉および開き扉点検口の上面木口が面一になり、下段はユニット上面より扉および開き扉点検口の上面木口が3 mm飛び出ます。

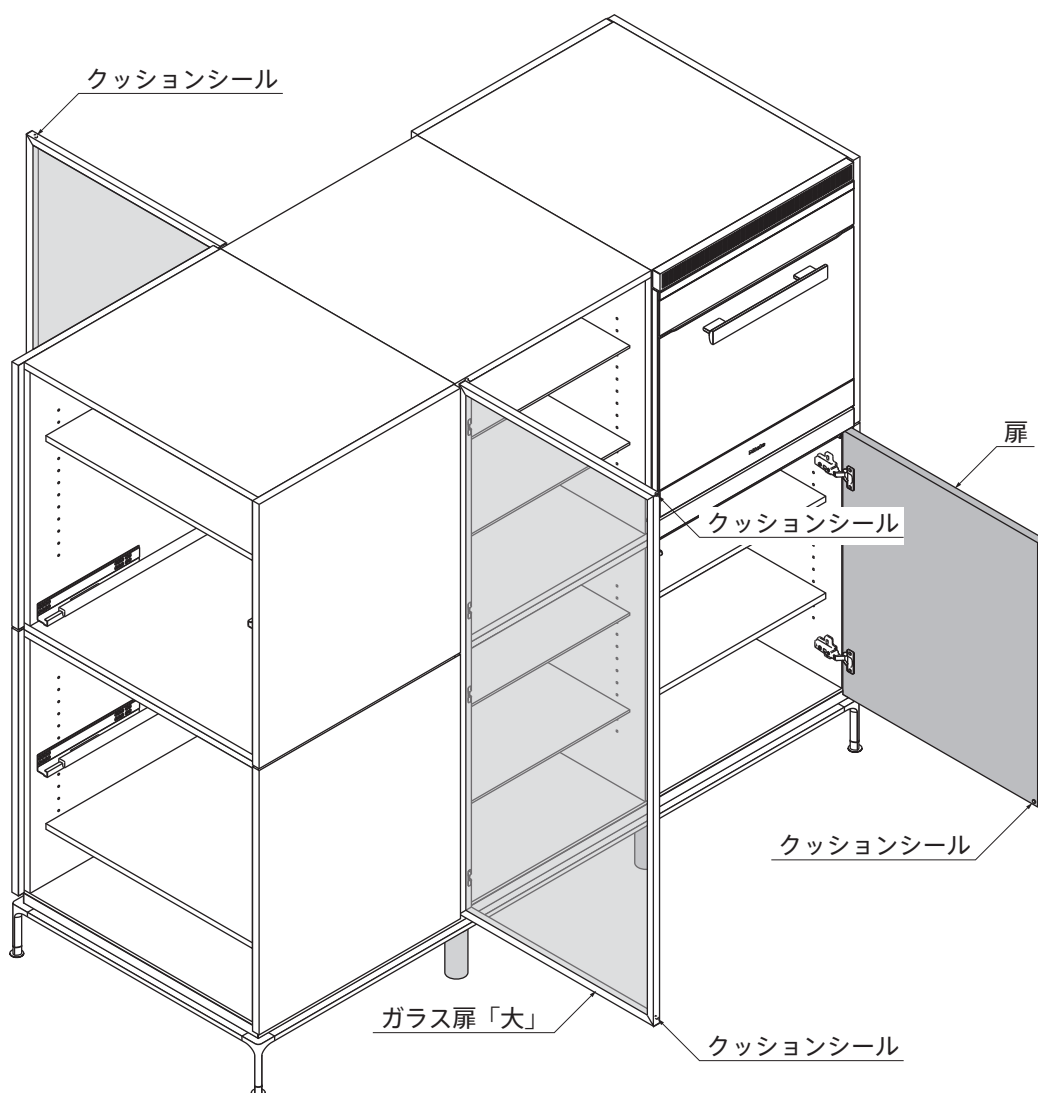
扉、開き扉点検口
納まり図【側面図】



34 クッションシールの取付け

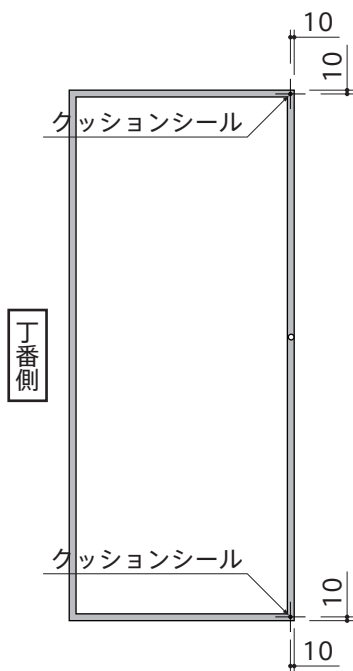
(※開き扉ユニットの場合)

- ・扉裏面の指定位置にクッションシールを貼り付けます。
- ・ガラス扉裏面の指定位置にクッションシール（ガラス扉「大」は2ヶ所、ガラス扉「小」は1ヶ所）を貼り付けます。

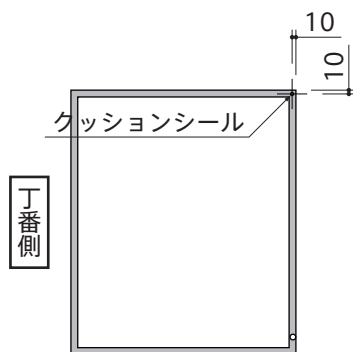


クッションシール貼り付け位置

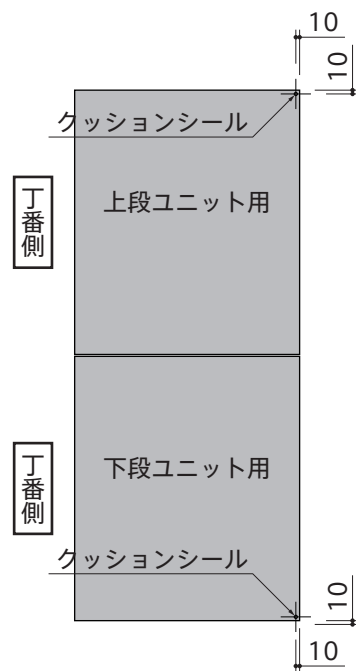
ガラス扉「大」裏面



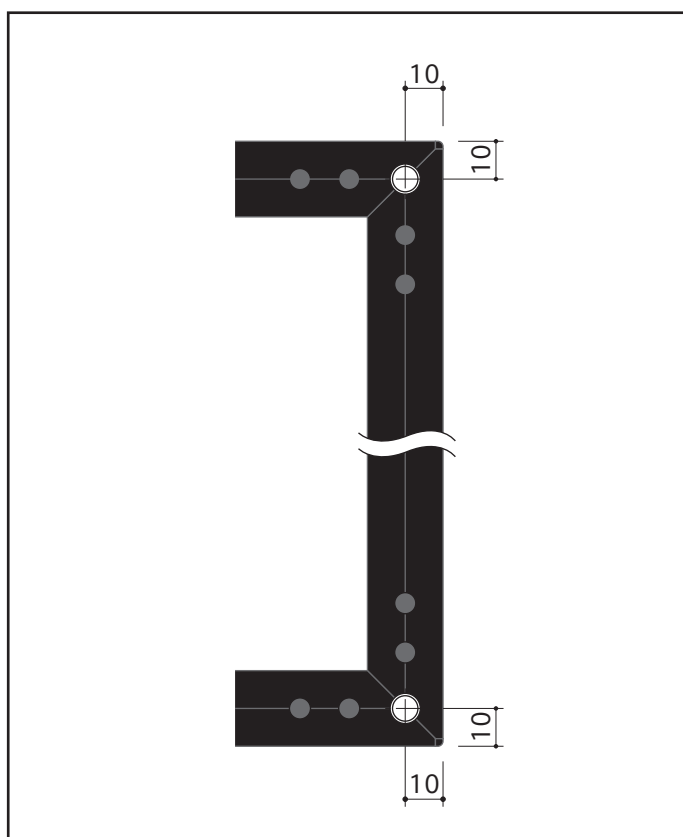
ガラス扉「小」裏面



扉裏面

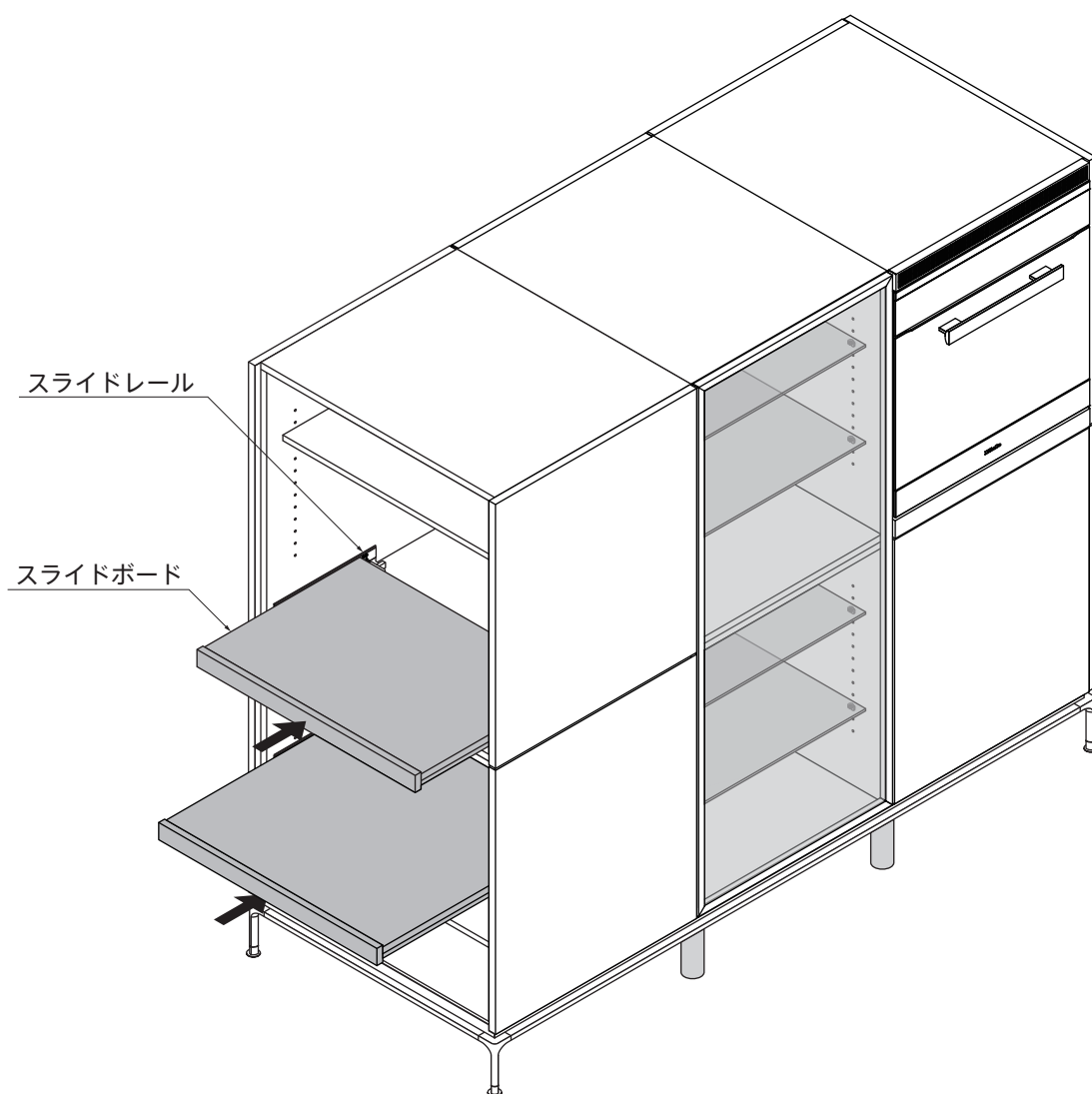


例：ガラス扉「大」



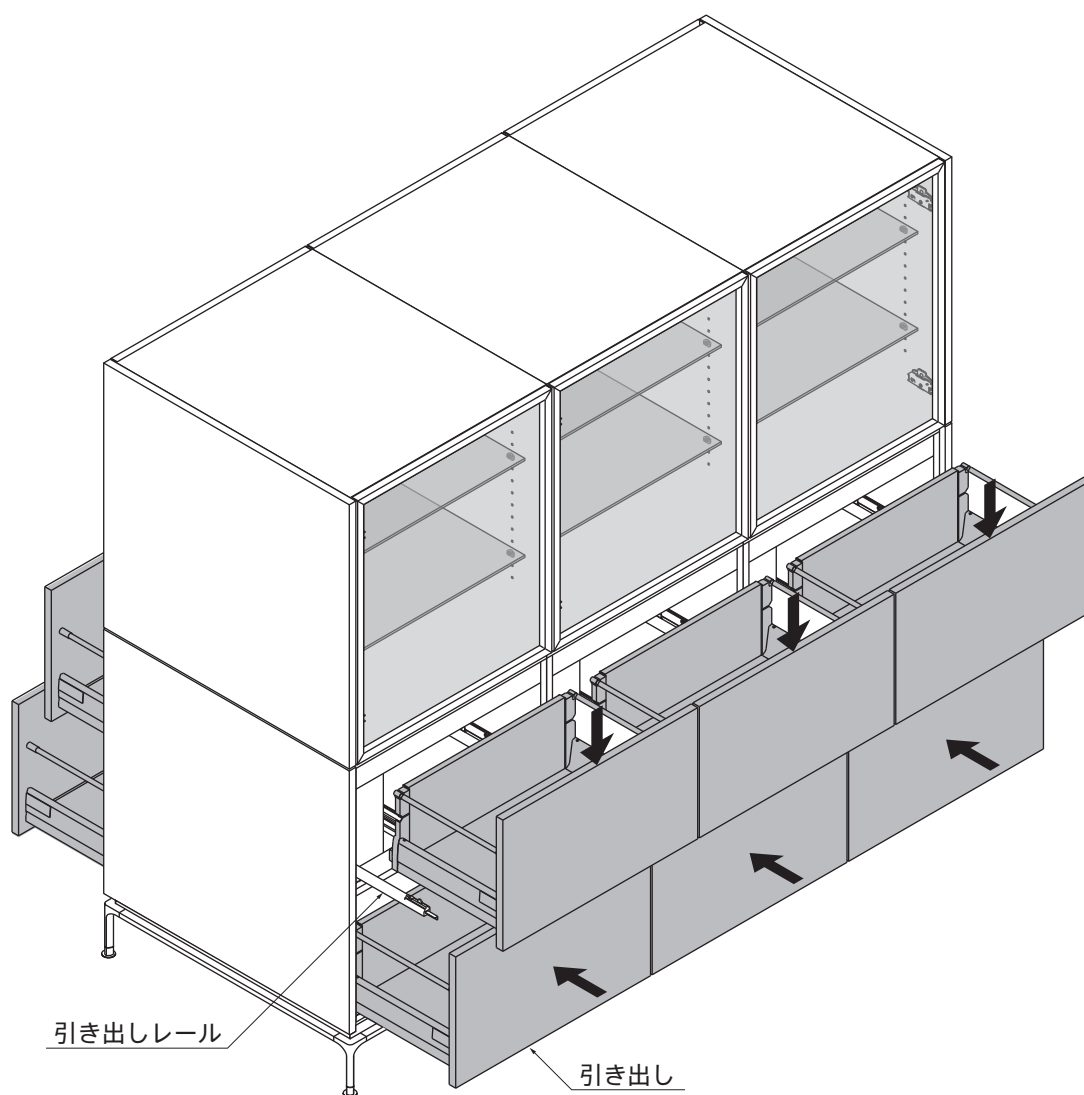
35 スライドボードの取付け (※側面オープンユニットの場合)

・スライドレールの上にスライドボードをのせて、奥まで押し込んで取付けます。



36 引き出しの取付け (※引き出しユニットの場合)

- ・引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- ・引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- ・引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



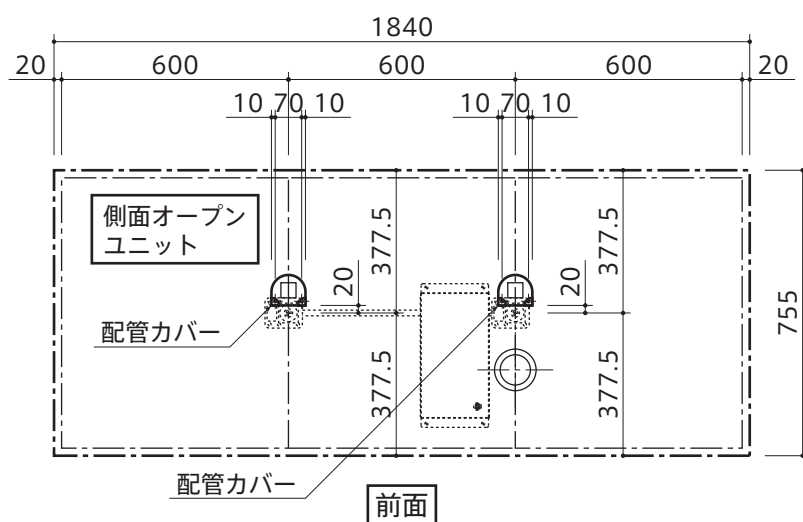
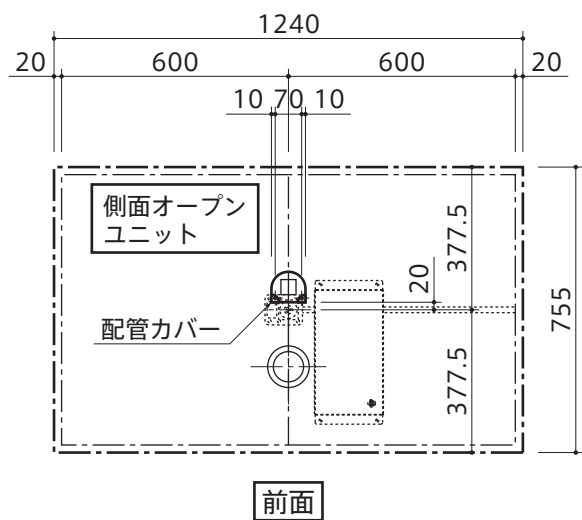
1

-
- 取付板
- 本体
- ⊕ バインド小ネジ
M4×12

78

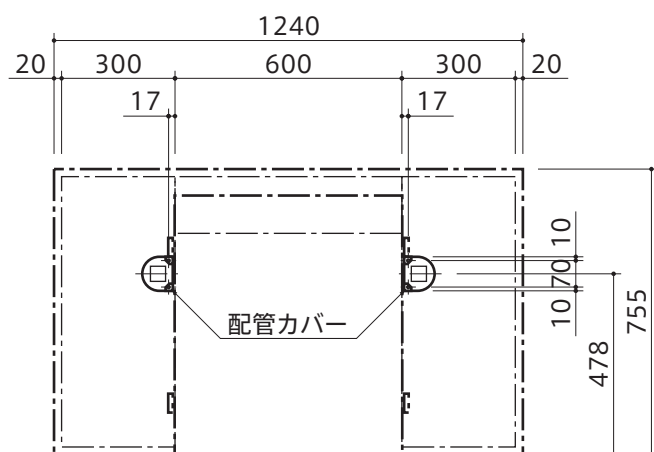
配管カバーの取付け 2

L E D電源を底板裏面に取付ける場合



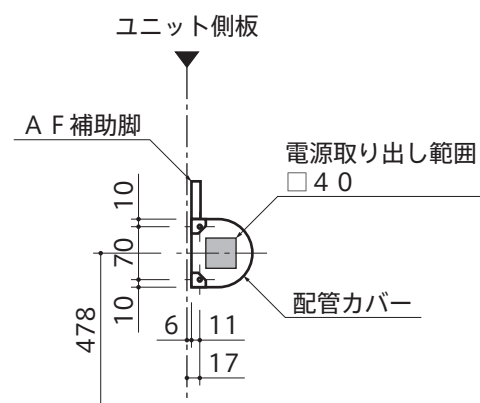
配管カバーの取付け 3

背面ユニットがある場合

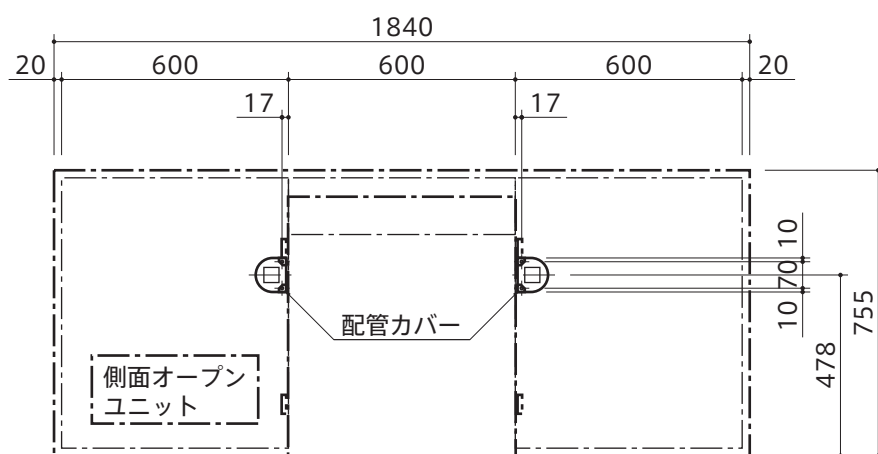


前面

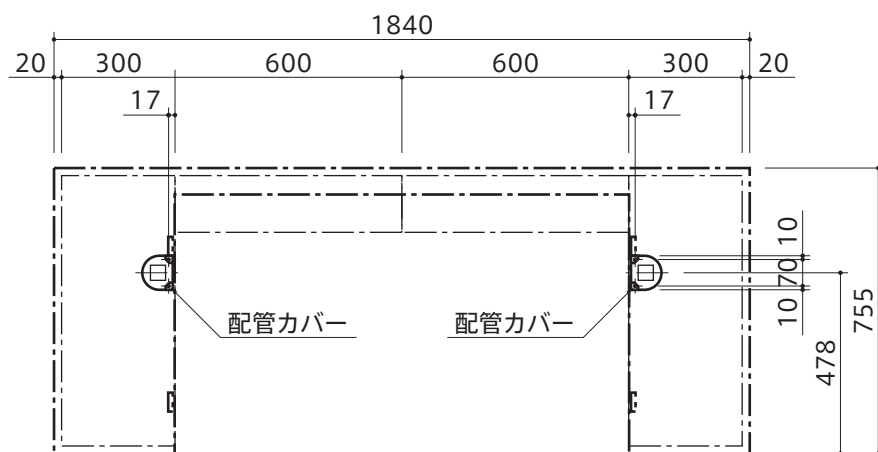
配管カバー納まり図【平面図】



前面



前面

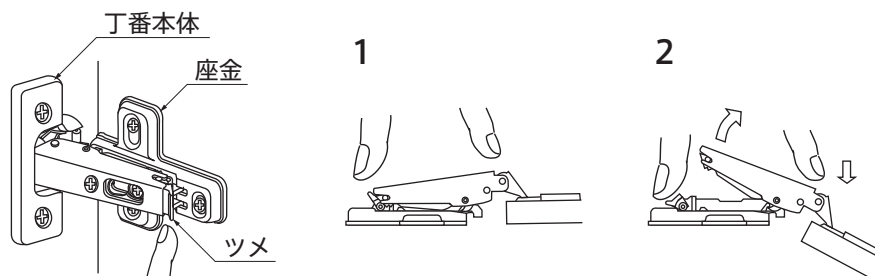


前面

扉（丁番）の取り外し、取付け

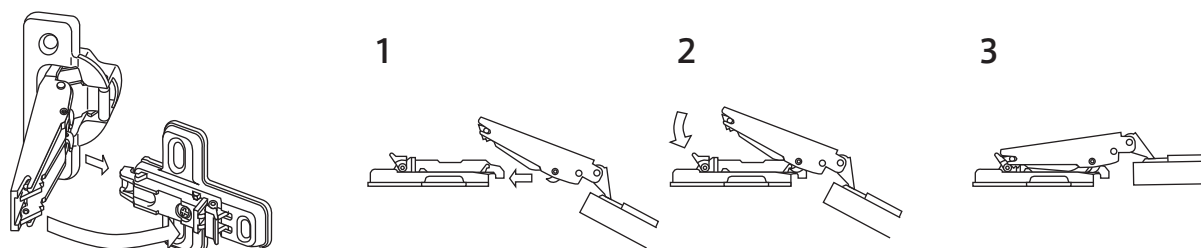
●取り外し

- ・ ツメを押して座金から丁番本体を取り外します。



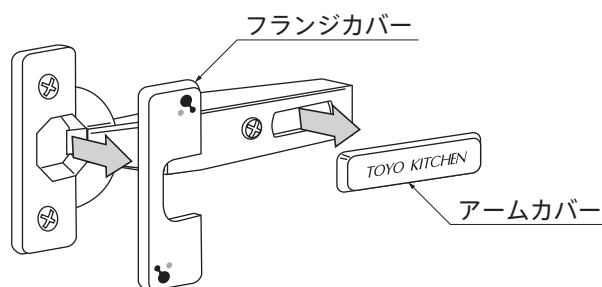
●取付け

- ・ 丁番本体を座金に取付けます。



扉（丁番）の調整

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。



●上下方向の調整

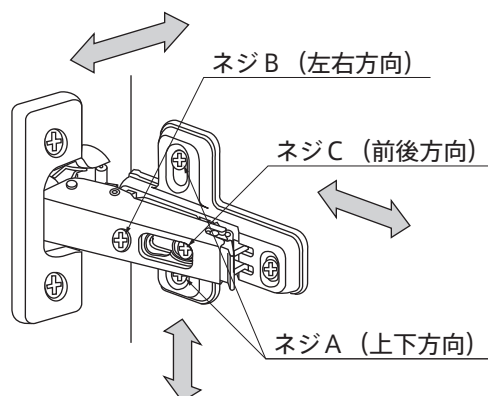
- ・ 座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定めて固定します。

●左右方向の調整

- ・ ネジBで調整します。

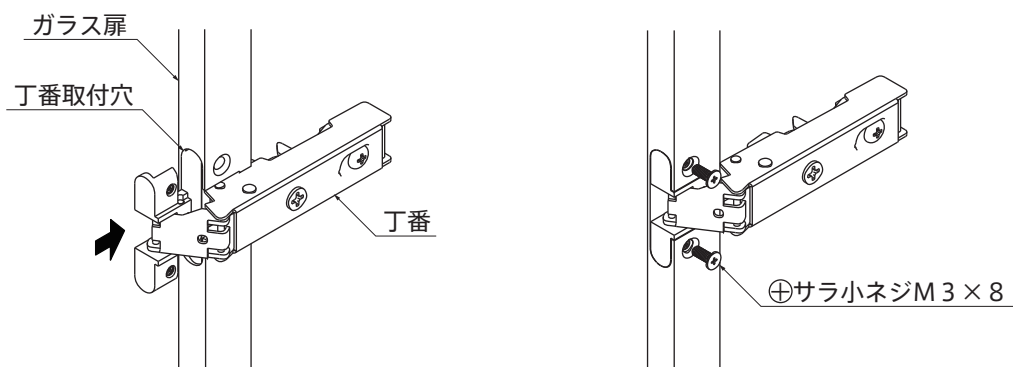
●前後方向の調整

- ・ ネジCで調整します。
- ※基本的には調整しません。

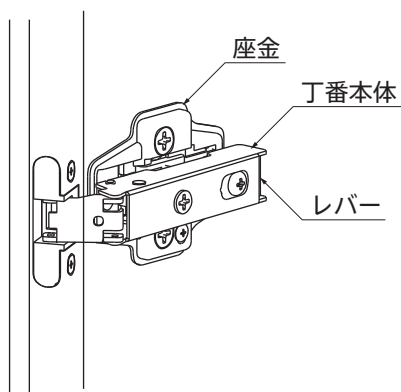


ガラス扉用丁番本体の取付け

- ・ ガラス扉の丁番取付穴に丁番本体を差し込みます。
- ・ ⊕サラ小ネジ 3.0 × 8 (2本) にて丁番本体をガラス扉に固定します。

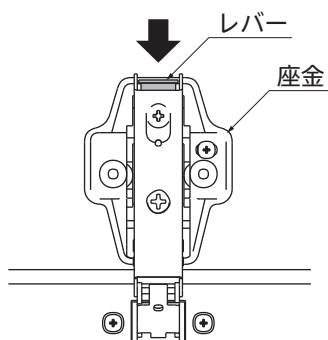


ガラス扉（丁番）の取り外し、取付け



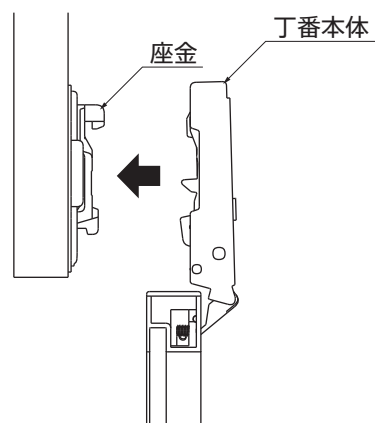
●取り外し

- ・ レバーを押して座金から丁番本体を取り外します。



●取付け

- ・ 丁番本体を座金に取付けます。



ガラス扉（丁番）の調整

●上下方向の調整

- ・座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定めて固定します。

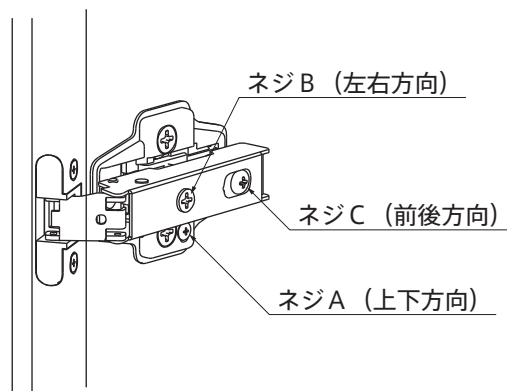
●左右方向の調整

- ・ネジBで調整します。

●前後方向の調整

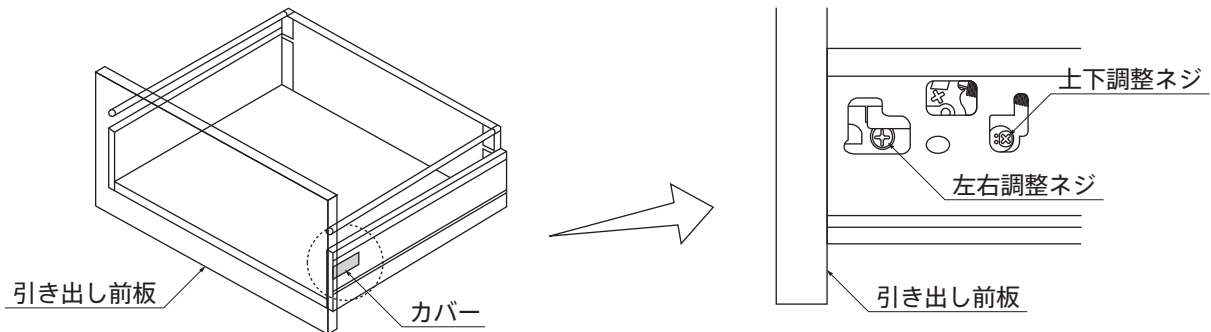
- ・丁番本体のネジCをゆるめ、前後の位置を定めて固定します。

※基本的には調整しません。



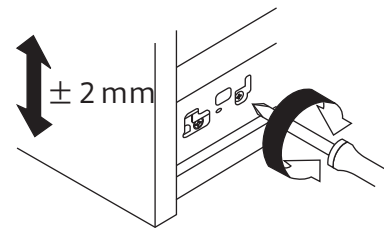
引き出し前板の調整

- ・引き出し前板の目地を確認し、調整を行います。
- ・引き出し側板左右外側についているカバーをマイナスドライバーなどで外してください。
- ・調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



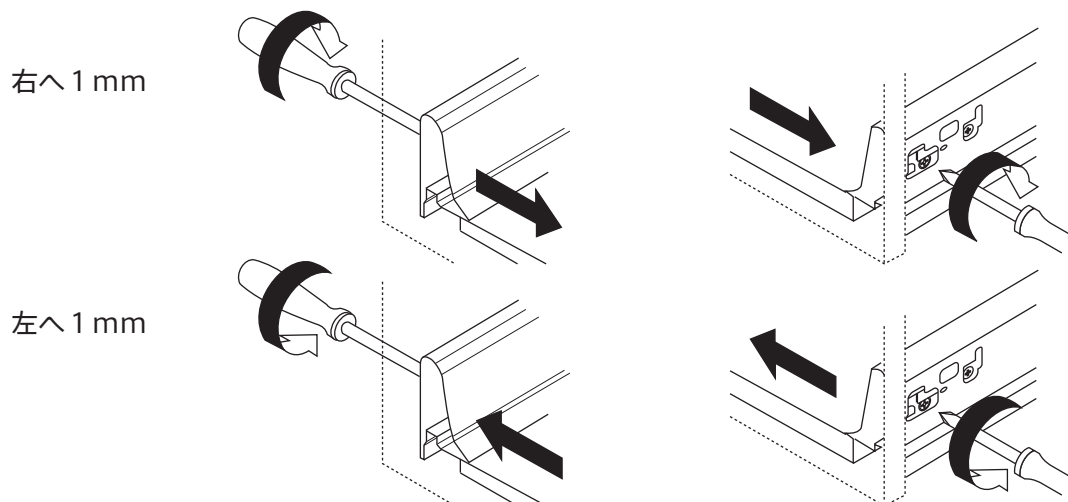
●上下方向の調整

- ・上下調整ネジを＋ドライバーで回して、引き出し前板の上下方向を調整します。
± 2 mm調整できます。



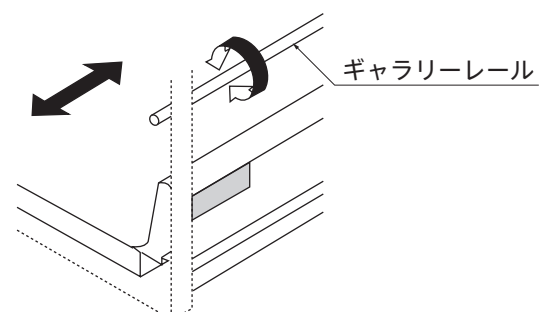
●左右方向の調整

- ・左右調整ネジを＋ドライバーで回して、引き出し前板の左右方向を調整します。
± 1 mm調整できます。



●傾き調整

- ・ギャラリーレールを回して、引き出し前板の傾きを調整します。

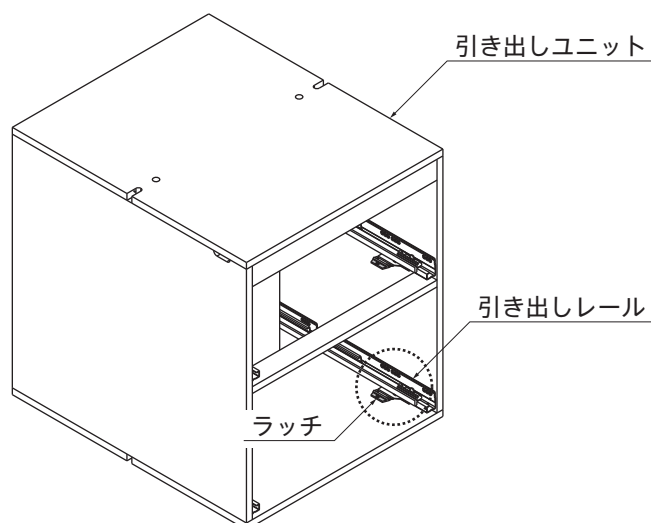


プッシュオンの調整

引き出しの場合

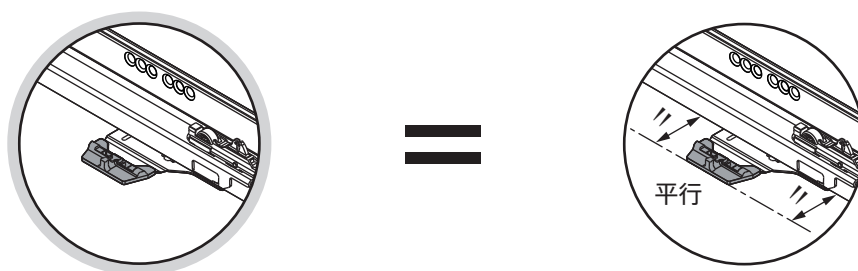
●引き出しレール側の調整

- ・引き出しレールに取付けてあるラッチ（R／L）が引き出しレールと平行であること（図1）を確認してください。
- ※平行に取付いていない場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。
- ・平行でない場合は、ラッチの奥側を軽く手前に引き出して（図2）、カチッと音がした所で止めて平行になったこと（図1）を確認してください。
- ※引き出す際に強く引き過ぎるとラッチが曲がったり破損する恐れがあります。



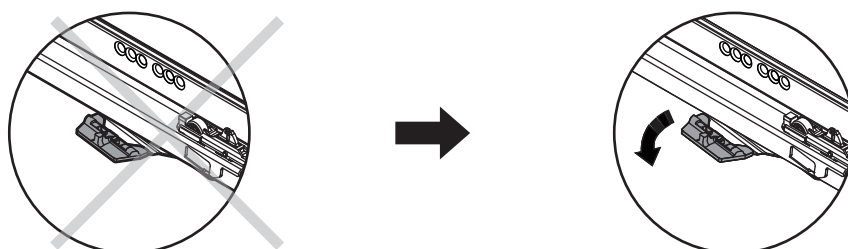
ラッチが引き出しレールと平行の場合

図1



ラッチが引き出しレールに平行でない場合

図2



●引き出し側の調整

・引き出し裏面の両端に取付けたプッシュオンユニット（R／L）の調整ダイヤルを回して、引き出しの前後方向を調整します。（図3）

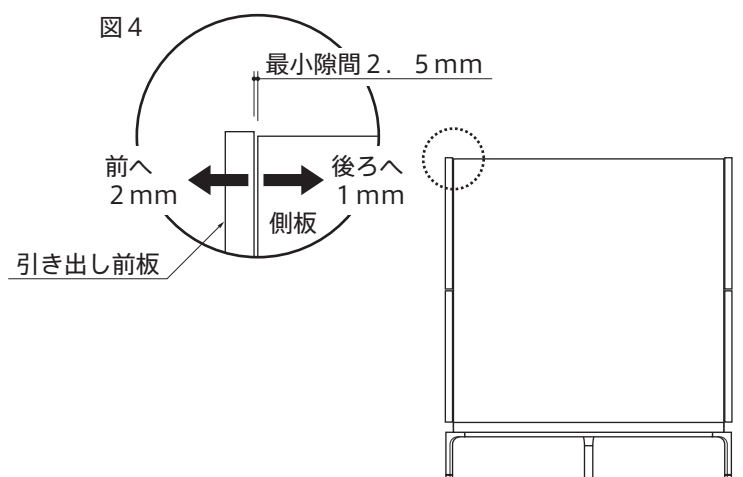
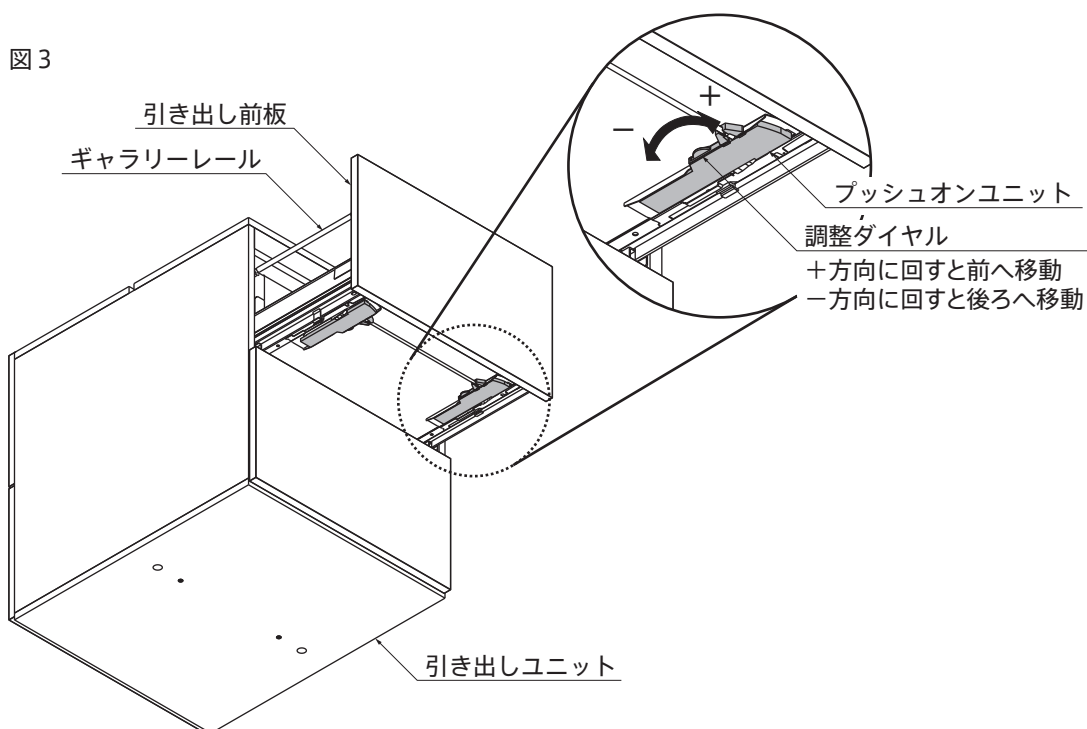
※最小隙間以下の場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

※引き出しの左右の出が違う場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

※キッチンの水平レベルが出ておらず、キッチン全体が歪んだりしている場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

・ユニット側板と引き出し前板の隙間が上下同じになるように、ギャラリールを回して傾きを調整をしてください。（図4）（「引き出し前板の調整 傾き調整」参照）

※引き出し前板の傾きがあると、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

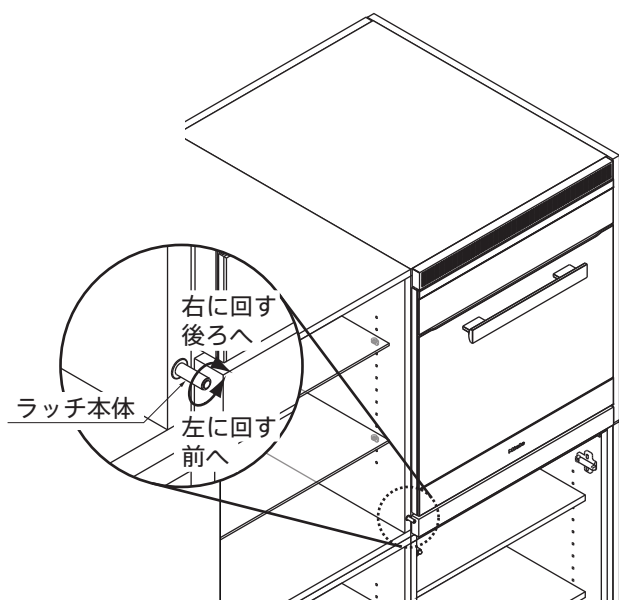


開き扉の場合

- ・扉のラッチ付近を軽く押すだけで扉が開きます。
- ※扉を閉める際は最後まで手で押し込んでください。
- ※接地部（マグネット受け座、ラッチ本体先端）が汚れると、マグネットが弱くなるため、掃除をしてきれいに保ってください。

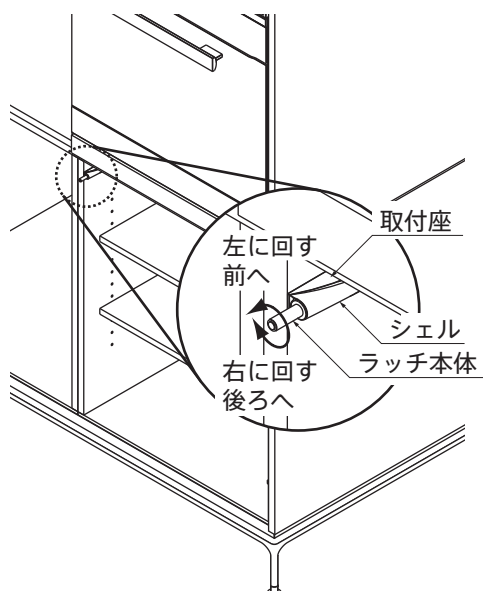
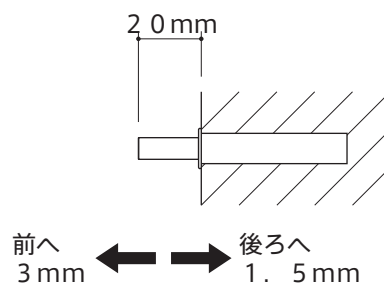
●ラッチのストロークの調整

- ・扉が開いている状態で、ラッチ本体を回して、ストロークを調整してください。
- ※誤作動防止のためストローク調整は調整範囲内にしてください。
- ※調整代を指定寸法以上に長くすると破損の原因になります。



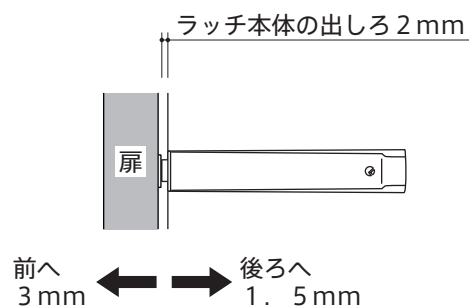
■扉が開いた状態

ガラス開き扉ユニット【側面図】



■扉が閉じた状態

開き扉ユニット【側面図】



取付・設置後の点検・清掃

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷などの損傷が無いかを調べてください。
- ・スライドボードや扉など、損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材などを利用して養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープなどを使用してください。

ホルムアルデヒド発散区分

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（P B） F☆☆☆☆ M D F F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆

V O C 放散性能

V O C 放散性能	4 V O C 基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品 V O C 表示ガイドライン」による

※ 4 V O C とは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉

メール tk@toyo1.toyokitchen.co.jp

F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

